

平 成 30 年 度

水 道 事 業 年 報

平成30年4月1日～平成31年3月31日

岩 国 市 水 道 局

目 次

水 道 事 業

(Ⅰ) 概 要

1	水道事業の沿革	・・・	1
2	水道事業の歩み	・・・	2
3	拡張事業の推移	・・・	7
4	平成30年度事業概況	・・・	7
5	写真で見る概要	・・・	8

(Ⅱ) 施 設

1	給水区域図	・・・	11
2	施設位置図・主要配水管ルート図	・・・	12
3	各施設フロー図	・・・	20
4	各施設詳細	・・・	46
5	配水管	・・・	60
6	施設写真	・・・	62

(Ⅲ) 業 務

1	給水普及状況	・・・	67
2	電気使用量	・・・	68
3	配水量	・・・	70
4	給水状況	・・・	73
5	メーター設置状況	・・・	73
6	給水収益	・・・	74
7	水道料金早見表	・・・	76
8	加入金	・・・	76
9	職員構成	・・・	77
10	建設改良工事等	・・・	78

(Ⅳ) 財 政

1	平成30年度財政概況	・・・	83
2	決算報告書	・・・	84
3	年度別収益費用明細書比較	・・・	98
4	年度別貸借対照表比較	・・・	100
5	経営分析	・・・	104

目 次

工業用水道事業

(Ⅰ) 概 要

1	工業用水道事業の沿革	・・・	109
2	工業用水道事業の歩み	・・・	110
3	平成30年度事業概況	・・・	112
4	写真で見る概要	・・・	112
5	施設概要	・・・	112

(Ⅱ) 施 設

1	各施設及び給水先事業所位置図	・・・	113
2	工業用水道施設	・・・	114
3	工業用水道管路施設	・・・	114
4	施設写真	・・・	114

(Ⅲ) 業 務

1	給水普及状況	・・・	115
2	配水量	・・・	116
3	基本使用（契約）水量	・・・	117
4	工業用水道料金	・・・	117
5	職員構成	・・・	118
6	建設改良工事等	・・・	118

(Ⅳ) 財 政

1	平成30年度財政概況	・・・	121
2	決算報告書	・・・	122
3	年度別収益費用明細書比較	・・・	132
4	年度別貸借対照表比較	・・・	134
5	経営分析	・・・	138

そ の 他

1	水道局の機構	・・・	143
2	職員構成	・・・	144
3	事務分掌	・・・	146
4	防災関係	・・・	152

水 道 事 業

(Ⅰ) 概 要

(Ⅱ) 施 設

(Ⅲ) 業 務

(Ⅳ) 財 政

the 1990s, the number of people in the world who are under 15 years of age has increased by 1.2 billion, from 1.1 billion in 1980 to 2.3 billion in 1999. The number of people aged 15 years and over has increased by 1.1 billion, from 1.1 billion in 1980 to 2.2 billion in 1999.

There are a number of reasons why the world population is growing so rapidly. One of the main reasons is that the number of children born to each woman has increased. In 1980, the average woman in the world had 2.5 children. In 1999, the average woman in the world had 2.7 children.

Another reason why the world population is growing so rapidly is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

There are a number of reasons why the number of people who are surviving to old age has increased. One of the main reasons is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

Another reason why the number of people who are surviving to old age has increased is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

There are a number of reasons why the number of people who are surviving to old age has increased. One of the main reasons is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

Another reason why the number of people who are surviving to old age has increased is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

There are a number of reasons why the number of people who are surviving to old age has increased. One of the main reasons is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

Another reason why the number of people who are surviving to old age has increased is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

There are a number of reasons why the number of people who are surviving to old age has increased. One of the main reasons is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

Another reason why the number of people who are surviving to old age has increased is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

There are a number of reasons why the number of people who are surviving to old age has increased. One of the main reasons is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

Another reason why the number of people who are surviving to old age has increased is that the number of people who are surviving to old age has increased. In 1980, the average person in the world lived for 55 years. In 1999, the average person in the world lived for 65 years.

（Ⅰ）概 要

1	水道事業の沿革	・・・	1
2	水道事業の歩み	・・・	2
3	拡張事業の推移	・・・	7
4	平成30年度事業概況	・・・	7
5	写真で見る概要	・・・	8

1 水道事業の沿革

大正末期、麻里布町は徐々に発展し、町民の保健衛生、消防の観点からも上水道整備の必要性が求められ、昭和14年4月に施設能力3,200m³とする麻里布水道が新設された。

その後、国から旧陸軍燃料廠水道施設の無償譲渡を受け、昭和23年11月から昭和24年4月にかけて、計画給水人口26,000人、計画1日最大給水量7,280m³とする第1次拡張事業を行い、西岩国地区全域、川下地区及び和木村(現和木町)の一部に給水区域を拡大した。

昭和25年3月から昭和36年12月にかけて、第2次拡張事業として牛野谷水源地と錦見浄水場の拡張工事を行い、昭和34年6月には大蔵省(現財務省)から駐留軍専用水道であった川下水源地(日量2,800m³)、第2牛野谷水源地(日量2,800m³)の無償譲渡を受け計画給水人口49,000人、計画1日最大給水量33,000m³とし、川下地区・門前川以南地区を給水区域に加えた。

さらに、昭和41年から昭和48年にかけて計画給水人口115,000人、計画1日最大給水量63,000m³とする第3次拡張事業を行い、市内全域にわたる配水システムの整備拡充強化を図り、新たに平田地区の一部を給水区域とした。

しかし、昭和49年以降、海岸部一帯の地下水の塩水化現象が進行したため、牛野谷系統(川下、牛野谷第1、牛野谷第2)における地下水の取水を廃止した。そして、水源を錦川の表流水のみとし、昭和53年から昭和58年にかけて、計画給水人口112,000人、計画1日最大給水量95,000m³とした第4次拡張事業を行った。

その後、社会的に節水意識が高まり、水需要が漸減傾向にあったことから、水需要予測の見直しを行い、さらに平成10年6月に1日最大取水量79,640m³とする水利権の許可を受けたことから、給水区域拡大事業として通津地区、藤河・御庄地区への給水を計画することとなり、平成13年9月に計画給水人口110,000人、計画1日最大給水量73,000m³とする事業変更認可を受けた。通津地区においては平成17年度に給水区域拡大を完了し、藤河・御庄地区においては平成21年度から事業を開始し、平成25年度に完了した。

平成18年3月20日には市町村合併に伴い、旧岩国市、旧由宇町(計画給水人口8,800人、計画1日最大給水量5,600m³)旧玖珂町(計画給水人口11,000人、計画1日最大給水量4,280m³)の上水道事業を統合し、平成19年8月には錦見浄水場から由宇地区に送水するための由宇地区給水事業に着手した。その後、平成23年3月に、簡易水道事業統合計画を主とする第二次給水区域拡大の事業変更認可(計画給水人口122,200人、計画1日最大給水量65,300m³)を受け、平成28年4月までに島しょ部を除く14簡易水道を上水道に統合した。

さらに、第二次給水区域拡大事業の給水区域などの変更や基幹施設である現錦見導水トンネルの劣化に伴う取水隧道の二条化を図るため、平成30年10月に第二次給水区域拡大事業第1次変更の認可を受け、現在は計画給水人口117,500人、計画1日最大給水量64,300m³となった。

平成31年度には、平成19年度から長きにわたって行ってきた由宇地区給水事業が完成を迎える見込みである。

2 水道事業の歩み

年	月	事 項
S11年	1月	麻里布町議会上水道計画案について審議
	3月	麻里布町議会上水道予算案調査費可決
	8月	麻里布町議会上水道設置可決
	8月	麻里布町水道認可申請・国庫補助申請・県費補助申請
S12年	3月	起債認可
	5月	麻里布町水道課新設
	6月	水道工事実施設計申請
	7月	水道工事実施設計認可
	7月	麻里布町上水道起工式
	9月	麻里布町上水道起工
S13年	6月	水道使用条例制定
	9月	起債変更許可申請
S14年	1月	麻里布町水道課事務所建設が決定（今津1168番地）
	3月	竣工期限延期申請
	4月	麻里布町上水道通水式挙行
	5月	水道料金設定申請
	6月	水道料金設定許可
	7月	錦川分水問題について関係町村長山口県知事に反対陳情
	8月	麻里布町水道課事務所が完成し移転（今津1168番地）
	9月	麻里布町上水道完成
S15年	3月	陸軍燃料廠給水開始議決
	4月	岩国市制施行
	7月	岩国海軍航空隊開設通水
	8月	陸軍燃料廠給水開始
S16年	3月	向道ダム完成
	4月	陸軍燃料廠岩国工廠水源地（現錦見浄水場）起工
S17年	3月	和木村（現和木町）陸軍燃料廠宿舎へ給水のため、区域外給水を提案可決
	3月	区域外給水認可申請
S20年	8月	岩国駅を中心に付近一帯被爆し配水管の被害を受ける
	11月	料金改定
S21年	1月	旧陸軍燃料廠水道施設（現錦見浄水場）譲渡申請
	4月	料金改定
	7月	料金改定
S22年	3月	料金改定
	7月	旧陸軍燃料廠水道施設一時使用申請
	8月	料金改定
	9月	市議会協議会に第1次拡張計画を説明
S23年	6月	料金改定
	7月	第1次拡張計画可決
	7月	第1次拡張工事認可申請
	9月	第1次拡張工事認可
	10月	料金改定
	11月	第1次拡張工事起工
S24年	2月	第1次拡張工事起工式
	3月	旧陸軍燃料廠水道施設譲渡許可
	4月	第1次拡張工事完成
	5月	第2次拡張計画可決
	5月	第2次拡張工事認可申請
	8月	料金改定
S24年	12月	第2次拡張工事認可

年	月	事 項
S25年	9月	キジヤ台風により錦帯橋流出
S27年	8月	地方公営企業法施行
S28年	1月	錦帯橋再建完成渡り初め
S29年	2月	公営企業組織条例制定
	2月	指定工事店5店を指定
	4月	公営企業局発足（岩国市公営企業局水道課となる）
	4月	第2次拡張事業第1回設計変更工事認可申請
	6月	第2次拡張事業第1回設計変更工事申請認可
S30年	4月	周辺7か村と合併
	8月	公営企業局庁舎移転（錦見136番地）
	9月	料金改定
S31年	9月	第2次拡張事業第2回設計変更工事認可申請
	10月	米軍岩国基地給水開始
	12月	第2次拡張事業第2回設計変更工事申請認可
S32年	6月	水道法制定
	8月	第2次拡張事業第3回設計変更工事認可申請
	9月	水道局発足
	10月	第2次拡張事業第3回設計変更工事申請認可
S34年	6月	基地給水施設（第2牛野谷水源地、川下水源地）貸し付けを受ける
	7月	市庁舎完成
	8月	水道局庁舎移転（市庁舎西隣）
S35年	4月	水道局庁舎移転（今津町六丁目2番23号）
	11月	岩日線（現錦川鉄道）開通
	12月	和木村（現和木町）拡張工事完成
S36年	6月	和木町内水道料金徴収事務委託
	12月	第2次拡張事業完成
S37年	4月	水道料金計算事務加算機付きタイプライター導入
	6月	菅野ダム建設に関する協定締結
S38年	6月	第2牛野谷水源地、川下水源地譲渡を受ける
S41年	1月	第3次拡張事業認可申請
	2月	第3次拡張事業認可
	3月	菅野ダム完成
	12月	第3次拡張事業起工
S42年	4月	料金改定
S45年	10月	水道料金徴収事務電子作表計算機導入
S46年	3月	第1、第2牛野谷水源地を統合
	4月	隔月検針の実施
S47年	3月	錦見浄水場管理棟完成
	10月	水道料金徴収口座制導入
S48年	4月	料金改定
	6月	旧水道局山手庁舎完成（山手町四丁目4番14号）
S49年	3月	第3次拡張事業完成今津浄水場及び前川原水源地廃止
	10月	川下水源地取水中止
S50年	2月	初めて配水管更生工事施工
	7月	水道料金集金制廃止
S51年	2月	料金改定
	4月	水道料金予納金制度廃止
	12月	今津浄水場水利権を錦見浄水場に変更
S52年	6月	配水管整備事業起工（昭和52～57年度）
	12月	第4次拡張事業認可申請

年	月	事 項
S53年	2月	年次計画による漏水調査開始
	3月	第4次拡張事業認可
	4月	第4次拡張事業起工
	6月	水道料金徴収事務コンピューター導入
S54年	3月	愛宕水管橋完成
S56年	2月	料金改定
S58年	10月	牛野谷水源地取水中止
S59年	3月	第4次拡張事業完成
	3月	生見川ダム完成
S60年	4月	料金改定
S63年	4月	和木町内の検針業務委託（和木町へ委託）
H元年	4月	料金改定（消費税導入分、0→3%）
H2年	4月	既設高台団地検針業務委託
	4月	料金改定（大口対象）
	11月	高度処理実験プラント完成
H4年	12月	大竹市と水道用水緊急応援協定書を締結
H5年	4月	中高層建築物への直結給水開始
	12月	新水質検査項目の追加（46項目）
H6年	7月	浄水施設整備事業開始（平成6～11年度）
	8月	既設高台団地（30団地）の給水施設引き取り覚書締結
H7年	3月	既設高台団地（2団地）の引き取り完了
H8年	2月	牛野谷加圧設備（電気計装）更新工事完成
	3月	平田第1ブロック配水池完成（緊急遮断弁設置）
	4月	電算端末機及び検針業務のハンディーターミナル導入
H9年	4月	料金改定（消費税増税分、3→5%）
H10年	6月	水利権変更許可申請（79,640m ³ ）山口県より許可
H11年	4月	和木町検針業務にハンディーターミナル導入
	10月	第2次浄水施設整備事業設計委託
H12年	2月	第1次浄水施設整備事業完成
H13年	1月	水道料金業務システム更新
	3月	水道事業変更認可申請書厚生労働大臣より認可
H14年	4月	検針業務委託開始
	8月	和木町滞納閉栓業務実施
H15年	2月	通津地区給水区域拡大事業着工
	10月	情報処理システム（IT化）導入
H16年	2月	原水ポンプ設備更新工事完成
	12月	監視設備等整備事業完成
H17年	3月	2号ろ過池電気機械設備更新工事完成
	3月	パック注入設備更新工事完成
	3月	水道局L GWAN接続
	10月	通津地区給水区域拡大事業完成
H18年	3月	市町村合併に伴い旧岩国市、旧由宇町、旧玖珂町水道事業統合
	5月	由宇地区水道料金を岩国地区水道料金に統一
	9月	ペットボトル水（大吟浄の水）製作（災害時の緊急飲料水・PR用）
H19年	2月	給水車（2トン）購入
	3月	和木町内の検針業務委託廃止（和木町への委託を廃止）
	4月	水道料金業務システム更新
	4月	玖西営業所開設
	8月	由宇地区給水事業開始
H20年	3月	第3次浄水施設整備事業開始

年	月	事 項
H20年	4月	玖珂地区水道料金を岩国地区水道料金に統一
	6月	岩国管工事協同組合・岩国市水道管工事協会と災害時における水道施設復旧援助に関する協定書を締結
	7月	山手ブロック配水池工事着工
	12月	岩国市地域水道ビジョン策定
H21年	4月	梅が丘団地専用水道統合
	4月	藤河御庄地区給水区域拡大事業開始
	5月	耐震化事業開始（錦見浄水場より）
	12月	水道料金コンビニ収納開始
H22年	3月	山手ブロック施設完成（高台団地広域監視システム設置）
	4月	黒磯団地引き取り
	8月	上北浄水場、マンガン除去装置設置
H23年	3月	水道事業変更認可申請書（第二次給水区域拡大）厚生労働大臣より認可
	4月	小瀬・阿品簡易水道統合（簡易水道統合開始）
	12月	情報処理システム更新（岩国市情報システムに統合）
H24年	2月	水道事業基本計画（上水道）策定
	3月	愛宕加圧設備完成
	4月	高森南簡易水道統合
	4月	玖西営業所名称変更（玖西事業所へ）
	4月	水道施設耐震化10ヵ年計画策定
	9月	給水車（2トン）購入（三井化学株式会社より寄贈）
	11月	玖珂・高森南地区、広域監視システム設置（以後統合簡易水道に順次設置）
H25年	2月	水道事業基本計画（簡易水道）策定
	3月	料金お客さまセンター受託者フジ地中情報株式会社と災害時における応援協力に関する協定書を締結
	3月	錦見浄水場1号ろ過池更新工事完成（着工はH22年12月）
	4月	由西・美和・秋掛簡易水道統合
	4月	玖北事業所開設
	4月	水道料金等徴収業務委託を開始（受託者：フジ地中情報株式会社）
	4月	料金お客さまセンター開設（山手庁舎1F）
	5月	料金改定（平均14.6%）
	7月	ペットボトル水（大吟浄の水）一般販売開始
H26年	2月	水道施設耐震化10ヵ年計画を一部改定
	3月	藤河御庄地区給水区域拡大事業完成
	4月	料金改定（消費税増税分、5→8%）
	4月	本郷・波野原・波野中簡易水道統合
	4月	玖西事業所移転（高森南浄水場内へ）
	6月	水道局オリジナルキャラクター「いーすい」くん発表
	7月	錦見原水中のジェオスミン量が増加したため、粉末活性炭投入で対応
	9月	小学校水飲み場整備事業開始（麻里布小、愛宕小、灘小に設置）
H27年	3月	岩国市水道ビジョン策定
	3月	玖北事業所移転（美川コミュニティセンター内へ）
	4月	河山・南桑簡易水道統合
	9月	錦見浄水場に粉末活性炭投入装置を設置
	9月	小学校水飲み場整備事業（川下小、通津小、御庄小に設置）
H28年	4月	広瀬・宇佐郷・向峠簡易水道統合（簡易水道統合完了）
	9月	小学校水飲み場整備事業（岩国小、平田小、由宇小に設置）
H29年	1月	水安全計画策定
	9月	小学校水飲み場整備事業完了（中洋小、藤河小に設置）
	10月	金山配水池築造工事完成

[illegible]

3 拡張事業の推移

事業名	工 期	給 水 人 口 1日最大給水量	水 源	給 水 区 域
創 設 事 業	昭和12年 8月 ～ 昭和14年 4月	20,000人 3,200m ³	伏流水（錦川）	旧麻里布町一円
第 1 次 拡 張 事 業	昭和23年11月 ～ 昭和24年 4月	26,000人 7,280m ³	表流水（錦川）	旧岩国全域及び川下地区と和木町の一部に拡大
第 2 次 拡 張 事 業	昭和25年 3月 ～ 昭和36年12月	49,000人 33,000m ³	表流水（錦川） 伏流水（錦川） 地 下 水	川下地区・門前川以南地区に拡大
第 3 次 拡 張 事 業	昭和41年12月 ～ 昭和49年 3月	115,000人 63,000m ³	表流水（錦川） 伏流水（錦川） 地 下 水	平田地区の一部に拡大
第 4 次 拡 張 事 業	昭和52年 4月 ～ 昭和59年 3月	112,000人 95,000m ³	表流水（錦川）	第3次拡張事業と同じ
第 1 次 給 水 区 域 拡 大	平成15年 2月 ～ 平成25年 3月	110,000人 73,000m ³	表流水（錦川）	通津地区、長野地区の一部、藤河・御庄地区に拡大
市町村合併	平成18年 3月	120,200人 (129,800人) 69,300m ³ (82,677m ³)	表流水（錦川） 伏流水（由宇川） 地下水（4力所） 受水（周東町）	旧由宇町、旧玖珂町給水区域を統合
第 2 次 給 水 区 域 拡 大	平成23年 3月 ～ 平成28年 3月	117,500人 64,300m ³	表流水（12力所） 伏流水（1力所） 地下水（11力所） 受水（1力所）	簡易水道統合

4 平成30年度事業概況

平成30年度末現在における給水人口は114,275人、給水戸数は58,717戸であり、年間総配水量は1,581万7,994m³、有収水量は1,436万3,137m³で、有収水量率は90.8%となりました。

本年度の建設改良事業の主なものは、高所地区配水管等改良事業として供用開始に伴う水道施設切替工事等を952万8,097円で施工し、配水施設整備事業として5,129万246円で配水管の新設、布設替、移設工事等を施工しました。由宇地区給水事業では、供用開始に伴う水道施設切替工事等を3,319万1,186円で施工し、浄水施設整備事業では、錦見送水2号ポンプ電動弁取替工事等を3,589万5,678円で実施しました。水道施設耐震化事業では、昨年度から引き続き新黒磯団地配水池用地造成工事及び今年度から2力年に亘る継続事業として、牛野谷ポンプ所築造工事等を3億5,227万8,023円で実施しました。耐震管整備事業では、配水管の耐震化工事に伴う設計業務委託等及び老朽化した配水管の布設替等を2億542万1,747円で施工し、庁舎建設事業では、山手庁舎建設工事監理業務委託及び建設工事を5億9,701万6,994円で実施しました。水質検査機器整備事業では、シアン臭素酸分析システム等を1,313万8,200円で購入しました。

簡易水道統合事業では、美川地区水道施設更新工事詳細設計業務委託及び施設の更新工事やろ過池改良工事を行いました。

5 写真で見る概要

(1) 給水区域



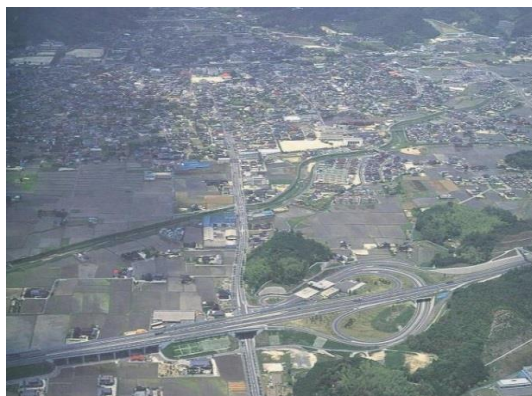
岩国地区



西岩国地区



由宇地区



玖珂地区

(2) 水源



錦川



由宇川

(3) 水道局庁舎等



旧水道局庁舎（今津町6-2-23）
〈昭和35年～昭和48年〉



旧水道局山手庁舎（山手町4-4-14）
〈昭和48年～平成31年〉



新水道局山手庁舎（山手町4-4-14）
〈令和元年5月供用開始〉



錦見浄水場管理棟（昭和46年工事中）

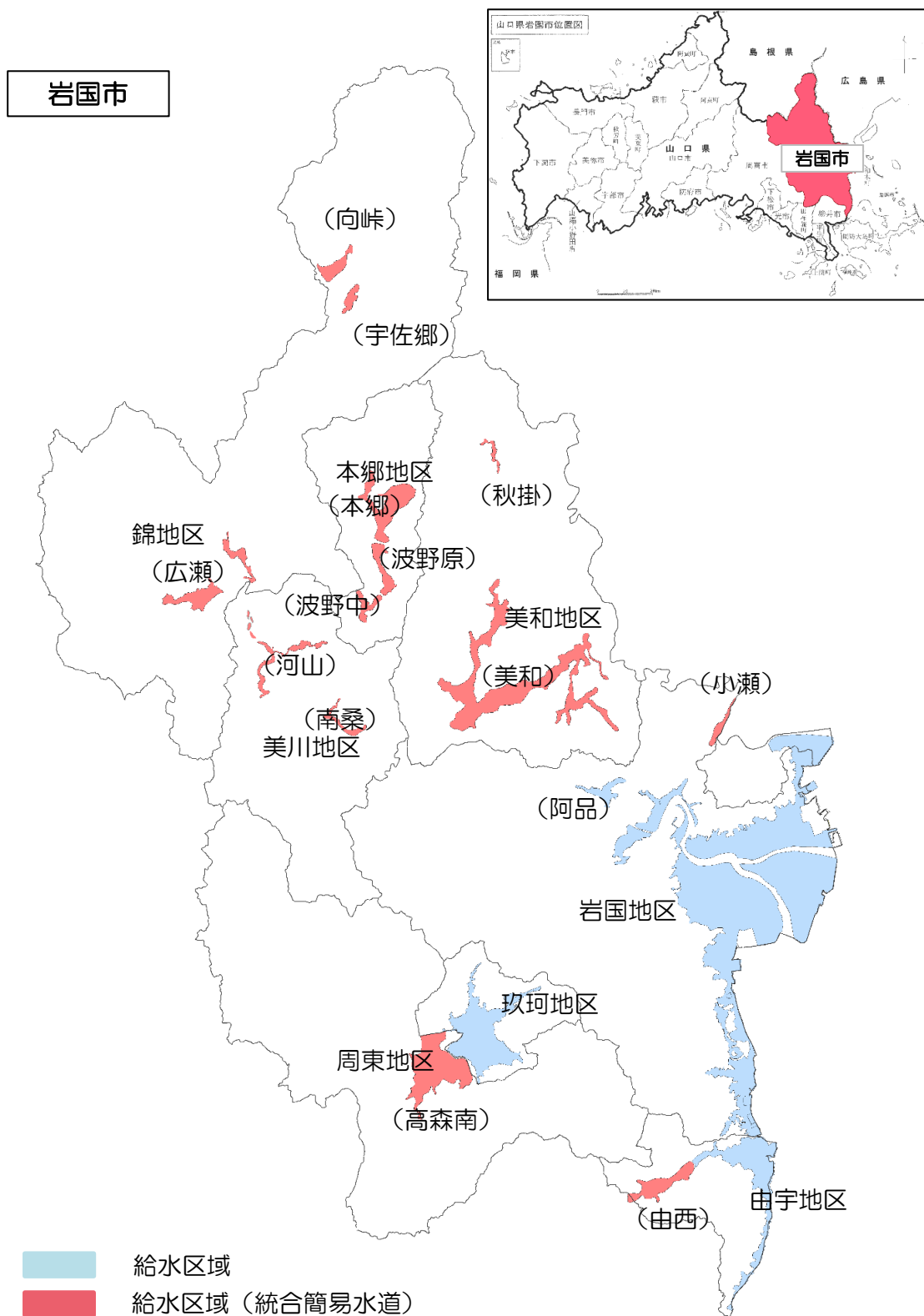


現錦見浄水場管理棟 ※耐震補強済み
（岩国4-10-1）

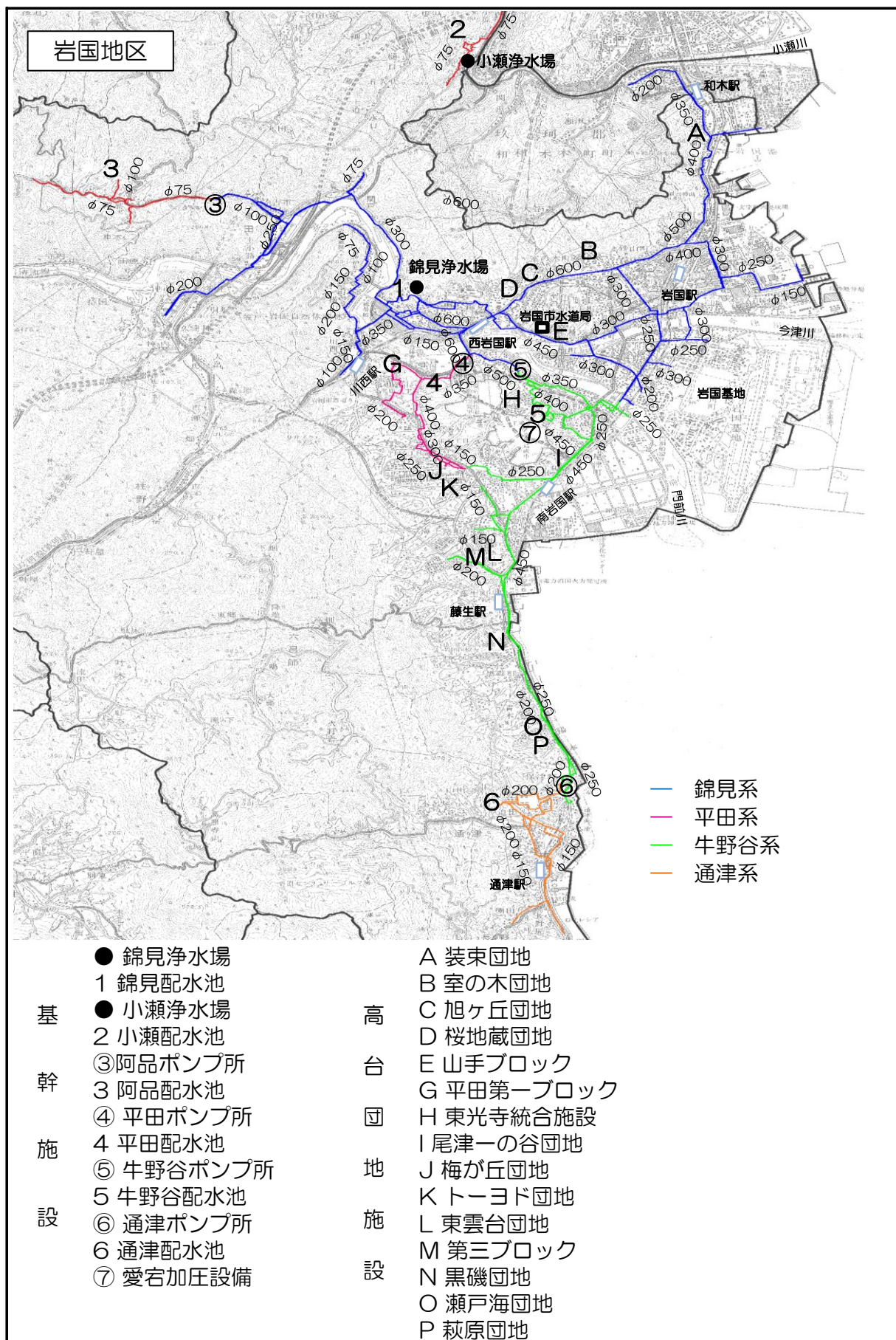
（Ⅱ）施 設

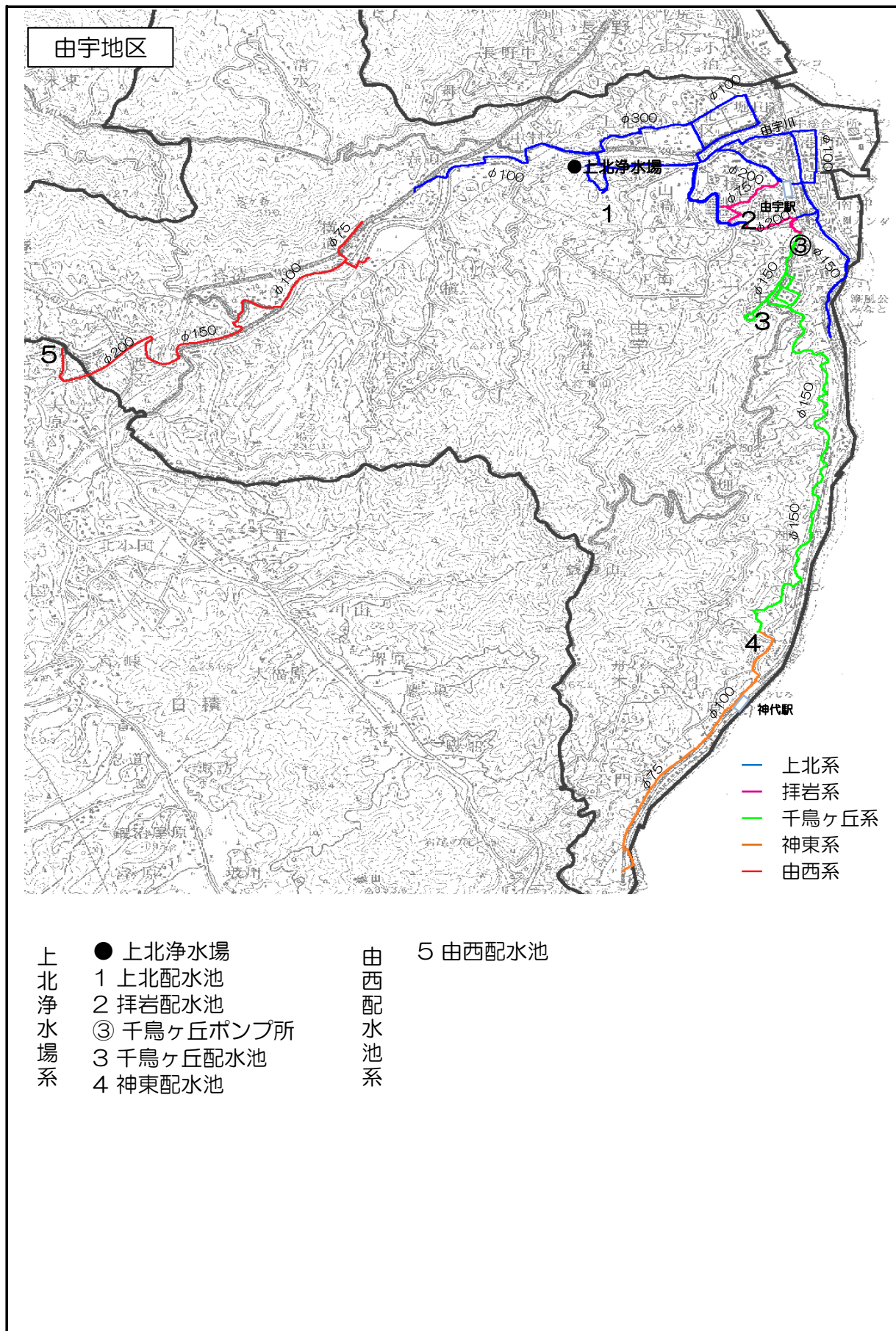
1	給水区域図	・・・	11
2	施設位置図・主要配水管ルート図	・・・	12
3	各施設フロー図	・・・	20
4	各施設詳細	・・・	46
5	配水管	・・・	60
6	施設写真	・・・	62

1 給水区域図

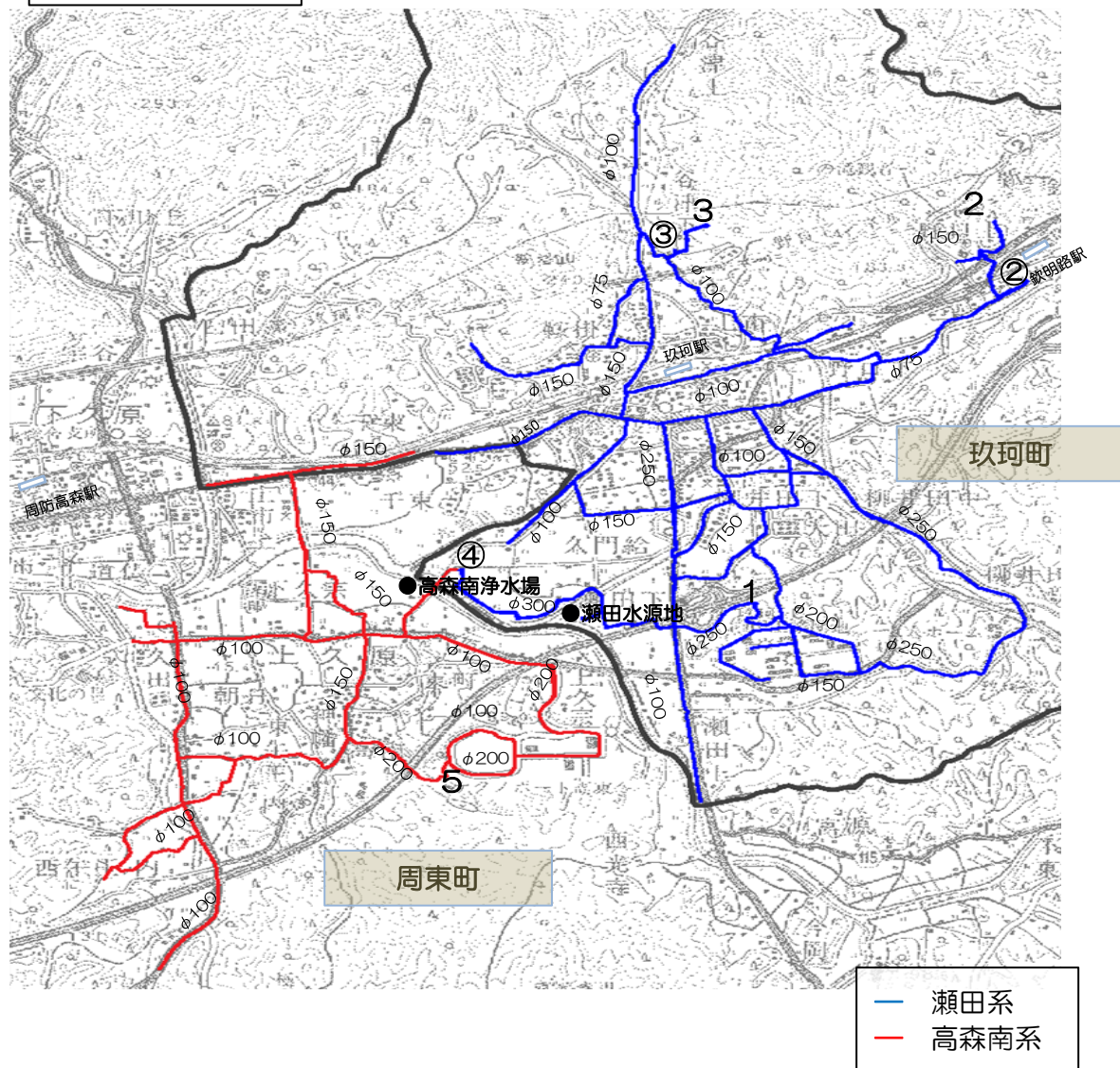


2 施設位置図・主要配水管ルート図





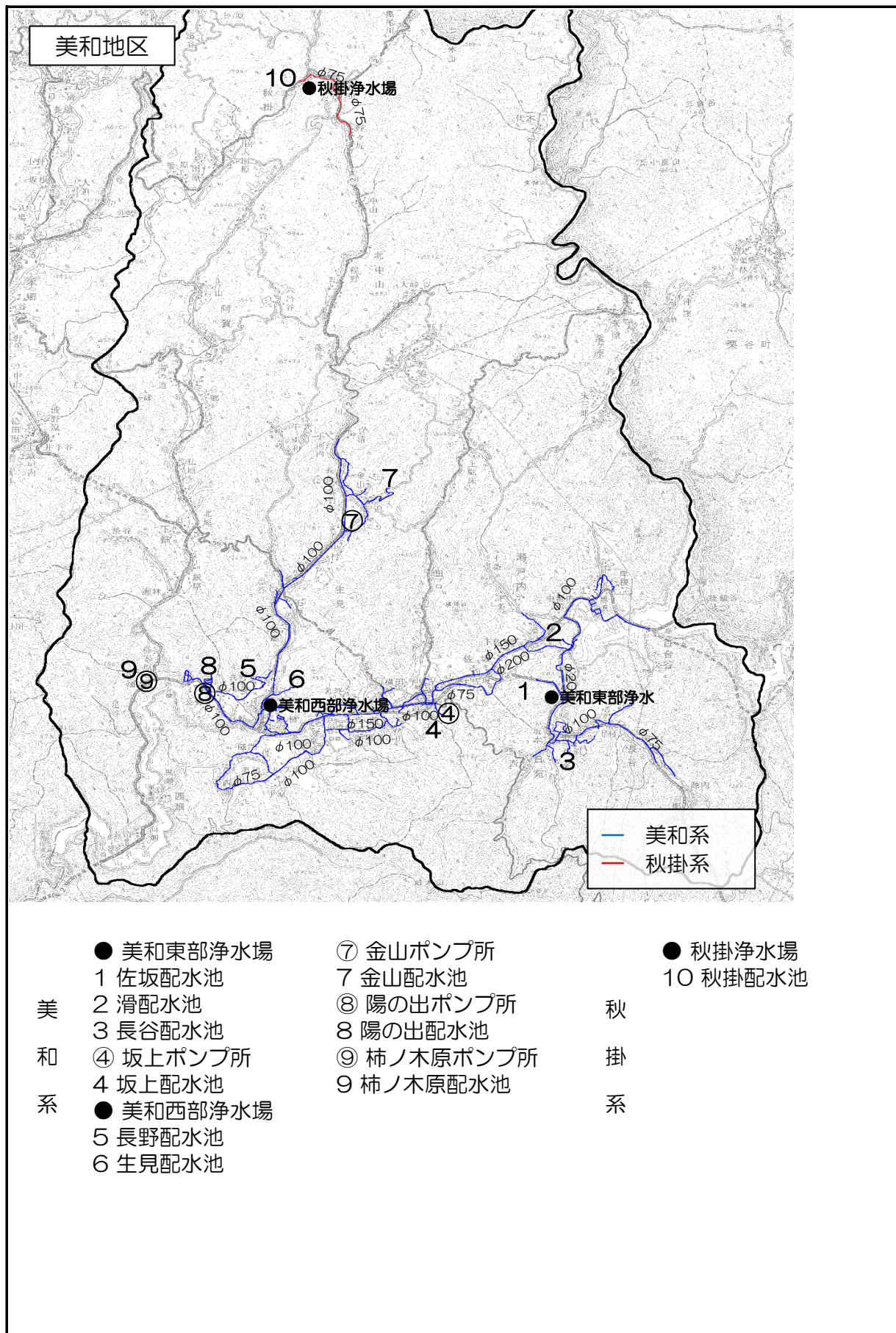
玖珂・周東地区

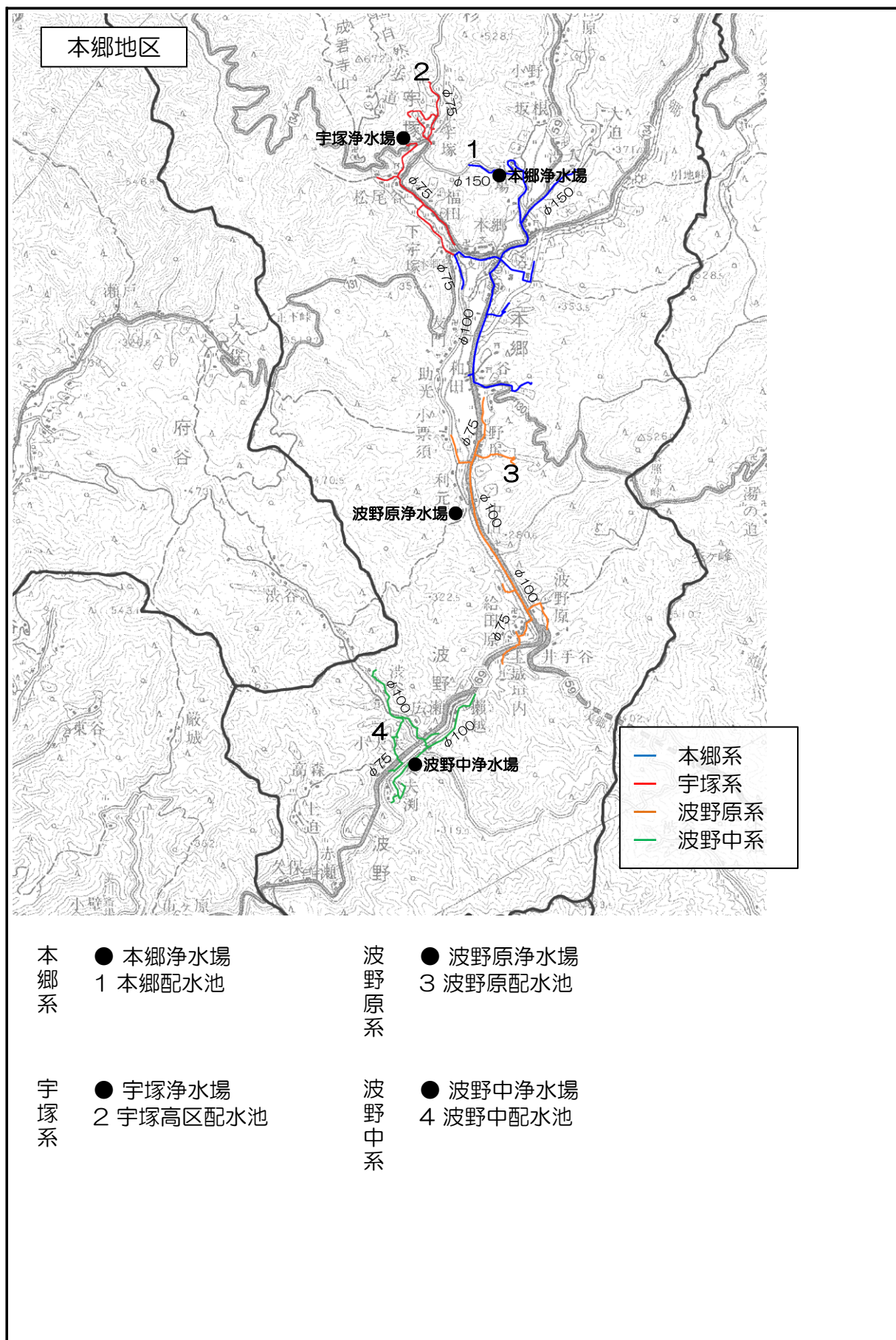


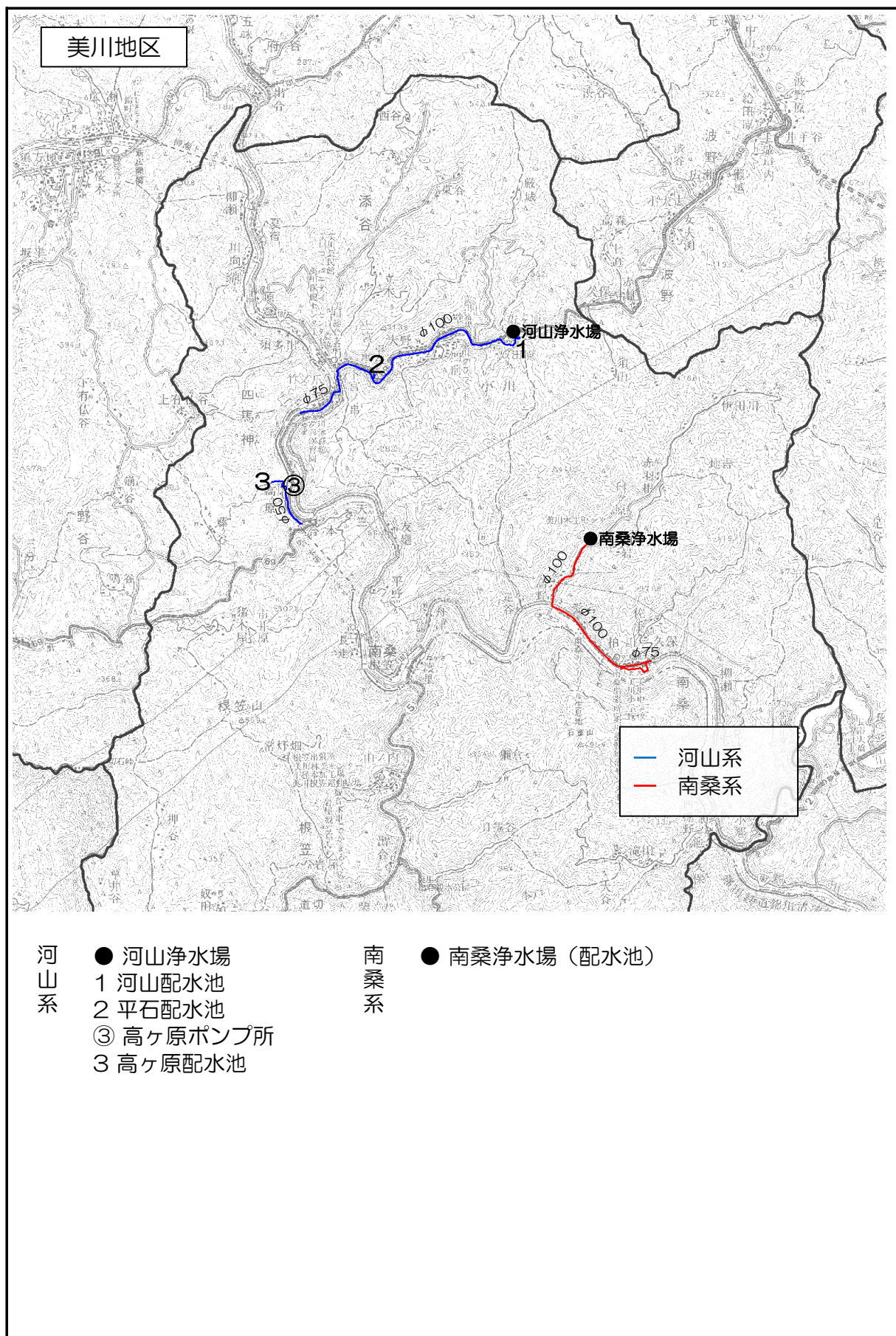
● 瀬田水源地
 1 瀬田配水池
 ② 野口ポンプ所
 2 野口配水池
 ③ 谷津ポンプ所
 3 谷津配水池
 ④ 有延ポンプ所

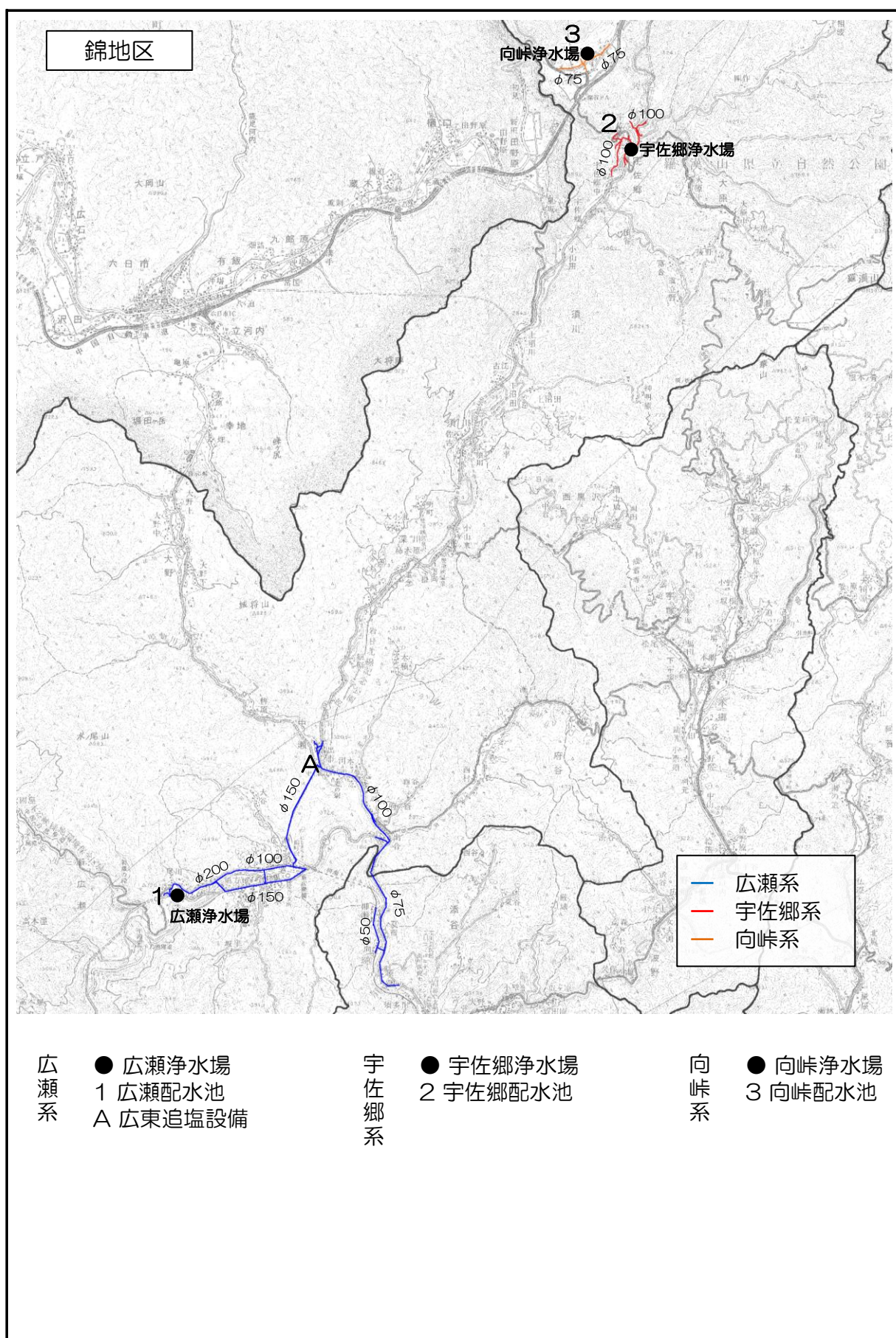
● 高森南浄水場
 5 高森南配水池

高
森
南
系

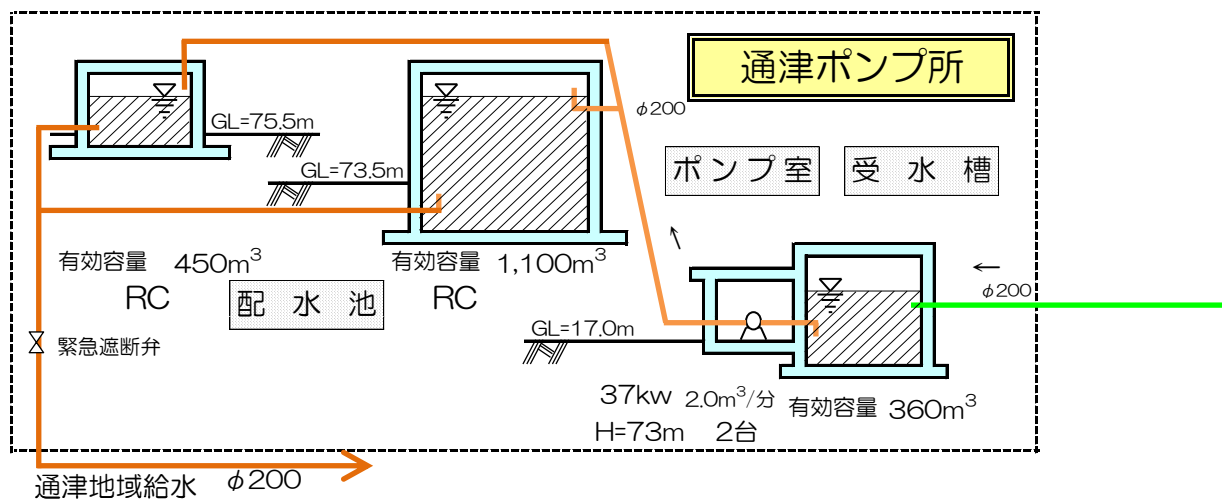
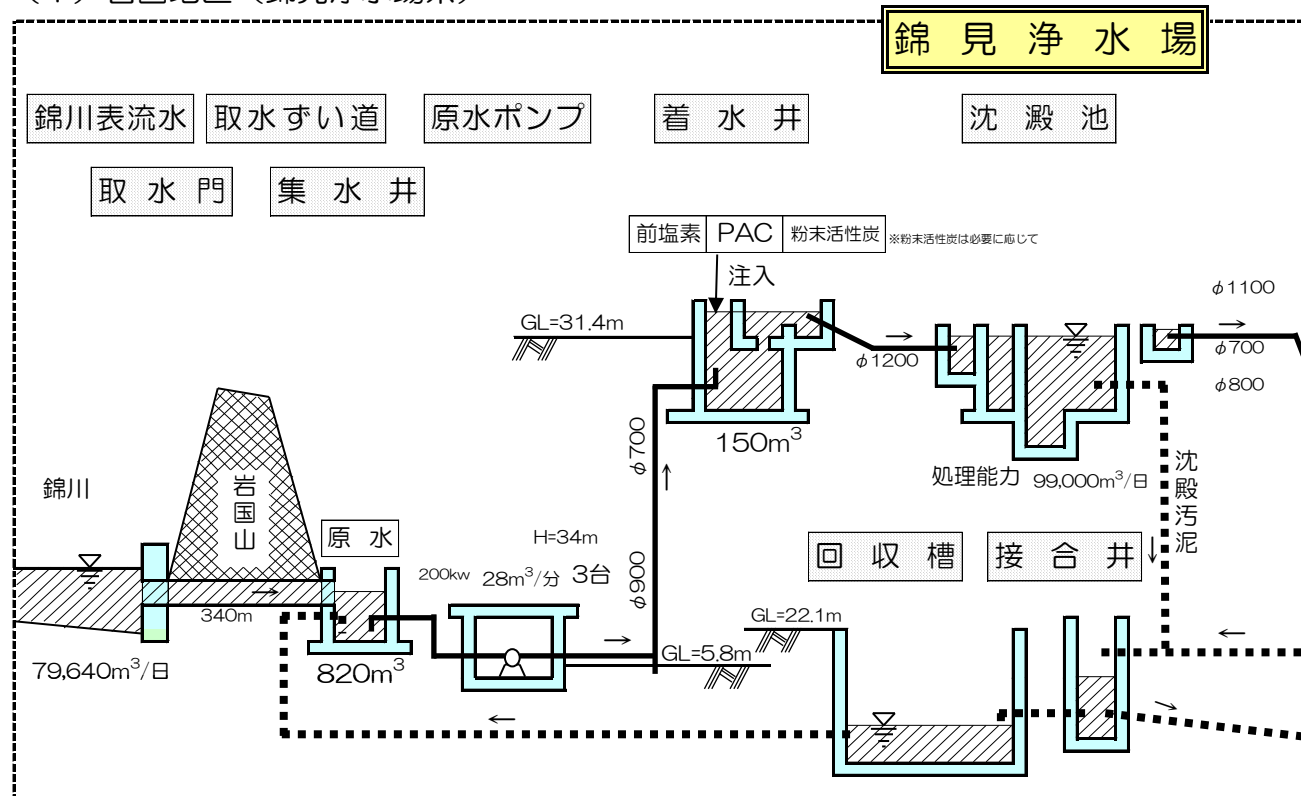


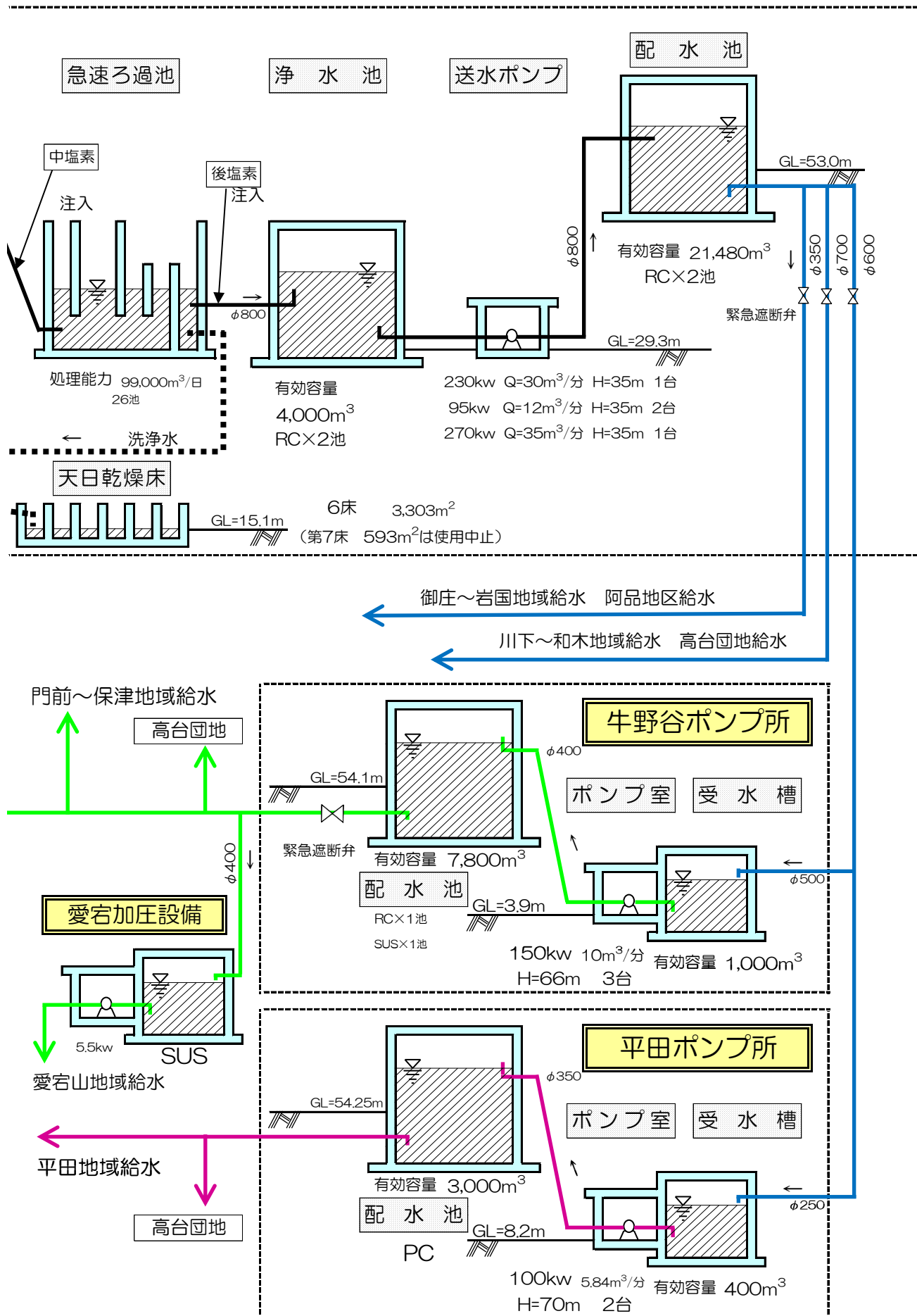




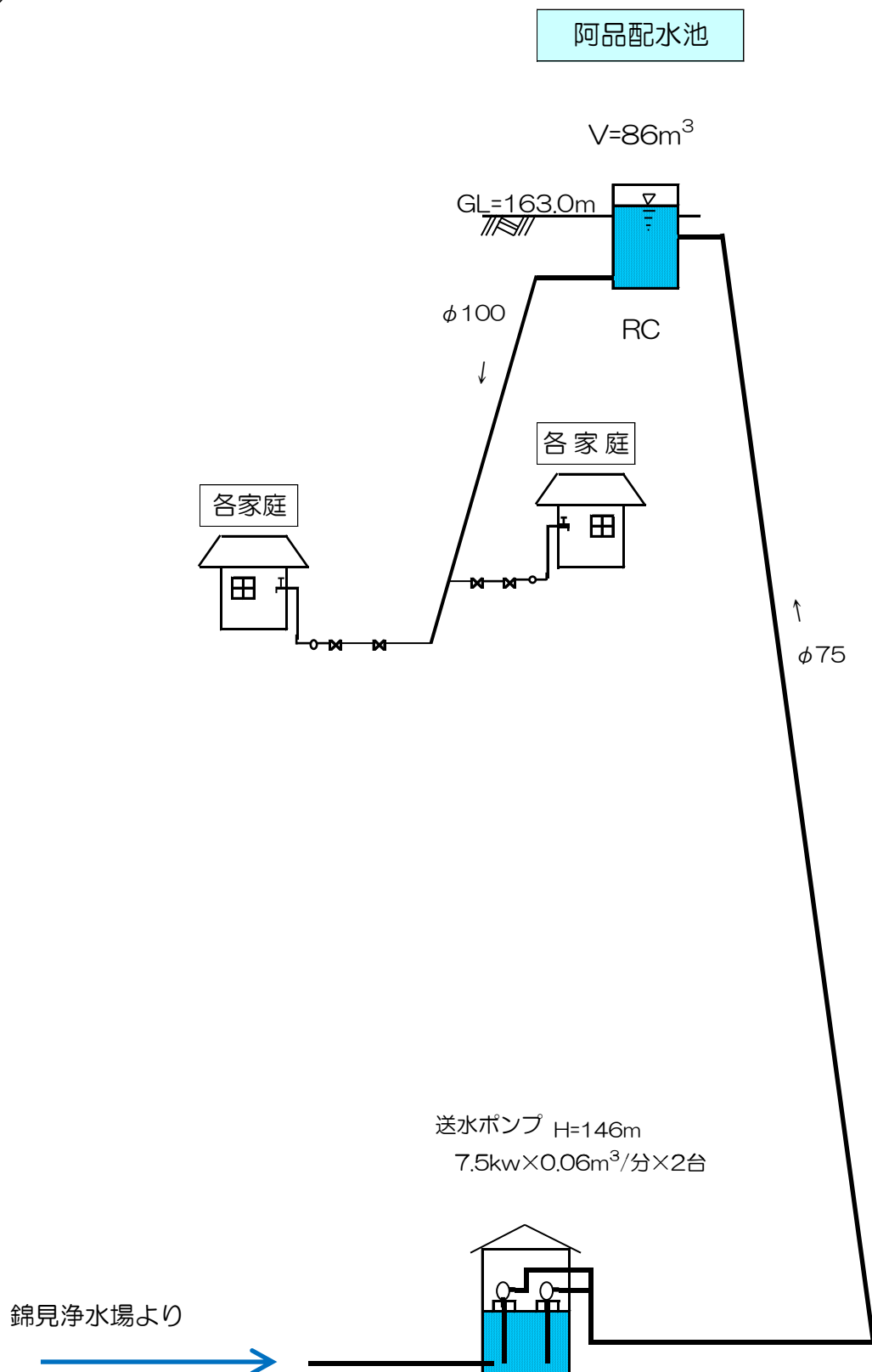


3 各施設フロー図 (1) 岩国地区（錦見浄水場系）

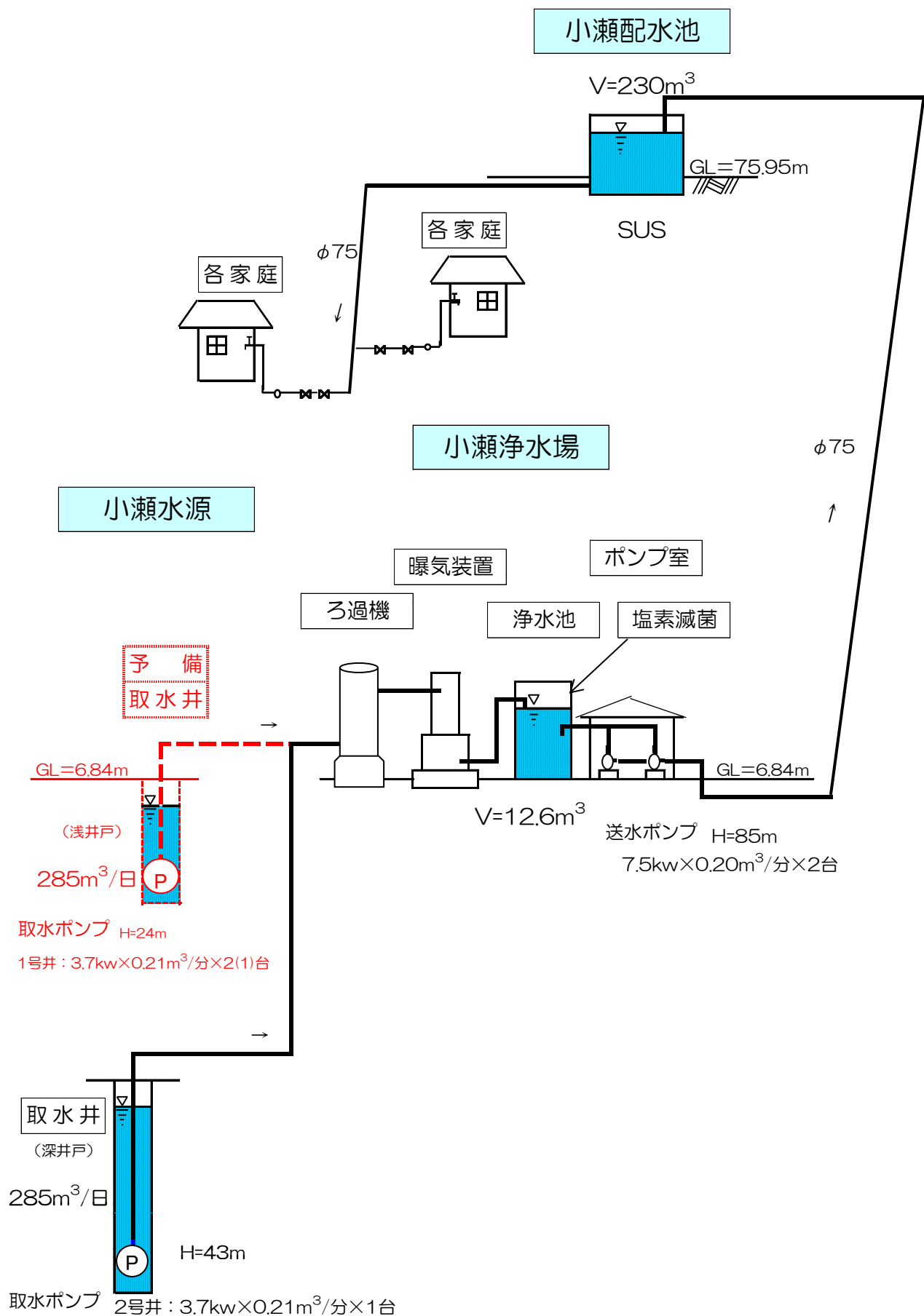




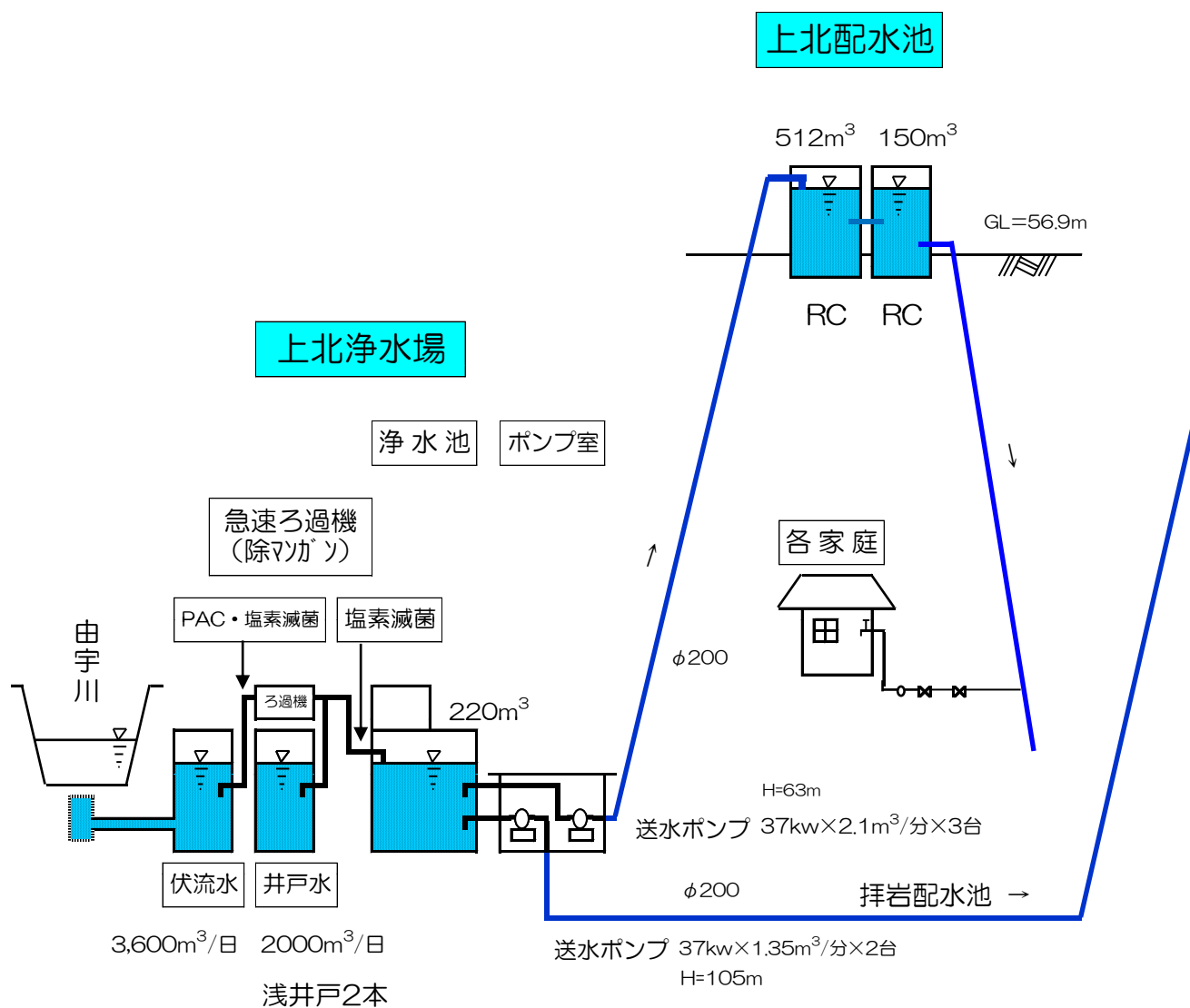
(阿品地区給水)



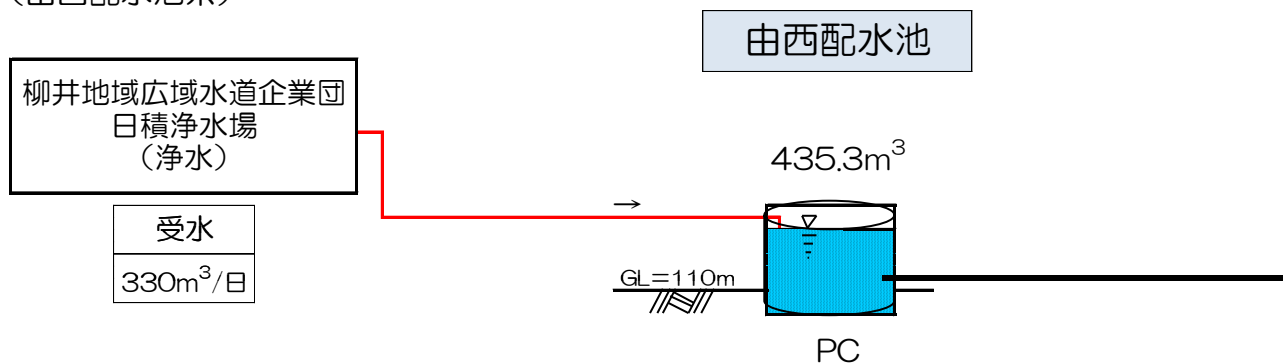
(小瀬浄水場系)

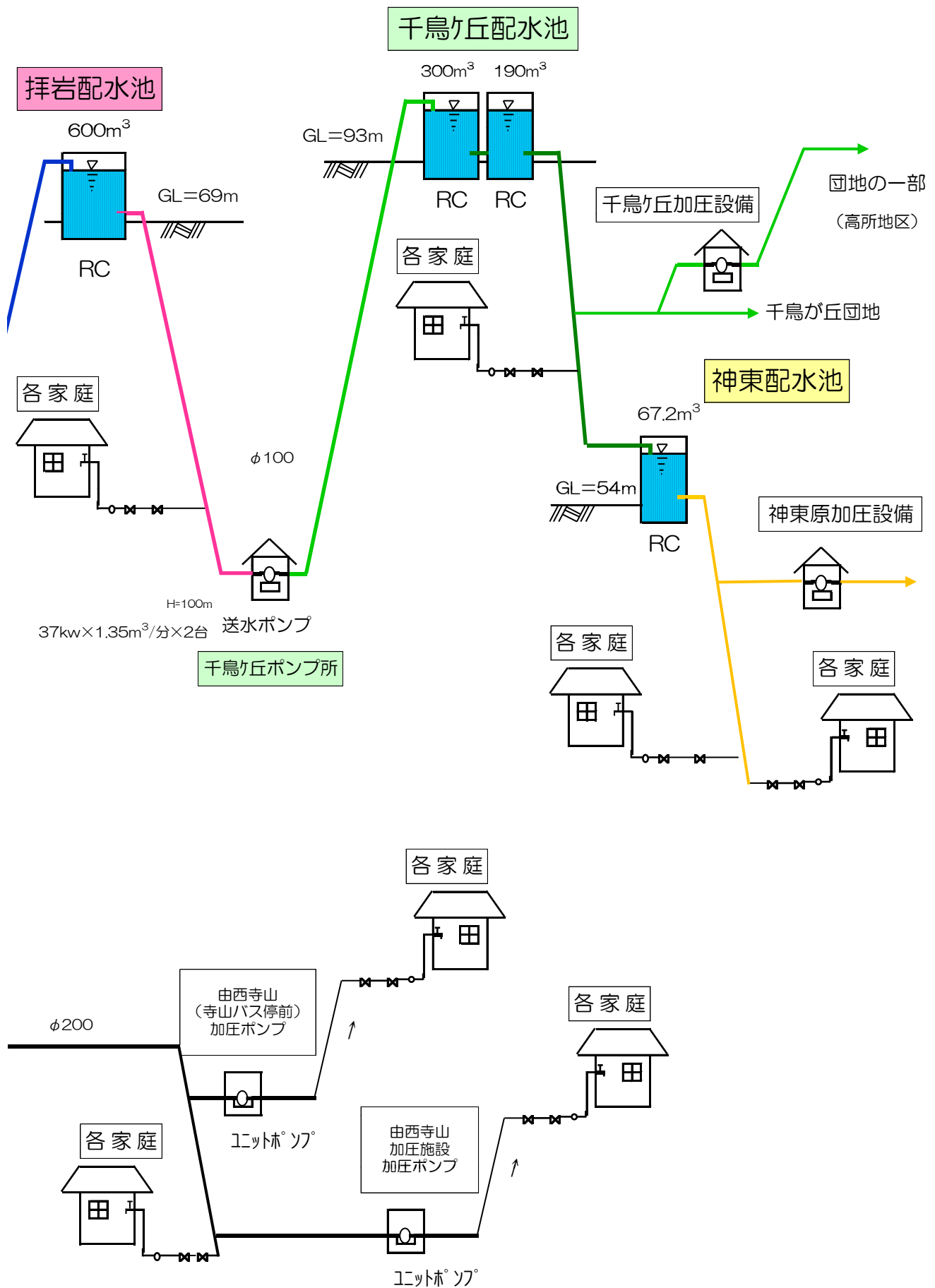


(2) 由宇地区（上北浄水場系）

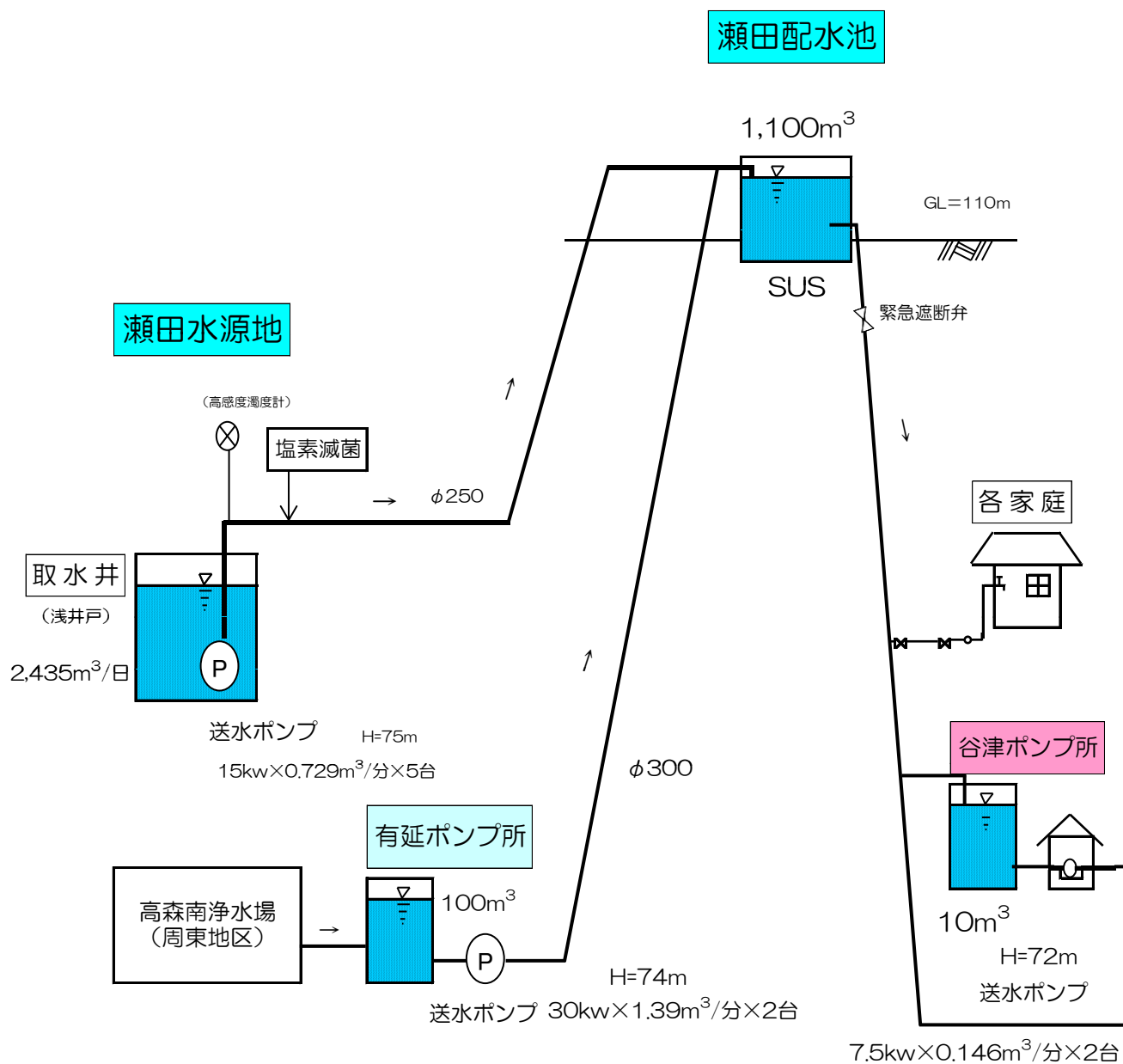


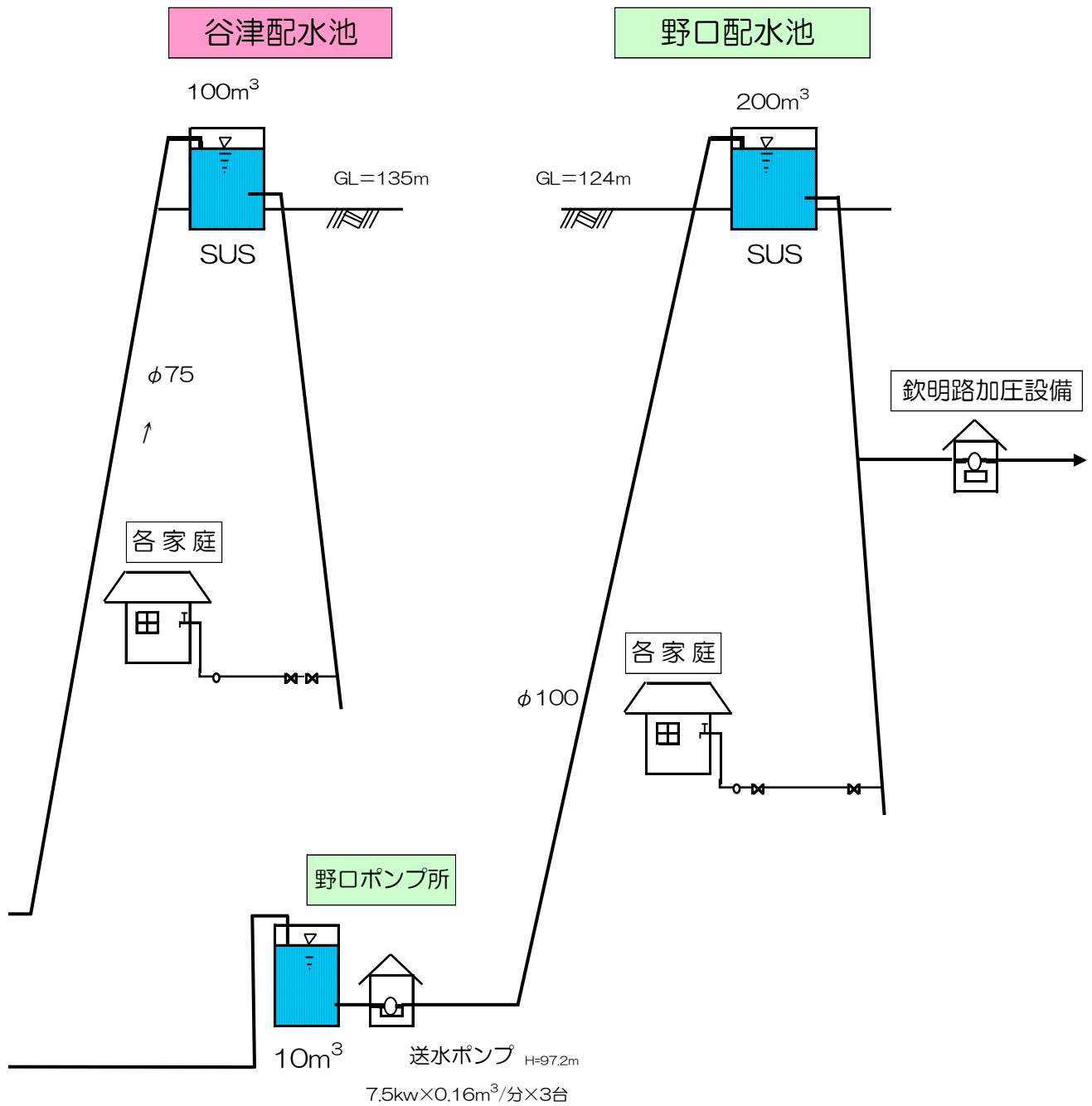
(由西配水池系)





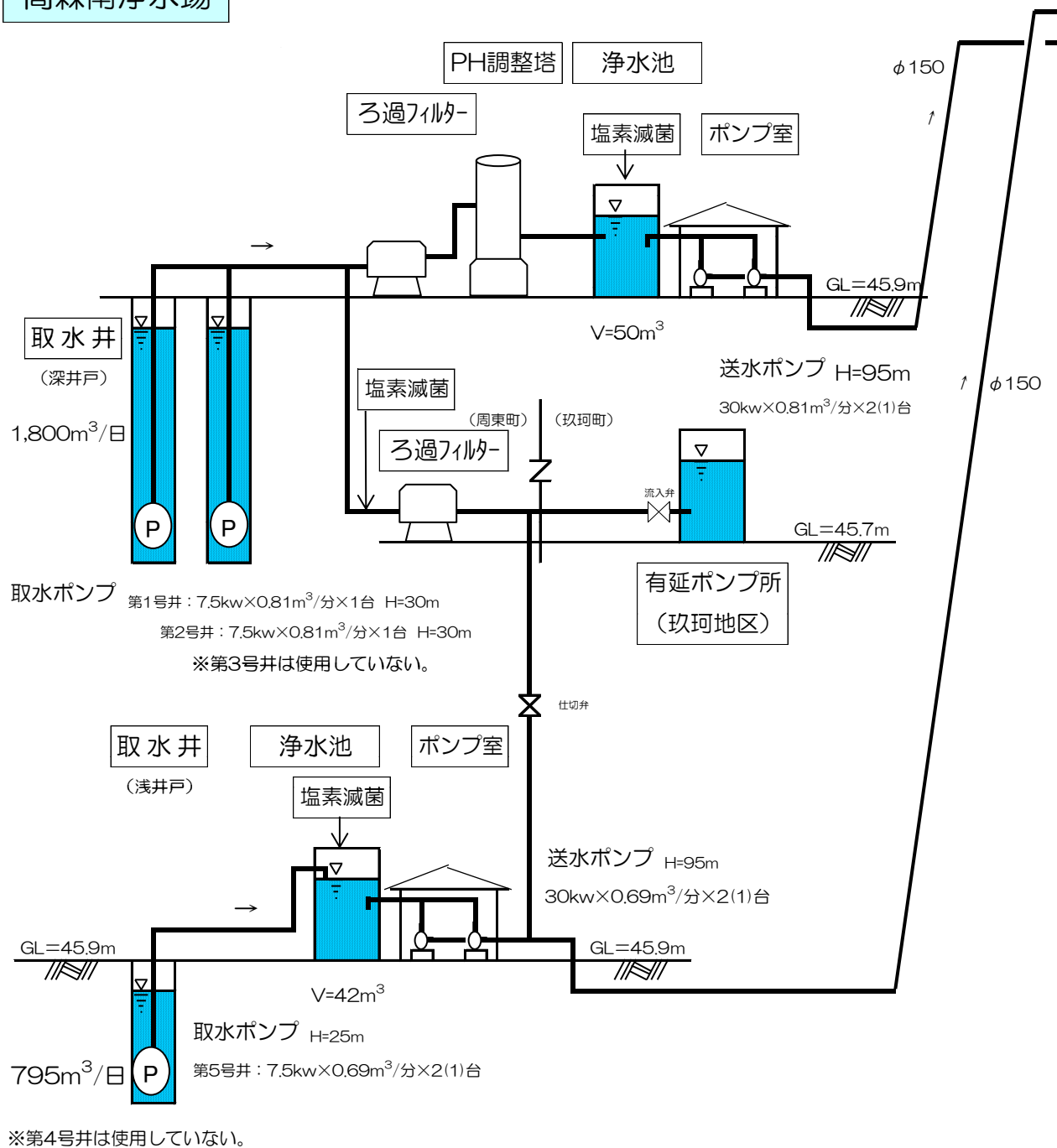
(3) 玖珂地区

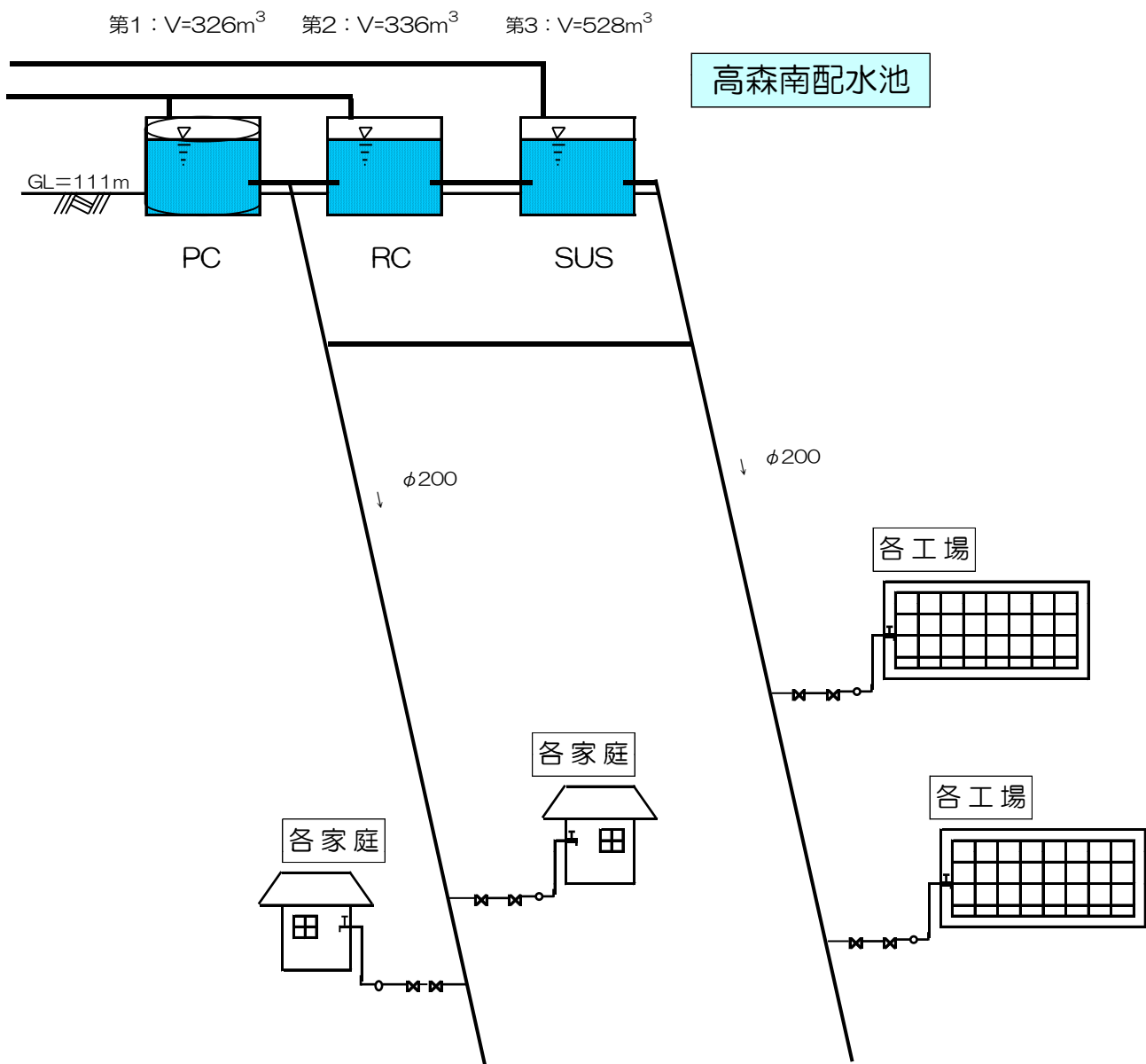




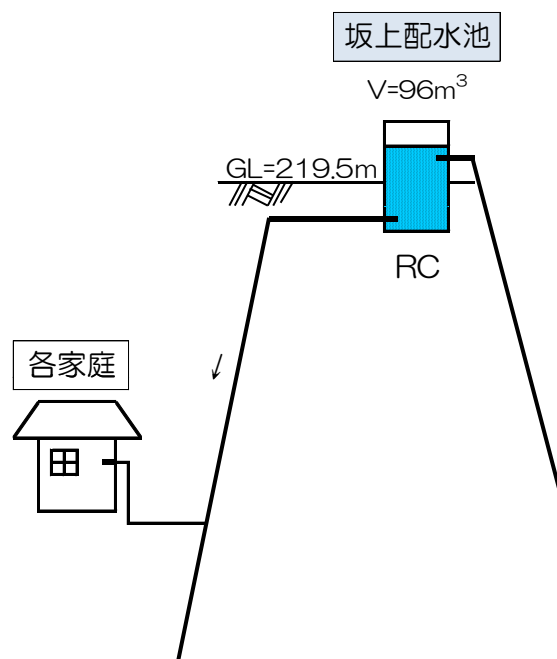
(4) 周東地区

高森南浄水場

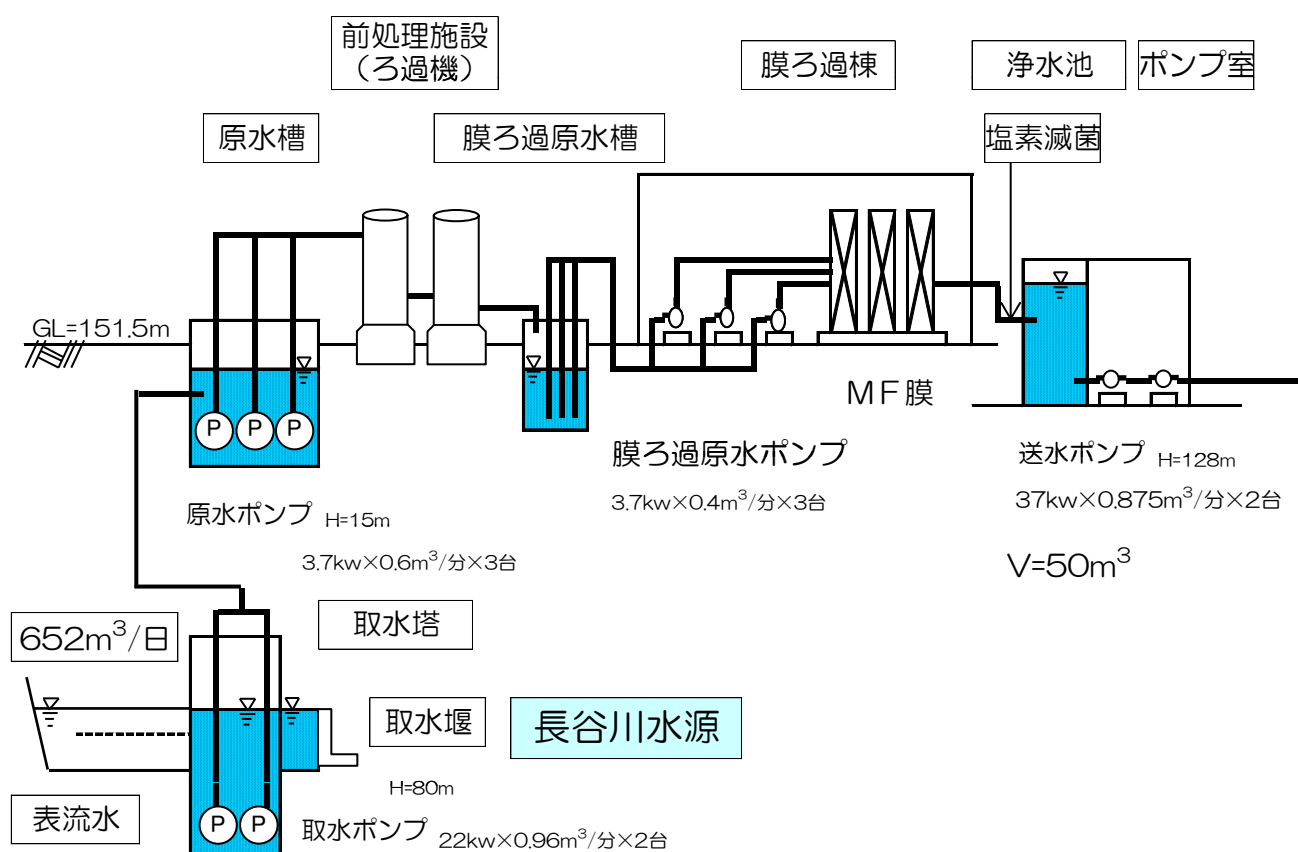


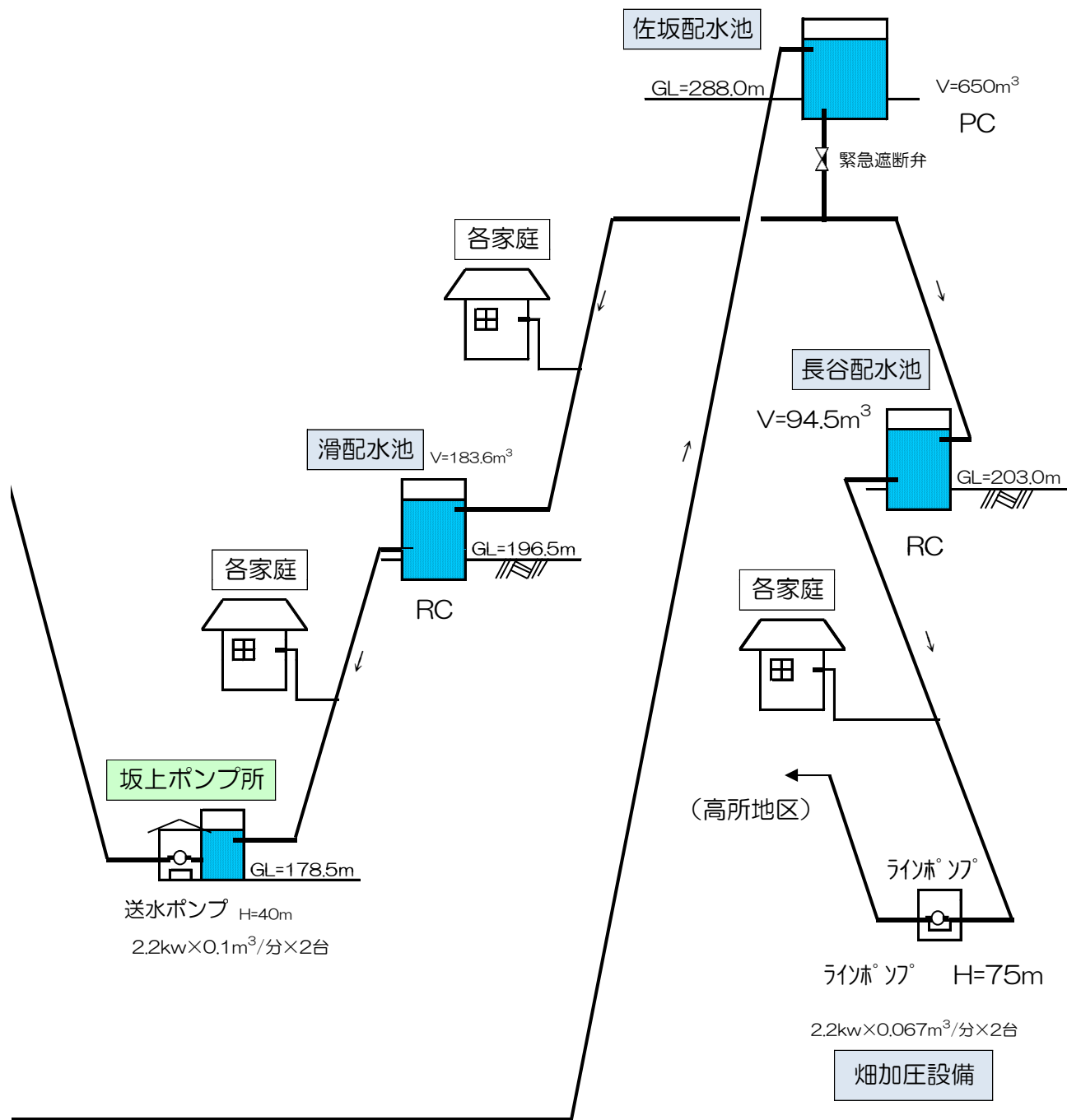


(5) 美和地区（東部浄水場系）



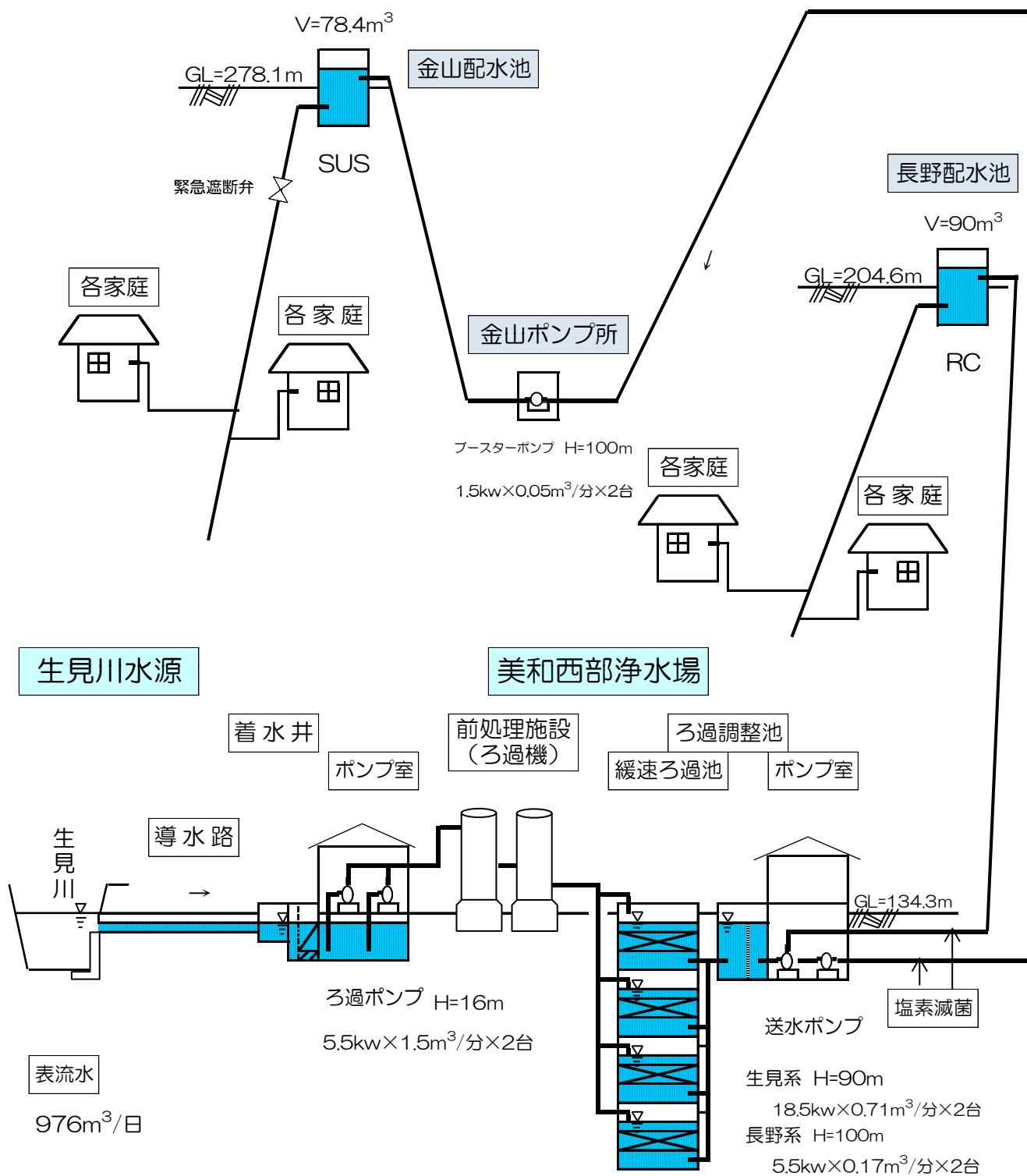
美和東部浄水場

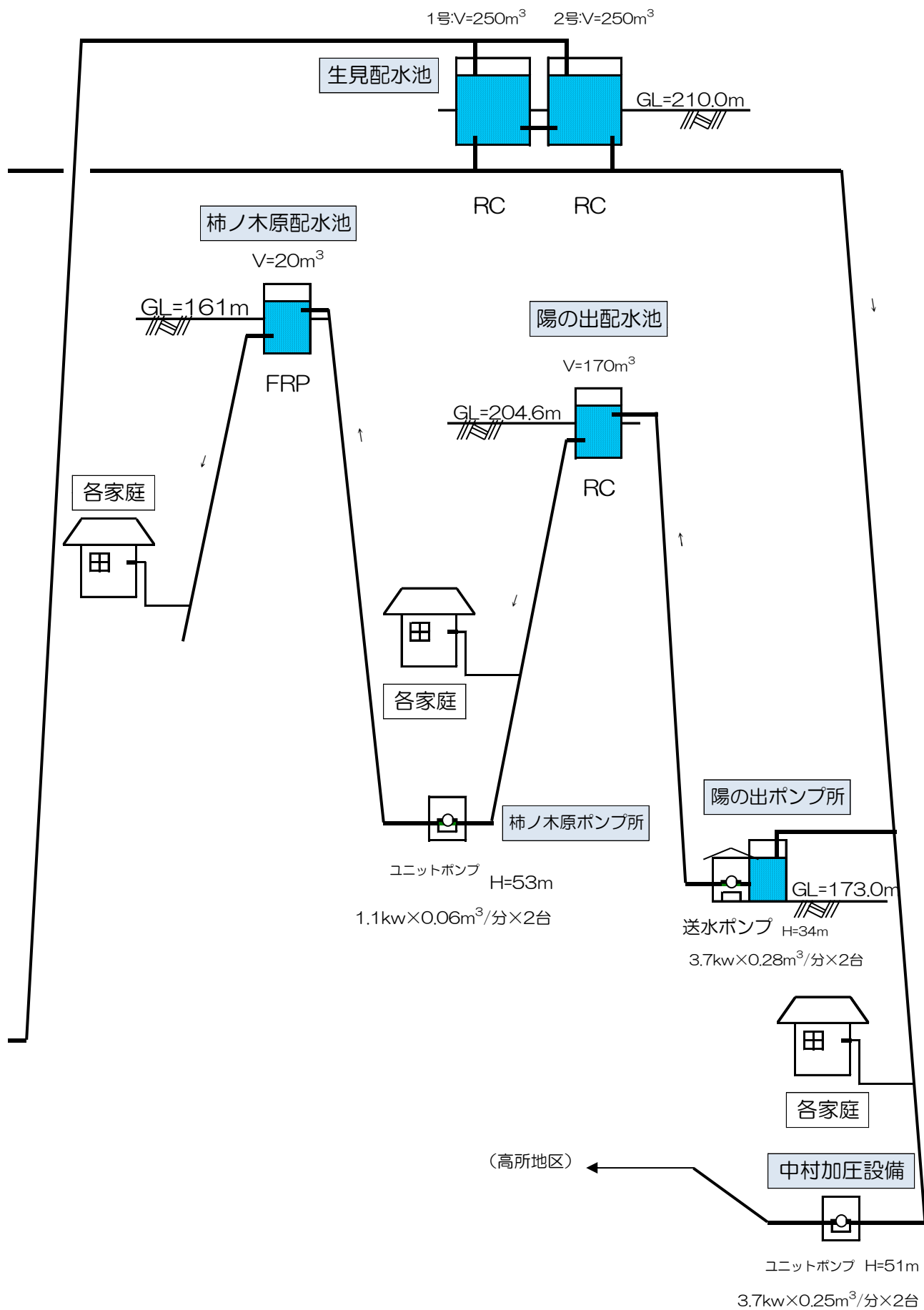




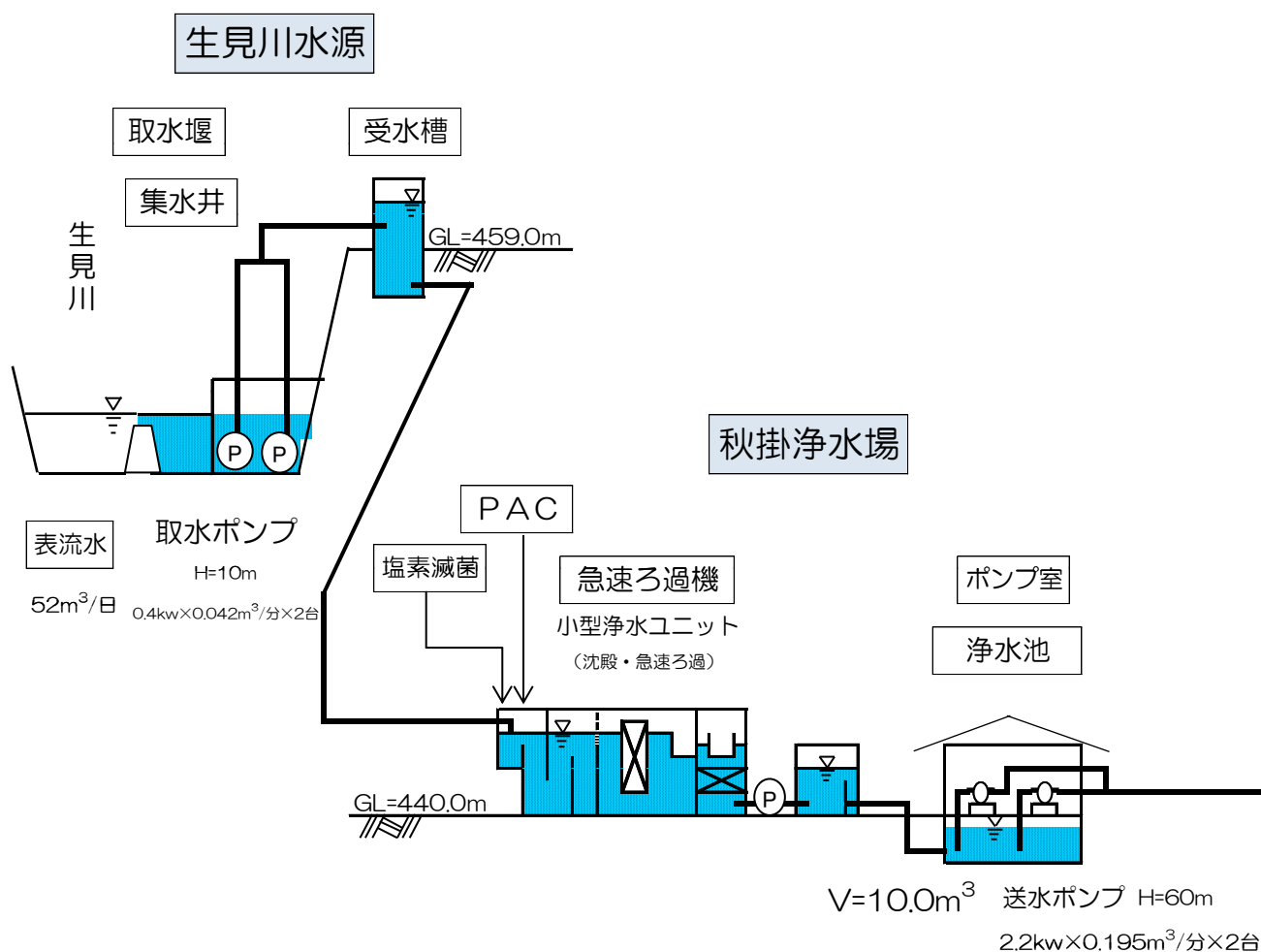
1

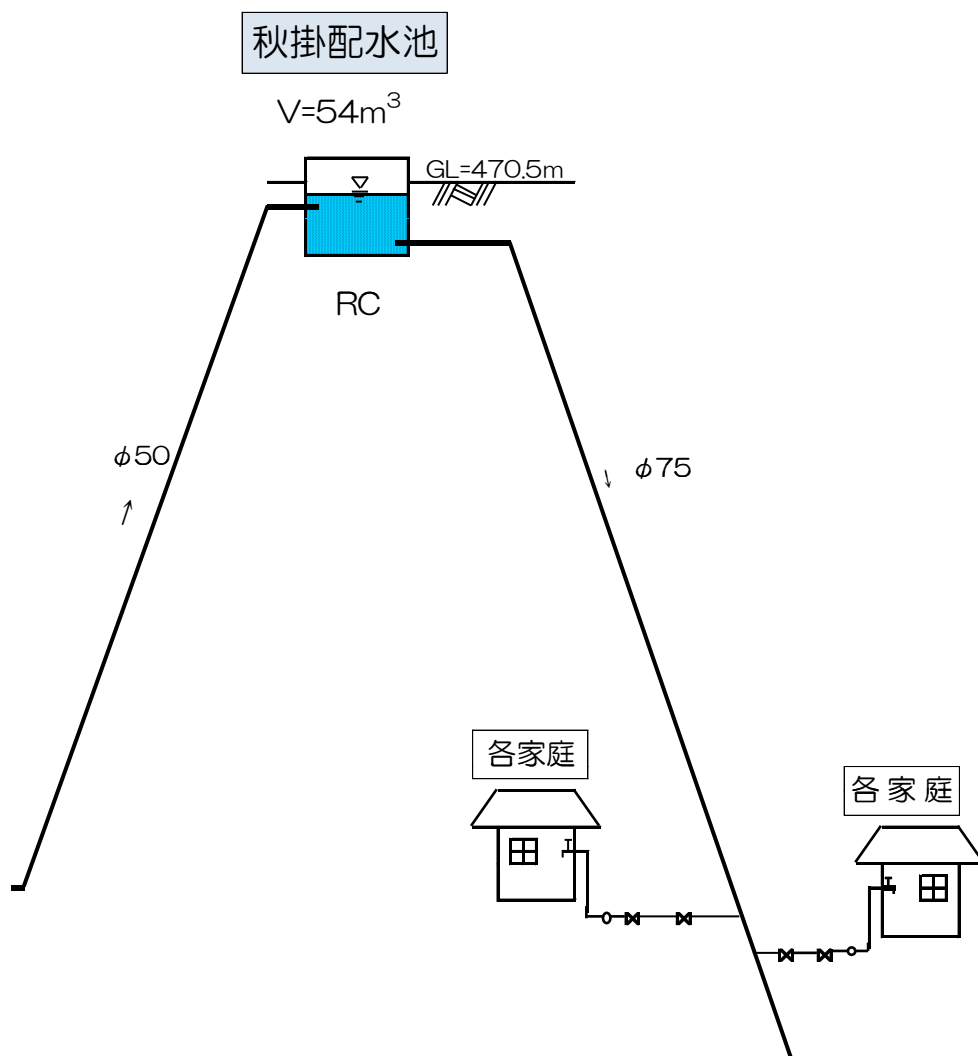
(西部浄水場系)



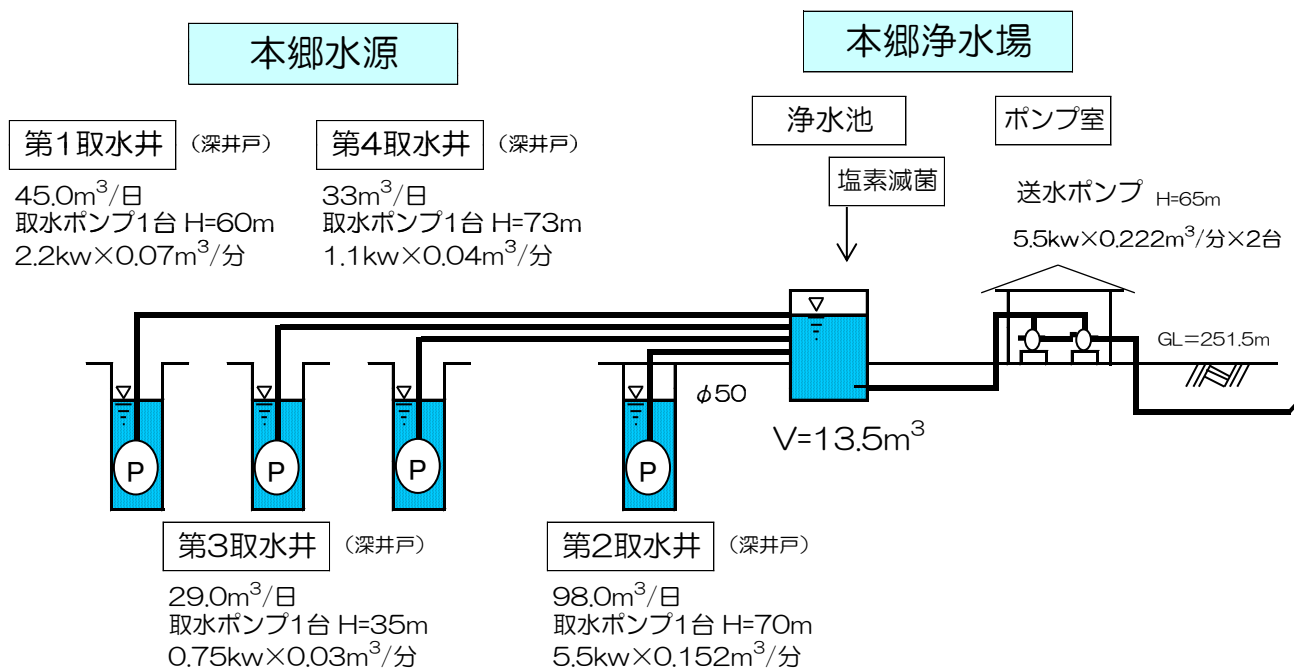


(秋掛浄水場系)

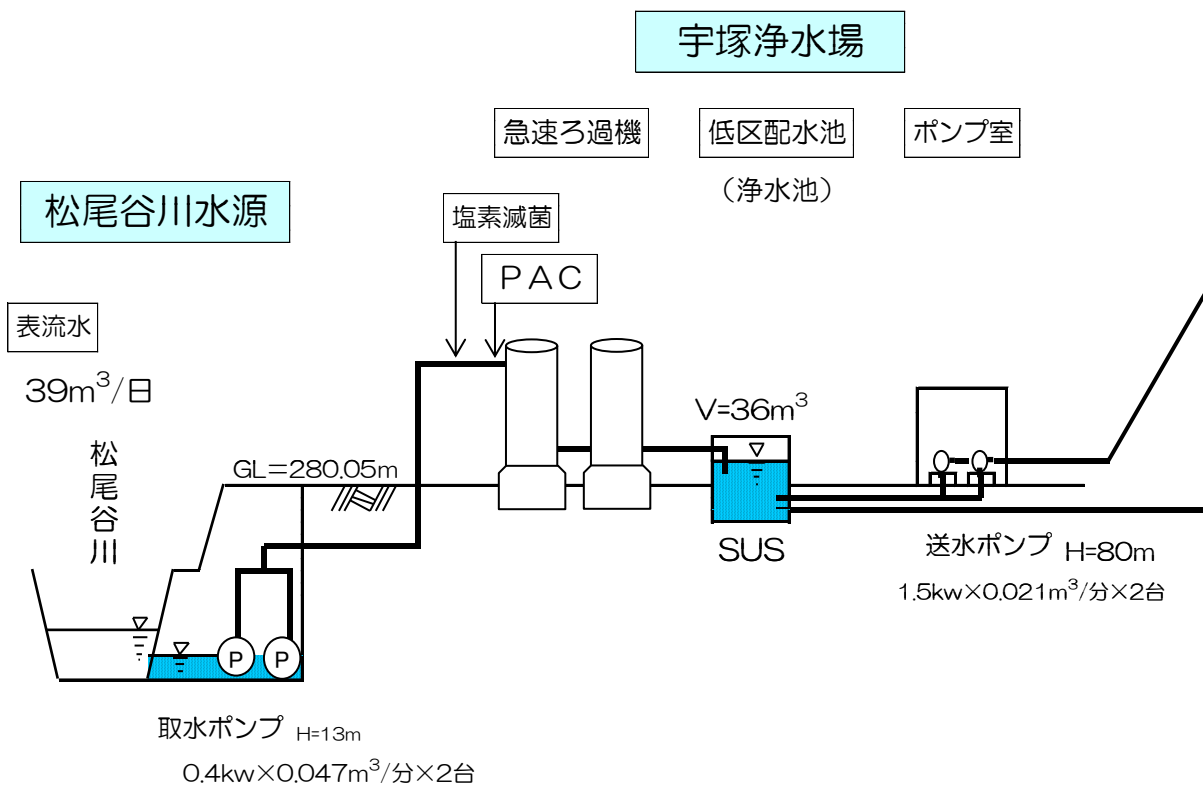




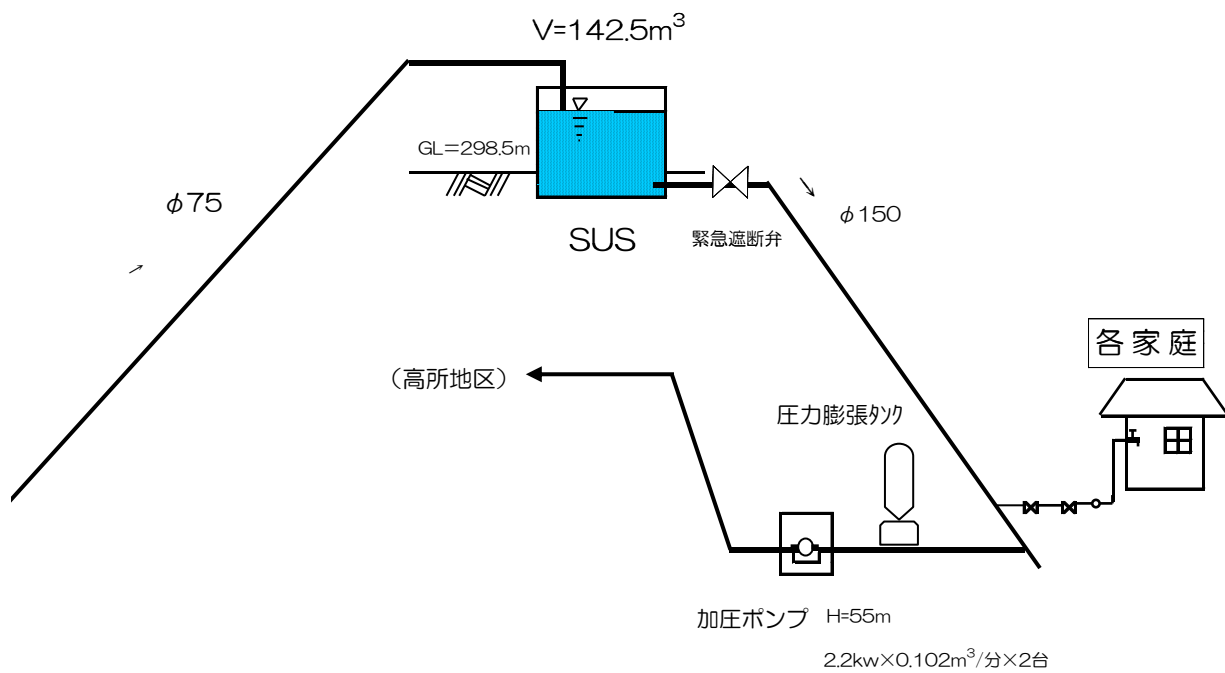
(6) 本郷地区（本郷浄水場系）



（宇塚浄水場系）

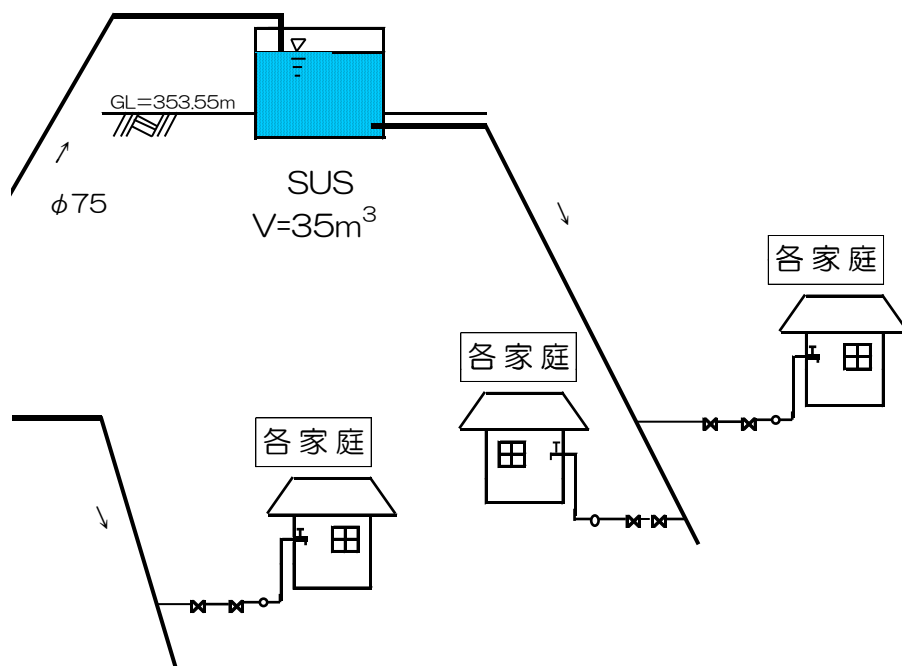


本郷配水池

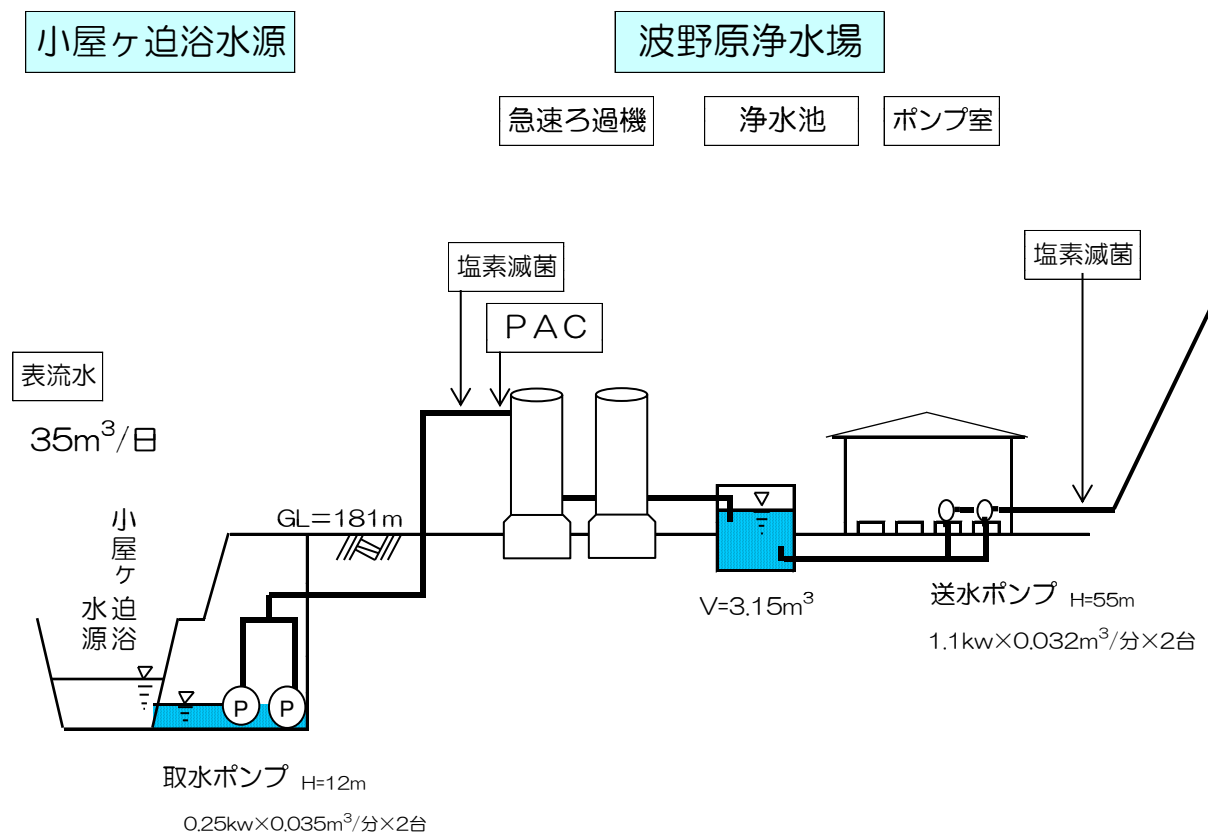


大迫加圧設備

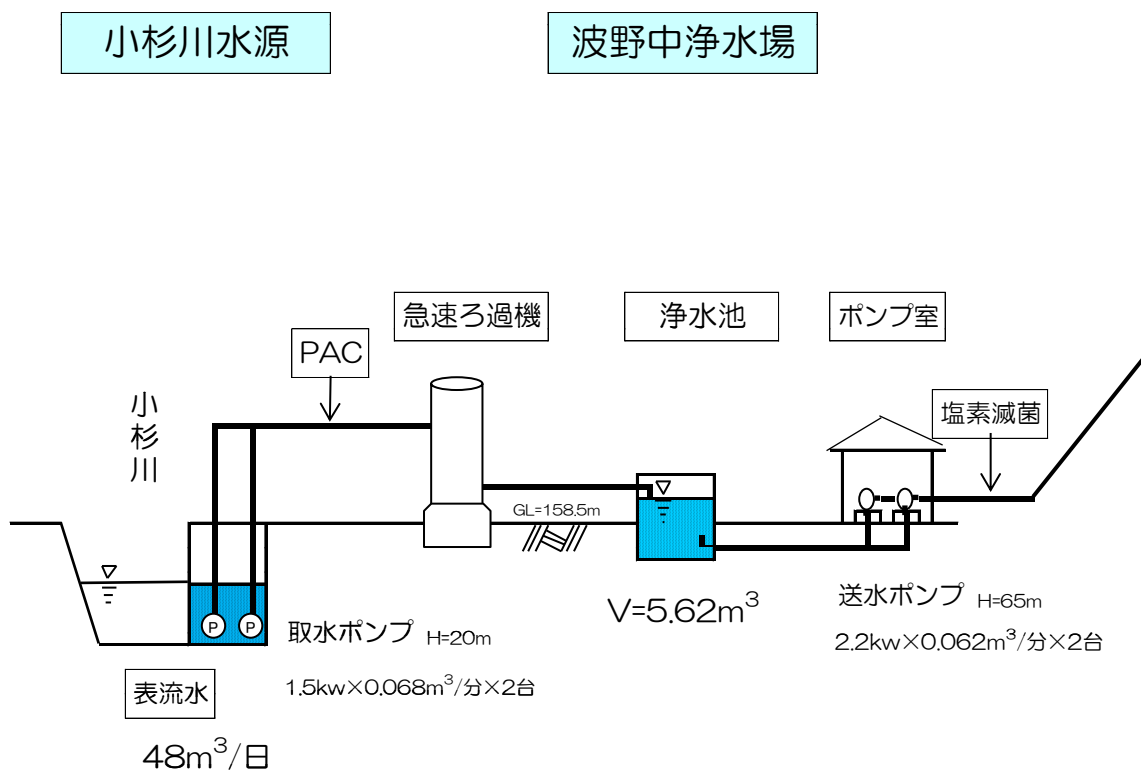
宇塚配水池

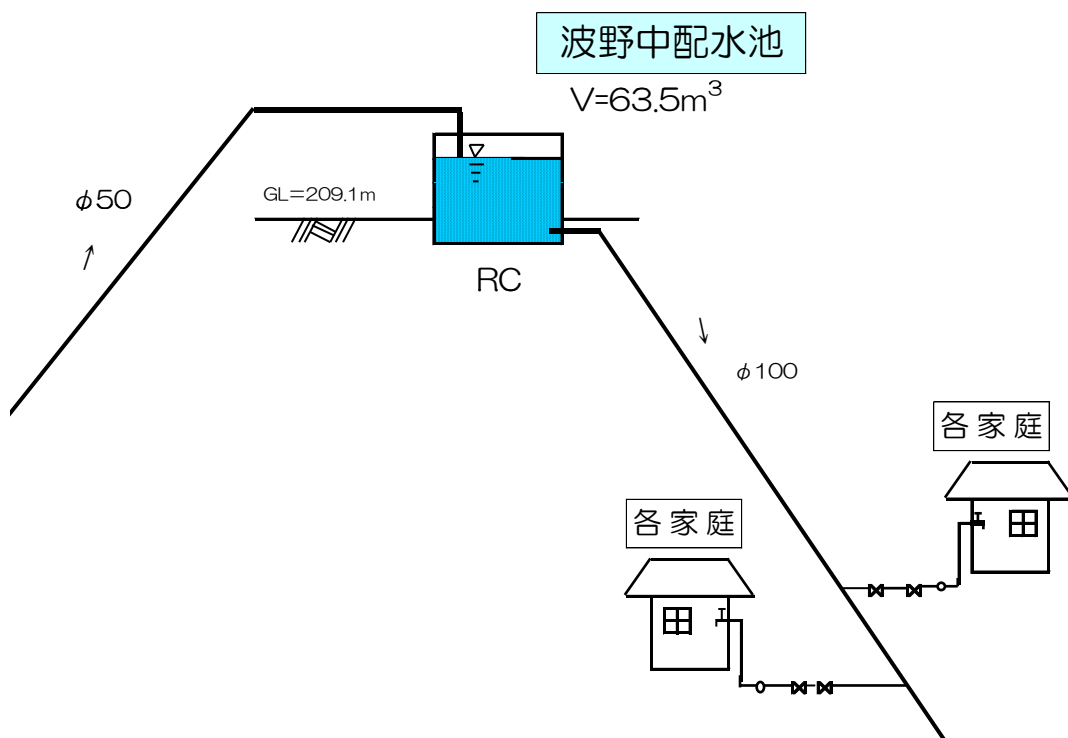
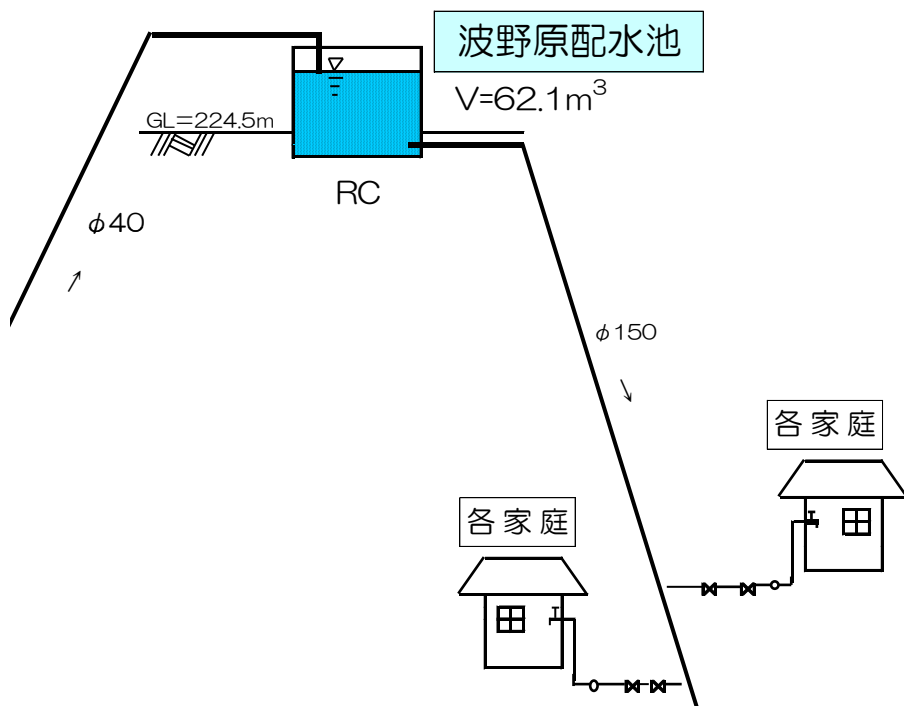


(波野原浄水場系)

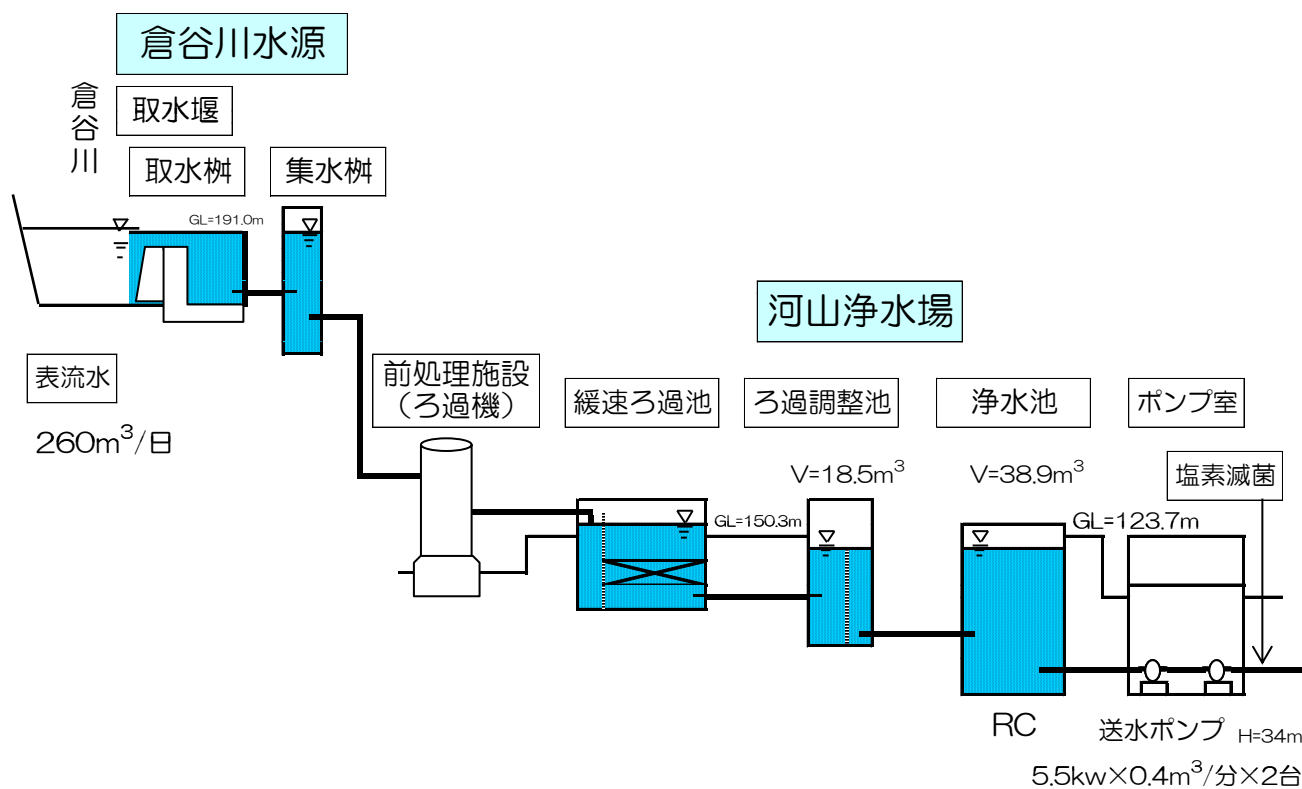


(波野中浄水場系)

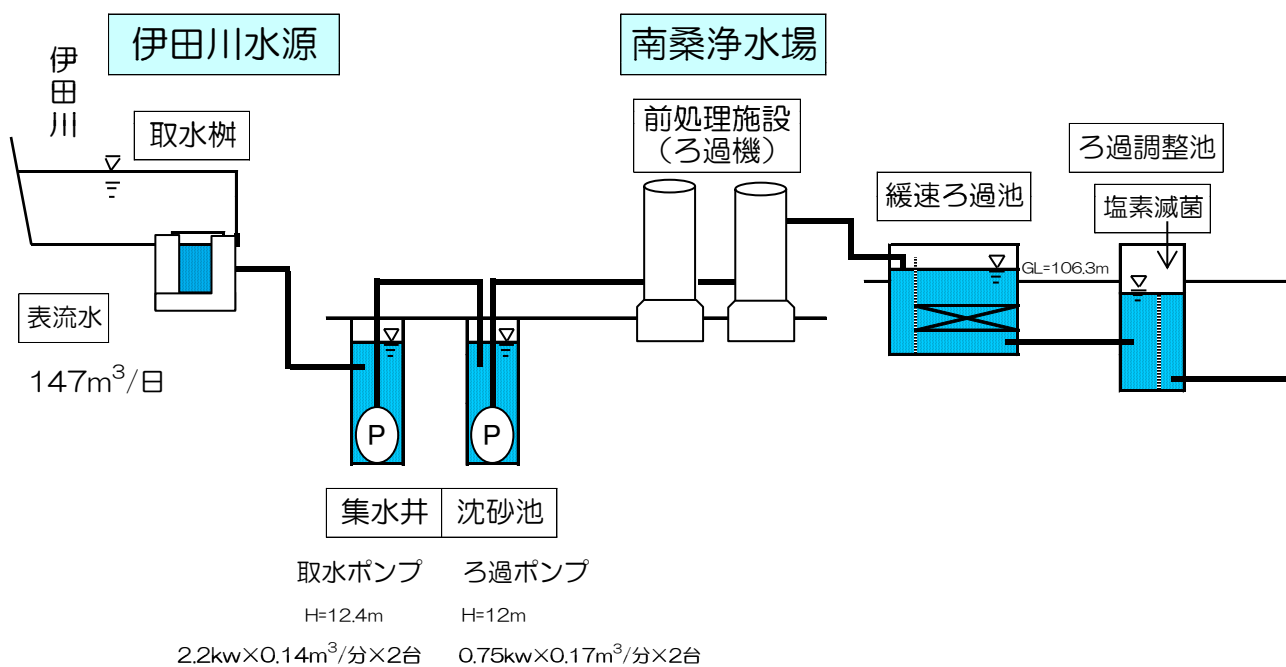




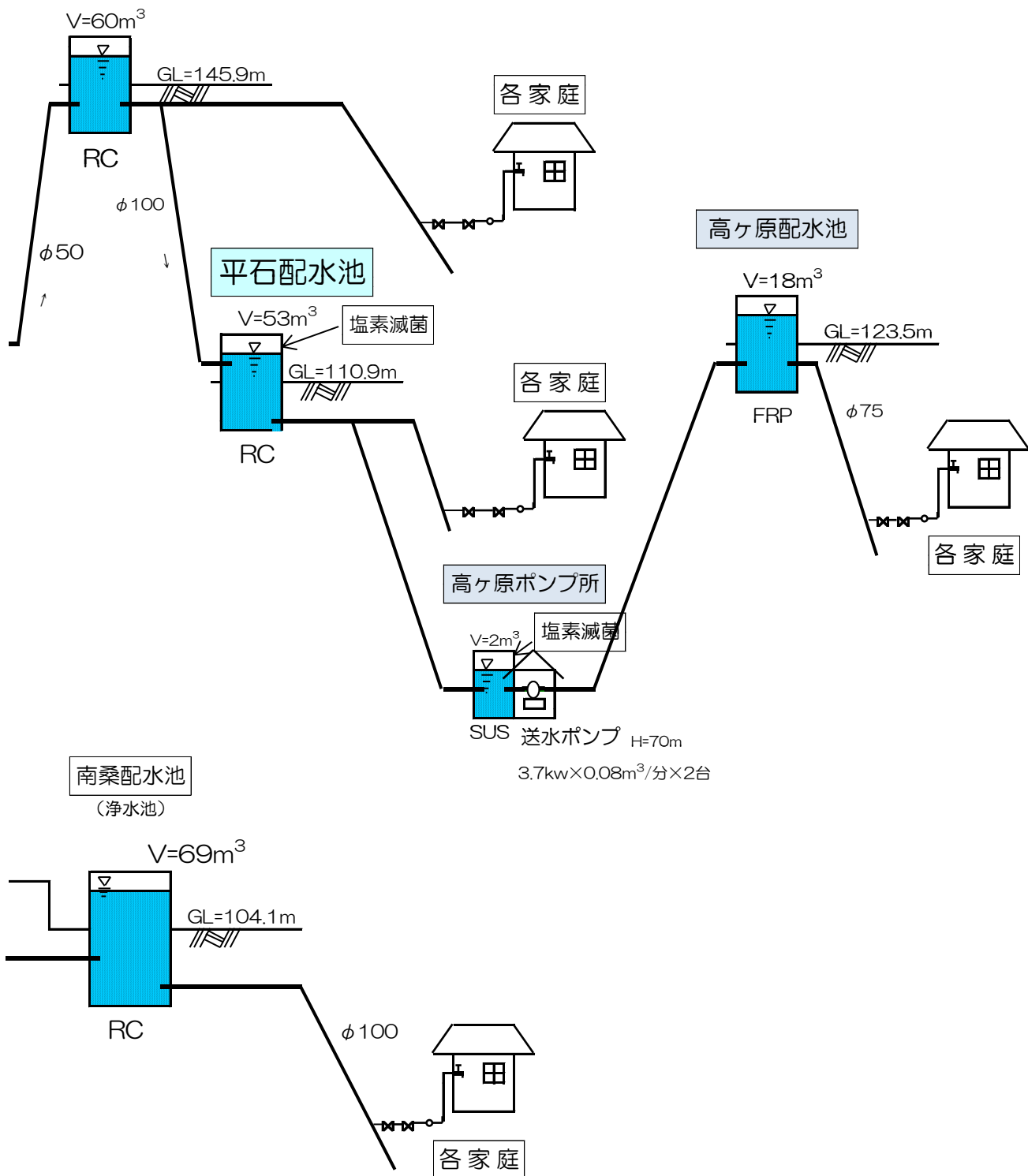
(7) 美川地区（河山浄水場系）



(南桑浄水場系)



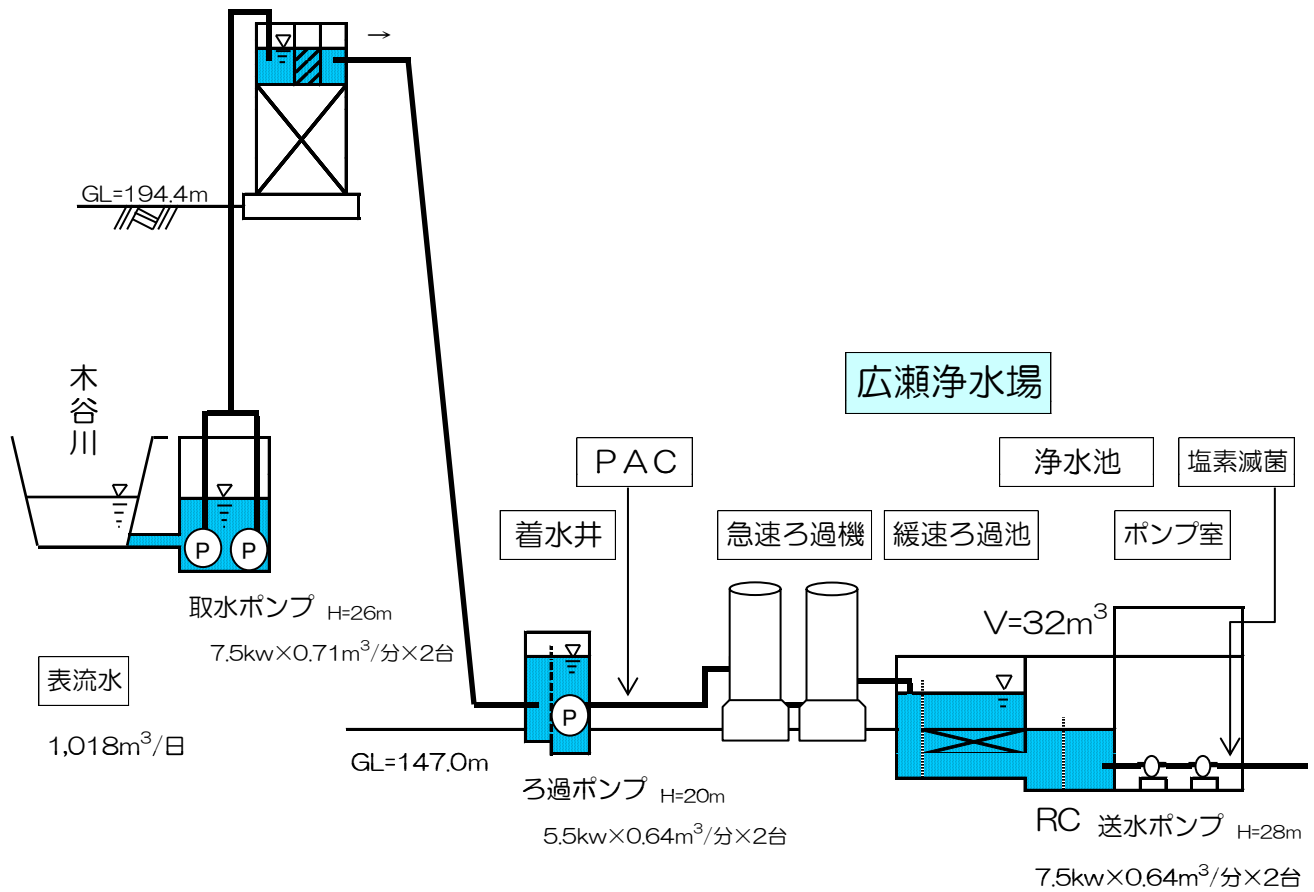
河山配水池



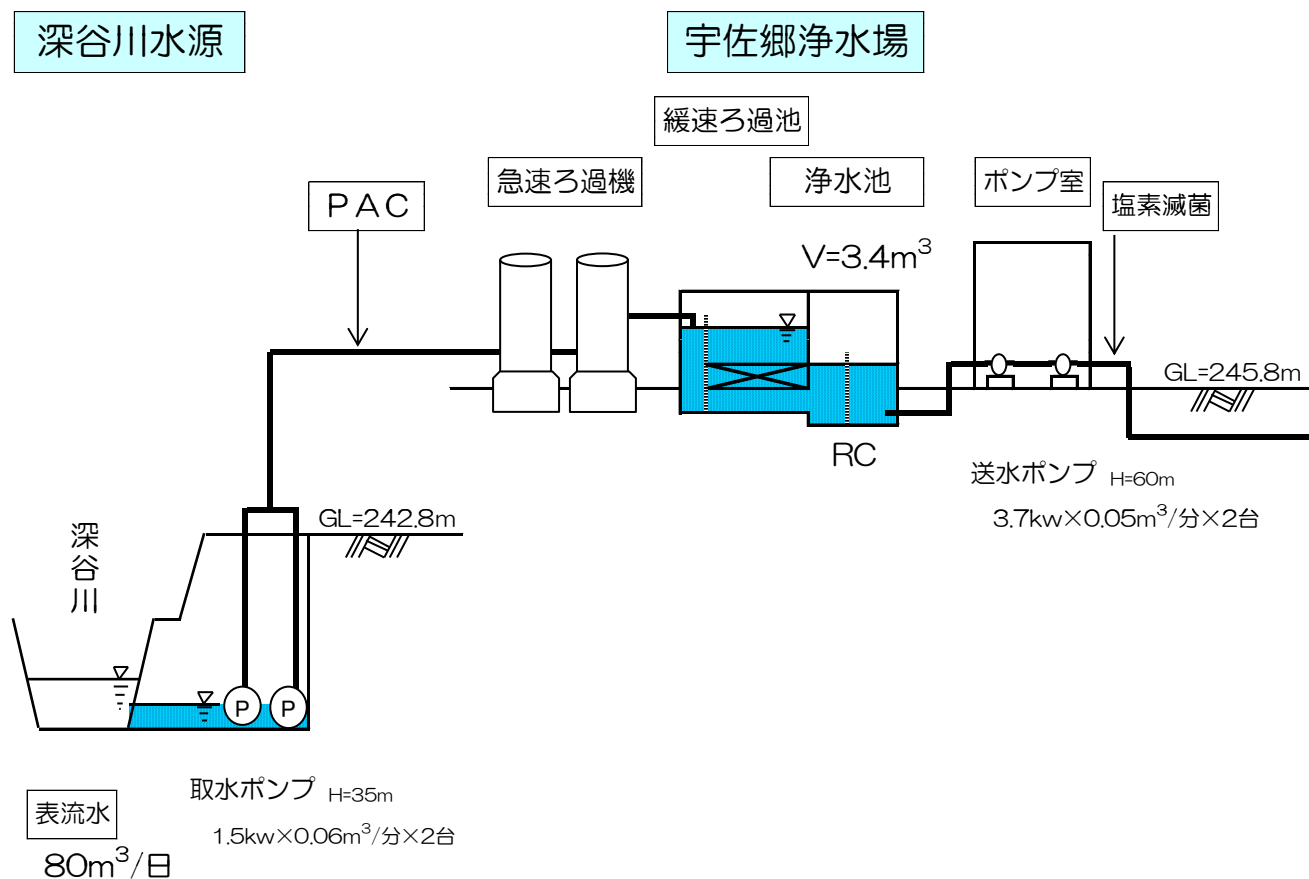
(8) 錦地区（広瀬浄水場系）

木谷川水源

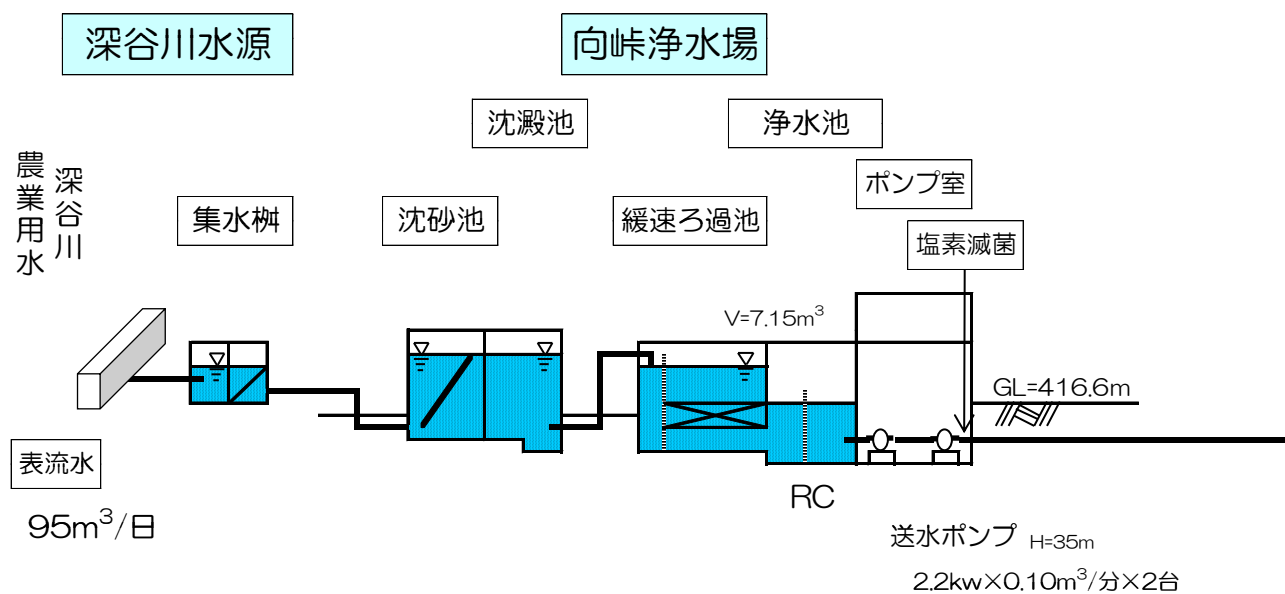
受水槽 沈砂池



(宇佐郷浄水場系)

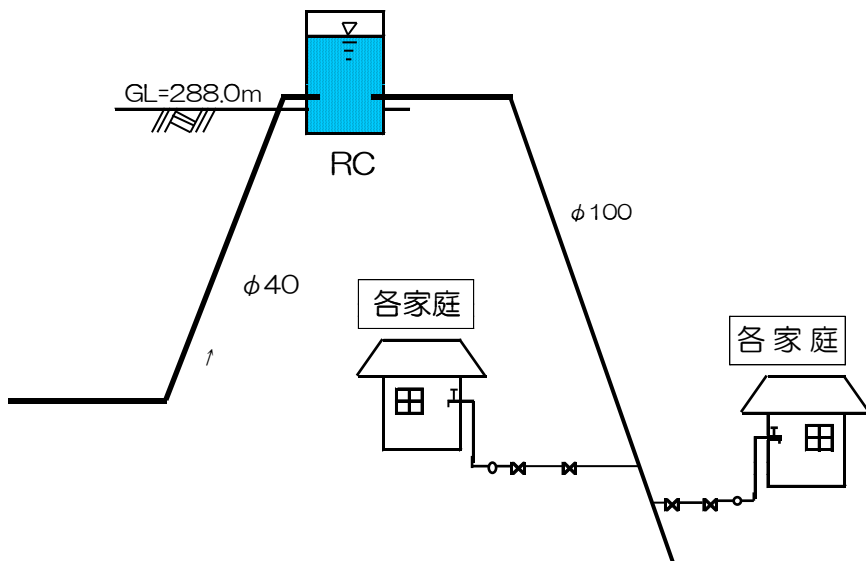


(向峠浄水場系)



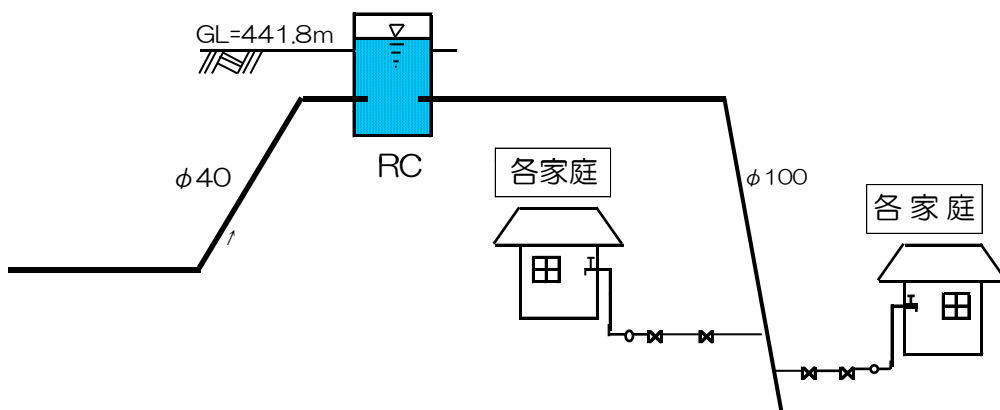
宇佐郷配水池

$V=85.8\text{m}^3$



向峠配水池

$V=96.3\text{m}^3$



4 各施設詳細

(1) 岩国地区

① 錦見浄水場	岩国市岩国4-10-1 56,998.05m ² (うち国有地18,613.34m ²) 計画取水量 79,640m ³ (2級河川 錦川水系 錦川 表流水) 施設能力 73,000m ³ (水利権 79,640m ³ /日)
取水口	RC造 幅6.80m 高4.00m
導水ずい道	RC造 (馬蹄型) 幅2.00m 長340.00m 高2.00m
集水井	RC造 幅5.87m 長14.08m 高10.00m 有効容量820.0m ³
原水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ 200kw Q=28.0m ³ /分 H=34.0m 3台
発電設備	ディーゼルエンジン 220V×200kVA
着水井	RC造 幅12.20m 長6.40m 高5.66m 有効容量150.0m ³
混和池	RC造 (内面エポキシライニング) 幅4.80m 長4.80m 高3.97m 有効容量91.4m ³ 幅4.80m 長3.00m 高2.69m 有効容量38.7m ³
沈殿池	RC造 (内面エポキシライニング) No.1、No.2 処理能力 各27,500m ³ /日 傾斜管11.0×40.5×4.5 形成池4.0×11.0×4.015×3池 No.3、No.4 処理能力 各11,000m ³ /日 傾斜管15.2×19.0×3.76 形成池3.54×15.2×3.66 No.5 処理能力 22,000m ³ /日 傾斜板14.0×27.7×4.15 形成池3.5×14.0×4.25 形成池3.6×14.0×4.25 合計処理能力 99,000m ³ /日
薬品タンク	PAC 15m ³ 2基 次亜塩素酸ナトリウム 8m ³ 4基
滅菌設備	250L×2Kgf/cm ² (前中次亜ポンプ3台、後次亜ポンプ3台※うち1台予備)
粉末活性炭	粉末活性炭溶解槽10m ³ 小出槽1m ³ 溶解槽用攪拌機2台 注入用水中ポンプ1台 ※注入率は手動設定
急速ろ過池	RC造 重力式開放型 No.1グリーンリーフ (エバラインフェルコ製) 池数16 砂厚60cm 面積22.45m ² /池 速度120.0m/日 処理能力43,000m ³ /日 No.2エンビコ (クボタ製) 池数10 砂厚100cm 面積46.7m ² /池 速度120.0m/日 処理能力56,000m ³ /日 合計処理能力 99,000m ³ /日
浄水池	RC造フラットスラブ GL=29.3m No.1 幅16.00m 長16.00m 高3.60m 池数2 有効容量1,800m ³ No.2 幅36.90m 長18.00m 高3.60m 池数1 有効容量2,200m ³ 合計有効容量 4,000m ³
送水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ 230kw Q=30.0m ³ /分 H=35.0m 1台 95kw Q=12.0m ³ /分 H=35.0m 2台 270kw Q=35.0m ³ /分 H=35.0m 1台
配水池	RC造フラットスラブ GL=53.0m ※緊急遮断弁有 No.1 幅31.50m 長37.60m 高4.45m 池数2 有効容量10,540m ³ No.2 幅5.60m 長30.80m/2 高4.45m 有効容量380m ³ 幅30.50m 長30.80m 高4.45m 有効容量4,180m ³ 幅16.20m 長30.80m 高4.45m 有効容量2,220m ³ 幅26.40m 長35.40m 高4.45m 有効容量4,160m ³ 合計有効容量 21,480m ³
排泥処理設備	天日乾燥床 高1.00m 池数6 合計面積3,303m ² (500m ² 、510m ² 、546m ² 、598m ² 、565m ² 、584m ²)

② 牛野谷ポンプ所 岩国市牛野谷町2-11-6 1,867.95m ² 牛野谷配水池 岩国市門前町2 6,037.96m ² (うち国有地1,284.95m ²) 配水能力 23,600m ³ /日 (水利権配分17,310m ³ /日)	
受 水 槽	RC造フラットスラブ (内面エポキシライニング) GL=3.90m No.1 幅20.00m 長8.60m 高3.50m 有効容量600m ³ No.2 幅14.40m 長8.00m 高3.50m 有効容量400m ³ 合計有効容量 1,000m ³
送水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ 150kw Q=10.0m ³ /分 H=66.0m 3台
配 水 池	SUS鋼板製 GL=54.10m ※緊急遮断弁有 No.1 幅25.00m 長33.50m 高5.00m 有効容量4,000m ³ RC造フラットスラブ GL=54.10m No.2 幅52.95m 長22.40m 高3.60m 有効容量3,800m ³ 合計有効容量 約7,800m ³

③ 愛宕加圧設備 岩国市門前町2-61 812m ² 配水能力 1,269.64m ³ /日	
受 水 槽	SUS製 幅13.00m 長5.00m 高4.00m 池数2 有効容量230m ³
加圧ポンプ	末端圧力一定制御 5.5kw H=27.0m 6台

④ 平田ポンプ所 岩国市牛野谷町1-5 500.00m ² 平田配水池 岩国市平田4 3,241.00m ² 配水能力 8,400m ³ /日 (水利権配分6,220m ³ /日)	
受 水 槽	RC造フラットスラブ (内面エポキシライニング) 幅6.50m 長6.50m 高4.10m 池数2 有効容量400m ³
送水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ 100kw Q=5.84m ³ /分 H=70.0m 2台
配 水 池	PC造 GL=54.25m ※緊急遮断弁有 直径25.00m 高6.30m 有効容量3,000m ³

⑤ 通津ポンプ所 岩国市保津町2 904.00m ² 通津配水池 岩国市通津 1,762.00m ² 配水能力 2,880m ³ /日	
受 水 槽	RC造フラットスラブ (内面エポキシライニング) 幅10.50m 長10.50m 高3.50m 池数1 有効容量360m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 37kw Q=2.00m ³ /分 H=73.0m 2台
配 水 池	RC造フラットスラブ No.1 (新) GL=73.5m No.2 (旧) GL=75.5m No.1 幅10.50m 長10.50m 高5.85m 池数2 有効容量1,100m ³ No.2 幅15.56m 長10.50m 高3.85m 有効容量450m ³ ※緊急遮断弁有 合計有効容量 1,550m ³

⑥ 東光寺統合施設ポンプ所 岩国市牛野谷町3-42 264.00m ² 東光寺統合施設配水池 岩国市平田5 3,559.00m ² 配水能力 1,758m ³ /日 (山中団地・百合ヶ丘団地・星ヶ迫団地の一部・平田5の一部・南岩国町2の一部・東光寺団地・平和ヶ丘団地)	
	RC造 幅7.00m 長14.00m 高3.00m 有効容量294m ³
送水ポンプ	両吸込み渦巻きポンプ 30kw H=75.0m 2台
配 水 池	RC造 GL=70.00m 幅8.40m 長12.60m 高3.70m 池数2 有効容量782m ³

⑦ 山手ブロックポンプ所 岩国市山手町4 157.00m ² 山手ブロック配水池 岩国市室の木町4 3,184.00m ² 桜ヶ丘配水池 岩国市室の木町4 1,316.00m ² 配水能力 2,900m ³ /日 (桜ヶ丘団地・室の木台団地・高陽団地・八幡山団地・サンシティ岩国・八幡台団地・山手団地)	
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 37.0kw H=63.0m 2台
配水池	山手ブロック配水池 SUS製 GL=89.70m ※緊急遮断弁有 幅7.50m 長10.00m 高7.50m 幅6.50m 長10.00m 高7.50m 有効容量1,000m ³ 桜ヶ丘配水池 PC造 GL=79.90m ※緊急遮断弁有 直径10.00m 高7.10m 有効容量560m ³

⑧ 桜地蔵団地ポンプ所 岩国市室の木町5-9 32.00m ² 桜地蔵団地配水池 岩国市室の木町5 1,602.00m ² 配水能力 50m ³ /日	
受水槽	RC造 幅2.50m 長2.50m 高3.00m 有効容量18m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 3.7kw 2台
配水池	RC造 GL=46.00m 幅3.00m 長3.00m 高3.00m 有効容量27m ³

⑨ 旭ヶ丘団地ポンプ所 岩国市室の木町3-7 38.00m ² 旭ヶ丘団地配水池 岩国市室の木町3 2,630.00m ² 配水能力 112.5m ³ /日	
受水槽	RC造 幅2.00m 長2.00m 高2.75m 有効容量11m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 3.7kw 2台
配水池	RC造 GL=54.00m 幅3.00m 長4.00m 高3.00m 有効容量36m ³

⑩ 平田第一ブロックポンプ所 岩国市川西4 124.00m ² 平田第一ブロック配水池 岩国市川西4/平田1 4,172.66m ² 配水能力 1,930m ³ /日 (明生台団地・ガーデンシティ岩国・すみれヶ丘団地・平田1・平田2の一部)	
受水槽	RC造 幅3.00m 長10.00m 高3.80m 有効容量114m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 30kw H=60.0m 2台
配水池	RC造 GL=80.00m ※緊急遮断弁有 新 幅5.00m 長25.00m 高3.20m 池数2 有効容量869m ³ 旧 有効容量303m ³ 合計有効容量 1,172m ³

⑪ 東雲台団地加圧設備 岩国市南岩国町5 361.23m ² 配水能力 206m ³ /日	
受水槽	RC造 幅3.00m 長6.00m 高3.10m 池数2 有効容量113m ³
加圧ポンプ	圧力制御 5.5kw H=37.0m 2台

⑫ トーヨド団地ポンプ所 岩国市南岩国町2-80 202.00m ² トーヨド団地配水池 岩国市南岩国町2/南岩国町4 1,065.00m ² 配水能力 420m ³ /日	
受水槽	RC造 幅5.00m 長5.00m 高3.00m 有効容量74m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 15kw H=72.0m 2台
配水池	RC造 GL=63.00m 幅5.00m 長10.00m 高4.90m 有効容量245m ³

⑬ 室の木団地加圧設備 岩国市室の木町2-10 163.00m ² 配水能力 84m ³ /日	
受 水 槽	SUS製 幅3.00m 長2.50m 高2.00m 有効容量15m ³
加圧ポンプ	末端圧力一定制御 7.5kw H=40.0m 2台

⑭ 第三ブロックポンプ所 岩国市藤生町3 100.00m ² 第三ブロック配水池 岩国市藤生町5/海土路町2 1,985.00m ² 配水能力 1,120m ³ /日 (海土路団地・一本杉団地・海土路2の一部)	
受 水 槽	RC造 幅6.20m 長7.30m 高3.10m 有効容量140m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 18.5kw H=70.0m 2台
配 水 池	RC造 GL=76.00m ※緊急遮断弁有 幅7.00m 長11.00m 高3.90m 池数2 有効容量600m ³

⑮ 装束団地加圧設備 岩国市装束町2-6 86.00m ² 配水能力 66m ³ /日	
加圧ポンプ	末端圧力一定制御 1.5kw H=30.0m 2台

⑯ 尾津一の谷団地ポンプ所 岩国市尾津町2 78.00m ² 尾津一の谷団地配水池 岩国市尾津町2 126.00m ² 配水能力 175m ³ /日	
受 水 槽	SUS製 幅3.00m 長3.00m 高3.50m 有効容量27m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 5.5kw H=60.0m 2台
配 水 池	SUS製 GL=86.00m 幅5.50m 長7.00m 高5.50m 池数2 有効容量142m ³

⑰ 瀬戸海団地ポンプ所 岩国市青木町3-5 48.00m ² 瀬戸海団地配水池 岩国市青木町3 298.00m ² 配水能力 222.6m ³ /日	
受 水 槽	RC造 幅2.50m 長4.00m 高3.00m 有効容量30m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 5.5kw H=48.0m 2台
配 水 池	RC造 GL=44.00m 幅3.60m 長7.00m 高2.50m 池数2 有効容量125m ³

⑱ 萩原団地ポンプ所 岩国市青木町3-34 70.00m ² 萩原団地配水池 岩国市青木町3 367.00m ² 配水能力 350m ³ /日	
受 水 槽	RC造 幅4.00m 長4.00m 高2.80m 有効容量44m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 7.5kw H=78.0m 2台
配 水 池	RC造 GL=61.00m 幅6.00m 長10.00m 高3.00m 有効容量180m ³

⑲ 梅が丘団地ポンプ所 岩国市平田6 498m ² 梅が丘配水池 岩国市平田6 1,727m ² 配水能力 2,011m ³ /日	
受 水 槽	RC造 幅7.50m 長8.00m 高3.40m 池数2 有効容量408m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 37kw H=97.0m 2台
配 水 池	PC造 GL=93.00m ※緊急遮断弁有 直径16.0m 高4.98m 有効容量1,000m ³

② 黒磯団地ポンプ所 岩国市黒磯町2-419-1 225.76m ² 黒磯団地配水池 岩国市黒磯町2-53 403.74m ² 配水能力 954.3m ³ /日	
受 水 槽	RC造 幅5.50m 長8.00m 高3.00m 有効容量132m ³
送水ポンプ	片吸込み渦巻きポンプ 22kw H=90.0m 2台
配 水 池	RC造 GL=80.9m 幅5.50m 長4.50m 高2.90m 有効容量60m ³ 幅10.00m 長8.50m 高3.60m 有効容量255m ³

② 阿品ポンプ所 岩国市多田字松尾口1383-15 324.6m ² 阿品配水池 岩国市阿品字大人原 281.54m ² 配水能力 84m ³ /日	
受 水 槽	SUS製 幅1.50m 長4.00m 高2.50m 有効容量10m ³
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ 7.5kw Q=0.06m ³ /分 H=146.0m 2台
配 水 池	RC造 GL=163.0m 幅4.00m 長6.00m 高3.60m 有効容量86m ³

② 小瀬浄水場 岩国市小瀬298-1 217m ² 小瀬配水池 岩国市小瀬墨屋 1,055m ² 計画取水量 285m ³ /日 施設能力 300m ³ /日	
取 水 井	高井戸 VU φ0.20m 深27.70m 浅井戸 HP φ1.50m 深8.00m (予備)
取水ポンプ	高井戸 水中ポンプ 3.7kw Q=0.21m ³ /分 H=43.0m 1台 浅井戸 水中ポンプ 3.7kw Q=0.21m ³ /分 H=24.0m 2台
滅菌設備	次亜塩素素注入機 ダイヤフラム式 20.0ml/分 2台
ろ 過 機	直径2.00m 高6.00m 1基 容量12.6m ³
曝気装置	SUS製 通風充填塔式 φ0.80m 高3.50m 1基
送水ポンプ	多段タービンポンプ 7.5kw Q=0.2m ³ /分 H=85.0m 2台
配 水 池	SUS製 GL=75.95m 幅6.00m 長13.00m 高3.00m 有効容量230m ³

(2) 由宇地区

① 上北浄水場 岩国市由宇町4786-3 570.78m ² 上北配水池 岩国市由宇町4792-4他 862m ² 拝岩配水池 岩国市由宇町3959他 1,172m ² 千鳥ヶ丘配水池 岩国市由宇町7655-4 540m ² 計画取水量 3,600m ³ /日 (2級河川 由宇川 伏流水)、2,000m ³ /日 (地下水) 施設能力 5,600m ³ /日 ※伏流水の水利権 5,010m ³ /日	
集水埋管	有孔HP管φ300mm L=50m、φ600mm L=162m 第1 104.00m ² 第2 145.50m ² 第3 186.96m ² 第4 186.96m ² 導水管 8.47m ²
取水井	RC造 コルゲート造 ポーリング 第1 φ1.9m 深7.8m 第2 φ6.0m 深18.0m 第3 φ1.5m 深9.0m 第4 φ0.4m 深25.5m
取水ポンプ	水中ポンプ φ100mm 15.0kw×2台、11.0kw×2台
発電設備	ディーゼルエンジン 220V 200kVA
急速ろ過機	鋼板製 高流速除マンガンろ過機 逆流洗浄・空気洗浄方式 凝集剤PAC ろ過速度600m/日 処理能力4,800m ³ /日
浄水池	RC造 幅8.00m 長9.00m 高3.20m 有効容量220m ³
滅菌設備	次亜塩素素注入機 74ml/分 2台 (薬注タンク容量 0.4m ³)
送水ポンプ	上北 片吸込み渦巻きポンプ 37kw Q=2.10m ³ /分 H=63m 3台 拝岩 多段タービンポンプ 37kw Q=1.35m ³ /分 H=105m 2台 千鳥ヶ丘 多段渦巻きポンプ 37kw Q=1.35m ³ /分 H=100m 2台
配水池	上北配水池 RC造 GL=56.9m 第1 直径8.00m 高3.00m 有効容量150m ³ 第2 幅18.00m 長12.0m 高2.38m 有効容量512m ³ 拝岩配水池 RC造 GL=69.0m 幅15.50m 長10.00m 高4.00m 有効容量600m ³ 千鳥ヶ丘配水池 RC造 GL=93.0m 幅10.00m 長10.00m 高3.00m 有効容量300m ³ 幅10.00m 長6.35m 高3.50m 有効容量190m ³ 神東配水池 RC造 GL=54.0m 幅7.00m 長4.00m 高2.40m 有効容量67.2m ³
② 由西配水池 柳井市日積4772-1 307m ² 受水 330m ³ /日 ※柳井地域広域水道企業団から受水	
配水池	PC造 直径10.00m 高5.55m 有効容量435.3m ³

(3) 玖珂地区

① 瀬田水源地 岩国市玖珂町鍛冶屋田4861-1 882.756m ² 瀬田配水池 岩国市玖珂町瀬田山1710-2 6,192.17m ² 計画取水量 2,435m ³ /日 施設能力 3,000m ³ /日	
取水井	RC造 φ5.00m 深12.00m
取水ポンプ	水中ポンプ 15kw φ80 Q=0.729m ³ /分 H=75m 5台
発電設備	ディーゼルエンジン 220V 150kVA
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 31ml/分 2台 薬注タンク 容量1.0m ³
配水池	SUS製 GL=110m ※緊急遮断弁有 幅10.00m 長21.00m 高6.00m 有効容量1,100m ³

② 野口ポンプ所 岩国市玖珂町野口字光ヶ迫3131-1 989.09m ² 野口配水池 岩国市玖珂町野口上501-105 1,205m ² 配水能力 420m ³ /日	
受水槽	SUS製 容量10m ³
送水ポンプ	タービンポンプ 7.5kw φ50 Q=0.16m ³ /分 H=97.2m 3台
配水池	SUS製 GL=124m 幅7.00m 長14.00m 高2.50m 有効容量200m ³

③ 谷津ポンプ所 岩国市玖珂町谷津上679-7 108.89m ² 谷津配水池 岩国市玖珂町谷津上675-4 749m ² 配水能力 280m ³ /日	
受水槽	SUS製 有効容量10m ³
送水ポンプ	多段渦巻きポンプ 7.5kw Q=0.146m ³ /分 H=72m 2台
配水池	SUS製 GL=135m 幅4.00m 長10.00m 高3.00m 有効容量100m ³

④ 有延ポンプ所 岩国市玖珂町有延5652 2,545m ² ※高森南浄水場から受水	
受水槽	SUS製 幅6.00m 長8.00m 高3.00m 容量100m ³
送水ポンプ	多段渦巻きポンプ 30kw Q=1.39m ³ /分 H=74m 2台

(4) 周東地区

① 高森南浄水場 岩国市周東町上久原488-1 931m ² 高森南配水池 岩国市周東町上久原13 4,974m ² 計画取水量 2,595m ³ /日 (地下水) 施設能力 2,995m ³ /日	
取 水 井	RC造 深井戸 深25.00m φ0.30m 1本、φ0.20m 2本 RC造 浅井戸 深15.00m φ1.00m 1本
取水ポンプ	水中ポンプ 7.5kw φ100 Q=0.81m ³ /分 H=30m 3台 7.5kw φ100 Q=0.69m ³ /分 H=25m 2台
発 電 設 備	ディーゼルエンジン 220V 45kVA、220V 95kVA
滅 菌 設 備	次亜塩素素注入ポンプ 25ml/分 4台、6ml/分 2台 薬注タンク 容量0.2m ³ ×1基 1.2m ³ ×2基
浄 水 池	RC造 幅4.00m 長2.50m 高3.00m 池数2 容量50m ³ SUS製 幅2.50m 長4.50m 高2.50m 池数2 容量42m ³
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイール付) 30kw φ100 Q=0.81m ³ /分 H=95m 2台 30kw φ100 Q=0.69m ³ /分 H=95m 2台
配 水 池	第1 PC造 容量326m ³ 第2 RC造 容量336m ³ 第3 SUS製 容量528m ³ GL=111m

(5) 美和地区

① 西部浄水場 岩国市美和町生見606 1,286m ² 金山ポンプ所 岩国市美和町生見2749-2 16m ² 陽の出ポンプ所 岩国市美和町生見2441-68 171m ² 柿ノ木原ポンプ所 岩国市美和町下畑2581-4 30m ² 中村加压設備 岩国市美和町生見2291-1 0.6m ² (ポンプ室) 生見配水池 岩国市美和町生見2075-2 709m ² 長野配水池 岩国市美和町生見2313-2 501m ² 金山配水池 岩国市美和町生見3069 786m ² 陽の出配水池 岩国市美和町生見2440-2 657m ² 柿ノ木原配水池 岩国市美和町下畑2305-3 101m ² 計画取水量 976m ³ /日 (生見川 表流水 水利権 1,040m ³ /日) 施設能力 1,100m ³ /日	
取水口	RC造
着水井	RC造 幅3.00m 長8.50m 高2.00m
ろ過ポンプ	片吸込渦巻ポンプ 5.5kw φ80 Q=1.5m ³ /分 H=16m 2台
ろ過設備	ろ過機 直径2.50m 高5.00m 処理能力340m ³ /日 2基 緩速ろ過池 RC造 処理能力340m ³ /日 3池 360m ³ /日 1池
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 30ml/分 4台 薬注タンク 150kg 2基
浄水池	RC造 幅6.40m 長3.30m 高1.40m 容量29m ³ RC造 幅5.40m 長2.00m 高1.40m 容量15m ³
受水槽	陽の出ポンプ所 容量10m ³
送水ポンプ	西部浄水場 多段渦巻きポンプ 生見系 18.5kw φ80 Q=0.71m ³ /分 H=90m 2台 長野系 5.5kw φ50 Q=0.17m ³ /分 H=100m 2台 金山ポンプ所 ブースターポンプ 1.5kw Q=0.05m ³ /分 H=100m 2台 陽の出ポンプ所 多段渦巻きポンプ 3.7kw Q=0.28m ³ /分 H=34m 2台 柿ノ木原ポンプ所 ユニットポンプ 1.1kw Q=0.06m ³ /分 H=53m 2台 中村加压設備 ユニットポンプ 3.7kw Q=0.25m ³ /分 H=51m 2台
配水池	生見配水池 RC造 1号 幅10.00m 長8.40m 高3.00m 容量250m ³ 2号 幅9.10m 長9.10m 高3.00m 容量250m ³ 長野配水池 RC造 幅6.70m 長4.50m 高3.00m 容量90m ³ 金山配水池 SUS造 ※緊急遮断弁有 幅4.50m 長6.00m 高3.00m 容量78.4m ³ 陽の出配水池 RC造 幅6.30m 長9.00m 高3.00m 容量170m ³ 柿ノ木原配水池 FRP製 幅4.00m 長3.00m 高1.65m 容量20m ³

② 東部浄水場 岩国市美和町大根川122-1 405m ² 坂上ポンプ所 岩国市美和町渋前658-5 (県道敷) 11.4m ² (ポンプ所) 畑加圧設備 9.6m ² 佐坂配水池 岩国市美和町佐坂46 1,192m ² 長谷配水池 岩国市美和町日宛729-2 327m ² 滑配水池 岩国市美和町滑3-2 318m ² 坂上配水池 岩国市美和町渋前694-2 244m ² 計画取水量 652m ³ /日 (長谷川 表流水 水利権 1,250m ³ /日) 施設能力 1,200m ³ /日	
取水塔	RC造 幅2.00m 長3.00m 高19.00m
取水ポンプ	水中ポンプ 22kw φ80 Q=0.96m ³ /分 H=80m 2台
原水ポンプ	水中ポンプ 3.7kw φ65 Q=0.6m ³ /分 H=15m 3台
膜ろ過原水ポンプ	渦巻きポンプ 3.7kw φ50 Q=0.4m ³ /分 H=25m 3台
ろ過設備	ろ過機 直径1.8 高2.00m 処理能力817m ³ /日 2基 膜ろ過機 (MF膜) 処理能力430m ³ /日 3ユニット
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 2台 薬注タンク 容量0.2m ³
浄水池	SUS製 幅3.50m 長7.00m 高2.00m 容量50m ³
受水槽	坂上ポンプ所 RC造 容量11.3m ³
送水ポンプ	東部浄水場 多段渦巻きポンプ 37kw φ80 Q=0.875m ³ /分 H=128m 2台 坂上ポンプ所 多段渦巻きポンプ 2.2kw φ32 Q=0.1m ³ /分 H=40m 2台 畑加圧設備 ブースターポンプ 2.2kw φ50 Q=0.067m ³ /分 H=75m 2台
配水池	佐坂配水池 PC造 ※緊急遮断弁有 直径14.00m 高5.00m 容量650m ³ 長谷配水池 RC造 幅7.00m 長4.50m 高3.00m 容量94.5m ³ 滑配水池 RC造 幅9.00m 長6.80m 高3.00m 容量183.6m ³ 坂上配水池 RC造 幅4.50m 長7.50m 高2.85m 容量96m ³
③ 秋掛浄水場 岩国市美和町秋掛179-5 315m ² 秋掛配水池 岩国市美和町秋掛227-2 153m ² 計画取水量 52m ³ /日 施設能力 54m ³ /日	
取水口	RC造
取水ポンプ	水中ポンプ 0.4kw φ50 Q=0.042m ³ /分 H=10m 2台
急速ろ過機	小型浄水装置 幅1.774m 長3.066m 高2.00m 50m ³ /日
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 2台 薬注タンク 容量100L
浄水池	RC造 幅2.80m 長3.00m 高1.20m 容量10m ³
送水ポンプ	多段渦巻きポンプ 2.2kw φ50 Q=0.195m ³ /分 H=60m 2台
配水池	RC造 幅6.10m 長5.95m 高1.50m 容量54m ³

(6) 本郷地区

① 本郷浄水場 岩国市本郷町2723-2 本郷配水池 岩国市本郷町1580-2 大迫加圧設備 岩国市本郷町 計画取水量 205m ³ /日 施設能力 230m ³ /日	
取水井	第1 (深井戸) φ150 深100m 第2 (深井戸) φ150 深204m 第3 (深井戸) φ100 深82.8m 第4 (深井戸) φ100 深55m
取水ポンプ	第1 水中ポンプ 2.2kw φ32 Q=0.07m ³ /分 H=60m 第2 水中ポンプ 5.5kw φ50 Q=0.152m ³ /分 H=70m 第3 水中ポンプ 0.75kw φ25 Q=0.03m ³ /分 H=35m 第4 水中ポンプ 1.1kw φ25 Q=0.04m ³ /分 H=73m
浄水池	RC造 幅2.60m 長2.60m 高2.00m 容量13.52m ³
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 30ml/分 2台 薬注タンク 50L
送水ポンプ	本郷浄水場 5.5kw φ50 Q=0.222m ³ /分 H=65m 2台 大迫加圧設備 2.2kw φ50 Q=0.102m ³ /分 H=55m 2台
配水池	SUS造 幅5.00m 長7.50m 高4.00m ※緊急遮断弁有 GL=298.5m 容量142.5m ³
② 宇塚浄水場 岩国市本郷町宇塚512-3 504m ² 宇塚高区配水池 岩国市本郷町宇塚706-3 269m ² 計画取水量 39m ³ /日 施設能力 67m ³ /日	
取水口	RC造 幅1.60m 長3.475m 高4.05m
取水ポンプ	0.4kw φ32 Q=0.047m ³ /分 H=13m 2台
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 3.9ml/分 2台 薬注タンク50ℓ
ろ過設備	急速ろ過機(圧力式) SUS製 直径0.8m 高さ2m 2基 処理能力67.3m ³ /日 凝集剤PAC 22.8ml/分 薬液タンク 50ℓ
浄水池	SUS製 幅3.0m 長2.0m 高3.0m 池数2 GL=279m 容量36m ³ ※浄水池兼低区配水池
送水ポンプ	1.5kw φ25 Q=0.021m ³ /分 H=80m 2台
配水池	高区配水池 SUS製 幅3.5m 長2.0m 高2.5m 池数2 GL=352.5m 容量35m ³

③ 波野原浄水場	岩国市本郷町643-2	976m ²
波野原配水池	岩国市本郷町114-1	730m ²
計画取水量	35m ³ /日 (小屋ヶ迫浴 表流水)	
施設能力	113m ³ /日	
取水口	RC造 幅1.00m 長9.00m 高3.10m	
取水ポンプ	水中ポンプ 0.25kw ϕ 25 Q=0.035m ³ /分 H=12m 2台	
ろ過設備	急速ろ過機 鋼板製 直径0.8m 高4.6m 処理能力50.49m ³ /日 2基 凝集剤 PAC 3.9ml/分	
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 16ml/分 2台 薬注タンク200ℓ	
浄水池	RC造 幅1.40m 長1.25m 高1.80m 池数1 容量3.15m ³	
送水ポンプ	1.1kw ϕ 32 Q=0.032m ³ /分 H=55m 2台	
配水池	RC造 幅4.60m 長4.50m 高3.00m GL=224.5m 容量62.1m ³	

④ 波野中浄水場	岩国市波野1228	848m ²
波野中配水池	岩国市波野580-1	496m ²
計画取水量	48m ³ /日 (小杉川 表流水)	
施設能力	89m ³ /日	
取水口	取水堰 RC造 幅1.00m 長1.75m 高3.20m	
取水ポンプ	水中ポンプ 1.5kw ϕ 32 Q=0.068m ³ /分 H=20m 2台	
ろ過設備	急速ろ過機 (除マンガン設備) 直径1.10m 高4.50m 処理能力97.52m ³ /日 凝集剤 PAC 22.8ml/分	
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 2台 薬注タンク50ℓ	
浄水池	RC造 幅1.50m 長1.50m 高2.50m 容量5.62m ³	
送水ポンプ	2.2kw ϕ 40 Q=0.062m ³ /分 H=65m 2台	
配水池	RC造 幅4.60m 長4.60m 高3.00m GL=209.1m 容量63.5m ³	

(7) 美川地区

① 河山浄水場 岩国市美川町小川322-2 4,038m ² 河山配水池 岩国市美川町小川322-2 平石配水池 岩国市美川町小川2196-1 高ヶ原ポンプ所 岩国市美川町四馬神2198-1 高ヶ原配水池 岩国市美川町四馬神151-1 計画取水量 260m ³ /日 施設能力 275m ³ /日	
取水口	取水堰 RC造 幅2.90m 高0.90m 砂防堰 RC造 幅0.70m 長3.20m 高3.70m
ろ過設備	ろ過機 鋼板製 直径2.00m 高5.00m 処理能力250m ³ /日 緩速ろ過池 RC造 19.2m ² ×4池 処理能力250m ³ /日
浄水池	RC造 幅3.50m 長4.55m 高2.90m 容量38.9m ³
滅菌設備	河山浄水場 次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 100ℓ 平石配水池 次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 100ℓ 高ヶ原ポンプ所 次亜塩素素注入ポンプ 30.0ml/分 薬注タンク 30ℓ
送水ポンプ	河山浄水場 5.5kw φ50 Q=0.40m ³ /分 H=34m 2台 高ヶ原ポンプ所 3.7kw φ40 Q=0.08m ³ /分 H=70m 2台
配水池	河山配水池 RC造 幅5.50m 長4.00m 高2.90m GL=145.9m 容量60.0m ³ 平石配水池 RC造 幅3.50m 長5.05m 高3.00m GL=110.9m 容量53.0m ³ 高ヶ原配水池 FRP製 幅3.50m 長3.00m 高1.70m GL=123.5m 容量18.0m ³
② 南桑浄水場 岩国市美川町南桑3571-1 1,022m ² 計画取水量 147m ³ /日 施設能力 175m ³ /日	
取水口	取水枡 RC造 幅1.50m 長1.30m 高1.75m
取水ポンプ	水中ポンプ 2.2kw φ80 Q=0.14m ³ /分 H=12.4m 2台
ろ過設備	ろ過機 鋼板製 直径1.20m 高さ5.40m 処理能力91.5m ³ /日 鋼板製 直径1.30m 高さ4.70m 処理能力120.0m ³ /日 緩速ろ過池 RC造 12.6m ² ×4池 処理能力175m ³ /日
滅菌設備	渦巻ポンプ 0.75kw φ40 Q=0.17m ³ /分 H=12m 2台
ろ過ポンプ	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 100L
配水池(浄水池)	RC造 幅4.00m 長5.75m 高3.00m GL=104.1m 容量69m ³

(8) 錦地区

① 広瀬浄水場 岩国市錦町広瀬5702-1 5498.53m ² 広瀬配水池 岩国市錦町広瀬5702-1 広東追塩設備 岩国市錦町中ノ瀬169-3 計画取水量 1,018m ³ /日 施設能力 1,018m ³ /日	
取水設備	取水井 RC造 2.60m×1.60m×2.80m 沈砂池 SUS鋼板 2.00m×8.00m×2.50m
取水ポンプ	水中ポンプ 7.5kw φ80 Q=0.71m ³ /分 H=26m 2台
ろ過設備	急速ろ過機 鋼板製 直径2.70m 高さ6.10m 凝集剤 PAC 39.6ml/分 緩速ろ過池 RC造 7.9m×13.3m 3池
ろ過ポンプ	渦巻ポンプ 5.5kw φ80 Q=0.64m ³ /分 H=20m 2台
浄水池	RC造 容量32.0m ³
滅菌設備	広瀬浄水場 次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 1台 30.0ml/分 1台 薬注タンク 200L 広東追塩設備 次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 2台 薬液タンク 100L×2
送水ポンプ	7.5kw Q=0.64m ³ /分 H=28m 2台
配水池	1号 RC造 V=500m ³ 2号 RC造 V=300m ³ GL=145.9m 合計容量800m ³

② 宇佐郷浄水場 岩国市錦町宇佐郷848-6 274m ² 宇佐郷配水池 岩国市錦町宇佐郷1264 計画取水量 80m ³ /日 施設能力 73m ³ /日	
取水口	RC造1.80m×5.40m×5.43m
ろ過設備	急速ろ過機 鋼板製 直径6.00m 高さ4.50m 2基 凝集剤 PAC 22.8ml/分 緩速ろ過池 RC造 A=12.5m ² 2池
浄水池	RC造 容量3.4m ³
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 50L×2
送水ポンプ	3.7kw Q=0.05m ³ /分 H=60m 2台
配水池	RC造 V=85.8m ³ GL=288.0m

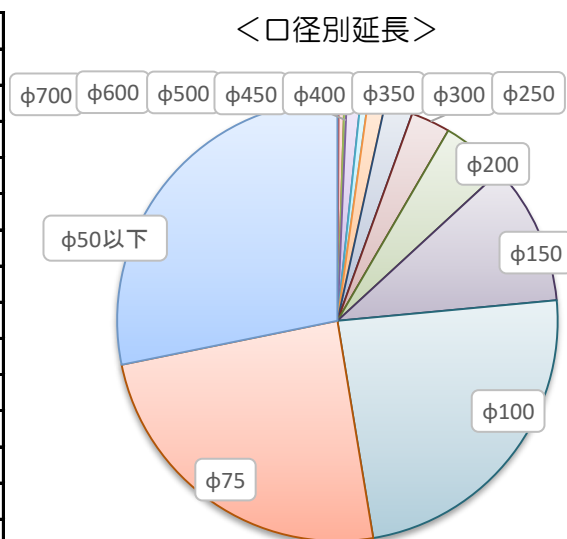
③ 向峠浄水場 岩国市錦町宇佐郷474 704m ² 向峠配水池 岩国市錦町宇佐郷1686 計画取水量 95m ³ /日 施設能力 94m ³ /日	
取水口	集水桝 RC造 0.60m×1.00m×0.70m
沈殿池	沈砂池 RC造 1.00m×4.00m A=4.0m ² 沈殿池 RC造 3.00m×6.70m A=20.1m ²
緩速ろ過池	RC造 4.00m×6.30m A=50.4m ²
浄水池	RC造 容量7.15m ³
滅菌設備	次亜塩素素注入ポンプ 22.8ml/分 薬注タンク 50L
送水ポンプ	2.2kw Q=0.10m ³ /分 H=35m 2台
配水池	RC造 V=96.3m ³ GL=441.8m

5 配水管

(1) 年度別布設延長表

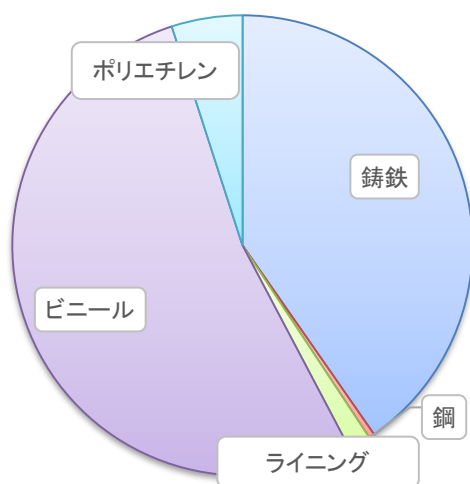
管 種	口径(mm)	H27 年度末	H28 年度末	H29 年度末	H30	
					年度末	増 減
鑄 鉄 管	700	755.0	755.0	755.0	755.0	0.0
	600	3,521.0	3,521.0	3,521.0	3,521.0	0.0
	500	1,472.0	1,472.0	1,472.0	1,472.0	0.0
	450	8,033.0	8,050.0	8,162.0	8,232.0	70.0
	400	4,507.0	4,507.0	4,507.0	4,507.0	0.0
	350	9,999.0	10,000.0	10,139.0	10,146.0	7.0
	300	14,770.0	15,698.0	15,912.0	15,913.0	1.0
	250	22,804.9	22,943.9	23,590.9	23,732.9	142.0
	200	35,095.5	35,839.5	35,956.5	35,945.5	-11.0
	150	69,597.4	70,199.4	70,279.4	70,699.4	420.0
	100	97,100.2	97,627.2	98,390.2	98,588.2	198.0
	75	64,411.0	67,714.0	68,490.0	69,171.0	681.0
	50以下	15.1	15.1	15.1	15.1	0.0
	小 計	332,081.0	338,342.0	341,190.1	342,698.1	1,508.0
鋼 管	450	216.0	0.0	0.0	0.0	0
	400	18.0	0.0	0.0	0.0	0
	350	393.0	393.0	393.0	393.0	0
	300	252.0	0.0	0.0	0.0	0
	250	387.9	267.9	267.9	267.9	0
	200	202.2	175.0	175.0	175.0	0
	150	995.5	927.0	927.0	927.0	0
	100	204.9	75.9	75.9	75.9	0
	75	444.0	390.0	390.0	390.0	0
	50以下	1,327.3	1,201.5	1,201.5	1,196.5	-5.0
	小 計	4,440.8	3,430.3	3,430.3	3,425.3	-5.0
石 綿 管	小 計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

口 径	延 長	割 合
φ700	755m	0.1%
φ600	3,521m	0.4%
φ500	1,472m	0.2%
φ450	8,465m	1.0%
φ400	4,564m	0.5%
φ350	10,555m	1.2%
φ300	17,567m	2.1%
φ250	24,458m	2.9%
φ200	40,431m	4.7%
φ150	88,031m	10.4%
φ100	203,035m	23.9%
φ75	207,430m	24.4%
φ50以下	239,688m	28.2%
合 計	849,972m	100.0%



管 種	口径(mm)	H27 年度末	H28 年度末	H29 年度末	H30	
					年度末	増 減
ライニング管	450	17.0	233.0	233.0	233.0	0.0
	400	39.0	57.0	57.0	57.0	0.0
	350	16.0	16.0	16.0	16.0	0.0
	300	87.0	339.0	339.0	339.0	0.0
	250	254.5	374.5	374.5	374.5	0.0
	200	302.0	329.2	329.2	329.2	0.0
	150	342.1	410.6	410.6	410.6	0.0
	100	1,113.8	1,345.8	1,345.8	1,345.8	0.0
	75	2,008.8	2,058.8	2,058.8	2,058.8	0.0
	50以下	7,926.8	8,053.6	8,080.6	8,080.6	0.0
	小 計	12,107.0	13,217.5	13,244.5	13,244.5	0.0
ビニール管	250	83.0	83.0	83.0	83.0	0.0
	200	394.5	1,581.5	1,581.5	1,581.5	0.0
	150	11,398.7	15,216.7	15,066.7	14,858.7	-208.0
	100	90,990.9	98,269.9	98,155.9	97,952.9	-203.0
	75	119,731.9	132,173.9	131,919.9	131,742.9	-177.0
	50	144,682.1	149,249.1	148,558.1	148,284.1	-274.0
	40以下	47,225.1	53,963.1	53,853.1	53,853.1	0.0
	小 計	414,506.1	450,537.1	449,218.2	448,356.2	-862.0
ポリエチレン管	300	1,314.8	1,314.8	1,314.8	1,314.8	0.0
	200	2,399.8	2,399.8	2,399.8	2,399.8	0.0
	150	959.5	1,135.5	1,135.5	1,135.5	0.0
	100	5,054.2	5,059.2	5,072.2	5,072.2	0.0
	75	4,067.7	4,067.7	4,067.7	4,067.7	0.0
	50	19,763.4	21,596.4	22,377.4	22,848.4	471.0
	40以下	5,401.8	5,408.8	5,409.8	5,409.8	0.0
	小 計	38,961.2	40,982.2	41,777.2	42,248.2	471.1
合 計		802,096.1	846,509.1	848,860.2	849,972.3	1,112.1

＜管種別延長＞



管 種	延 長	割 合
鑄 鉄	342,698m	40.3%
鋼	3,425m	0.4%
ライニング	13,245m	1.6%
ビニール	448,356m	52.7%
ポリエチレン	42,248m	5.0%
合 計	849,972m	100.0%

6 施設写真

(1) 錦見浄水場



全景



運転管理室



原水ポンプ室



急速ろ過池

(2) 牛野谷加圧施設



牛野谷ポンプ所



牛野谷配水池

(3) 愛宕加圧設備



愛宕加圧設備



加圧ポンプ

(4) 平田加圧施設



平田ポンプ所



平田配水池

(5) 通津加圧施設



通津ポンプ所



通津配水池

(6) 高台団地施設



尾津一の谷団地ポンプ所



山手ブロック配水池

(7) 由宇地区施設



上北浄水場



拝岩配水池



由宇統合配水池

(8) 玖珂地区施設



瀬田水源地



瀬田配水池

(9) 統合簡易水道施設



高森南浄水場



高森南配水池



美和東部浄水場



美和東部浄水場膜ろ過機

(10) 水管橋、橋梁添加配水管



愛宕橋水管橋



新寿橋添架配水管

(Ⅲ) 業 務

1	給水普及状況	・・・	67
2	電気使用量	・・・	68
3	配水量	・・・	70
4	給水状況	・・・	73
5	メーター設置状況	・・・	73
6	給水収益	・・・	74
7	水道料金早見表	・・・	76
8	加入金	・・・	76
9	職員構成	・・・	77
10	建設改良工事等	・・・	78

1 給水普及状況

(1) 年度別給水普及状況

	H27 年 度	H28 年 度	H29 年 度	H30 年 度	H2 9 年 度 比 較	
					増 減	比 率
行政区域内世帯数 (A)	68,193	67,935	67,751	67,706	△ 45	99.9%
行政区域内人口 (a)	143,364	141,669	140,151	138,709	△ 1,442	99.0%
給水区域内世帯数 (B)	58,916	59,876	59,760	59,915	155	100.3%
給水区域内人口 (b)	124,843	125,684	124,413	123,525	△ 888	99.3%
現在給水世帯数 (C)	54,138	55,264	55,199	55,410	211	100.4%
現在給水人口 (c)	114,646	116,010	114,926	114,275	△ 651	99.4%
対行政区域内 世帯数普及率% (C/A)	79.39	81.35	81.47	81.84	0.37	100.4%
対行政区域内 人口普及率% (c/a)	79.97	81.89	82.00	82.38	0.38	100.5%
対給水区域内 世帯数普及率% (C/B)	91.89	92.30	92.37	92.48	0.11	100.1%
対給水区域内 人口普及率% (c/b)	91.83	92.30	92.37	92.51	0.14	100.1%
給水戸数 (調定戸数)	57,622	59,001	58,702	58,717	15	100.0%

※和木町給水区域内の数値を含む

(参考 和木町)

	H27 年 度	H28 年 度	H29 年 度	H30 年 度	H2 9 年 度 比 較	
					増 減	比 率
和木町給水区域内世帯数	1,959	1,990	1,999	2,057	58	102.9%
和木町給水区域内人口	4,443	4,516	4,489	4,512	23	100.5%
和木町給水世帯数	1,959	1,990	1,999	2,057	58	102.9%
和木町給水人口	4,443	4,516	4,489	4,512	23	100.5%

2 電気使用量

(1) 月別電気使用量（主要施設のみ）

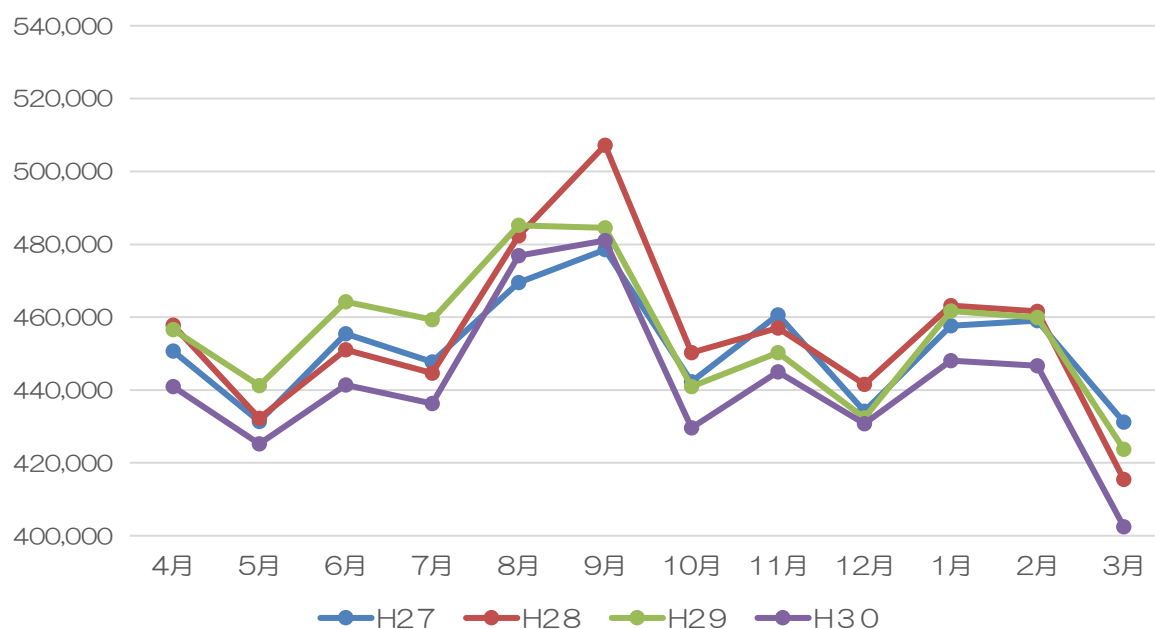
（単位：kWh）

月	錦 見 浄 水 場	牛 野 谷 ポ ン プ 所 （錦見浄水場系）	平 田 ポ ン プ 所 （錦見浄水場系）
4	282,708	72,366	21,605
5	272,052	70,878	21,223
6	281,460	74,082	22,188
7	277,944	72,258	22,296
8	301,872	77,838	24,557
9	306,324	77,982	24,689
10	273,924	70,968	22,418
11	282,600	74,502	22,781
12	275,556	71,160	21,797
1	284,736	74,370	22,788
2	283,476	72,732	22,474
3	257,904	65,532	20,304
計	3,380,556	874,668	269,120
平 均	281,713	72,889	22,427

月	玖 珂 瀬 田 水 源 地	由 宇 上 北 浄 水 場	合 計
4	23,695	40,610	440,984
5	22,500	38,566	425,219
6	24,468	39,170	441,368
7	24,504	39,274	436,276
8	28,138	44,460	476,865
9	27,319	44,741	481,055
10	23,585	38,693	429,588
11	24,442	40,637	444,962
12	22,946	39,331	430,790
1	24,475	41,678	448,047
2	24,708	43,255	446,645
3	22,440	36,288	402,468
計	293,220	486,703	5,304,267
平 均	24,435	40,559	442,022

(2) 年度別電気使用量（主要施設のみ）

	H27 年 度	H28 年 度	H29 年 度	H30 年 度	H29年度比較	
					増 減	比 率
4月	450,675	457,856	456,584	440,984	△ 15,600	96.6%
5月	431,413	432,232	441,254	425,219	△ 16,035	96.4%
6月	455,422	451,044	464,256	441,368	△ 22,888	95.1%
7月	447,748	444,638	459,323	436,276	△ 23,047	95.0%
8月	469,504	482,343	485,198	476,865	△ 8,333	98.3%
9月	478,529	507,207	484,528	481,055	△ 3,473	99.3%
10月	442,295	450,228	440,958	429,588	△ 11,370	97.4%
11月	460,620	457,063	450,312	444,962	△ 5,350	98.8%
12月	434,170	441,573	432,319	430,790	△ 1,529	99.6%
1月	457,645	463,160	461,684	448,047	△ 13,637	97.0%
2月	459,025	461,620	459,904	446,645	△ 13,259	97.1%
3月	431,218	415,446	423,750	402,468	△ 21,282	95.0%
計	5,418,264	5,464,410	5,460,070	5,304,267	△ 155,803	97.1%
平 均	451,522	455,368	455,006	442,022	△ 12,984	97.1%



3 配水量

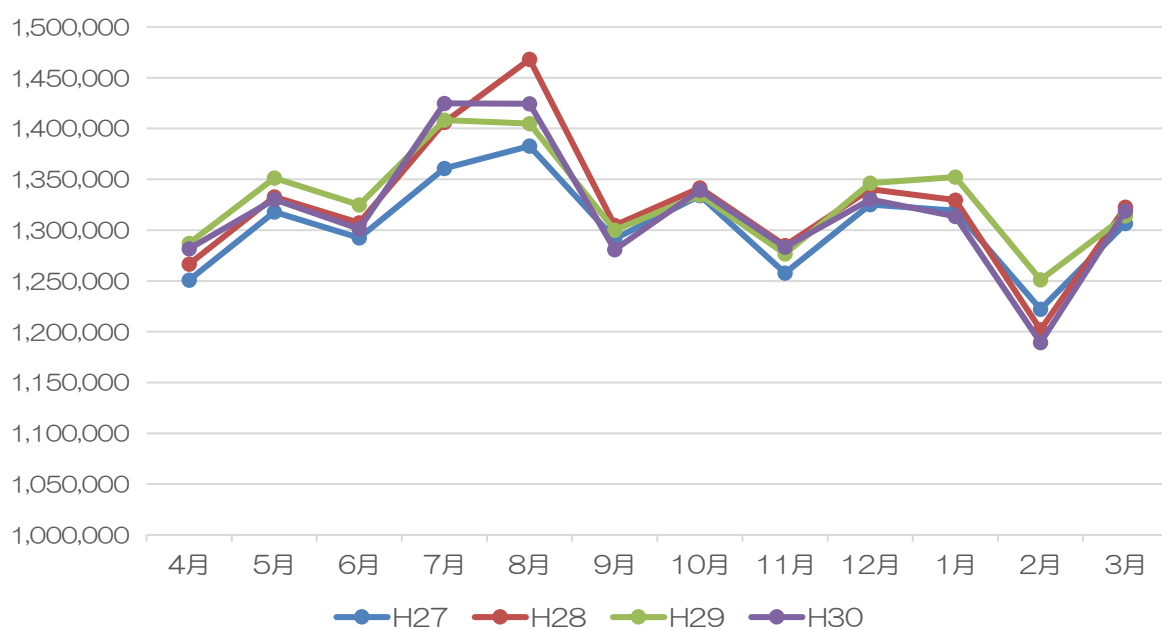
(1) 月別配水量

月	総配水量 (m^3)	1日最大 (m^3)	1日最小 (m^3)	1日平均 (m^3)	1人1日平均 (L)
4月	1,281,711	44,606	39,031	42,724	374
5月	1,330,309	45,228	40,641	42,913	376
6月	1,301,268	45,767	39,792	43,376	380
7月	1,424,774	49,738	41,550	45,960	402
8月	1,424,535	48,792	42,768	45,953	402
9月	1,280,805	45,087	39,069	42,694	374
10月	1,339,378	45,369	40,494	43,206	378
11月	1,283,273	44,270	41,442	42,776	374
12月	1,330,113	45,943	40,588	42,907	375
1月	1,313,519	44,027	40,075	42,372	371
2月	1,189,344	44,282	41,015	42,477	372
3月	1,318,965	44,124	40,583	42,547	372
計	15,817,994	-	-	-	-
平均	1,318,166	-	-	43,337	379

※ 1日最大 平成30年7月25日
 1日最小 平成30年4月14日

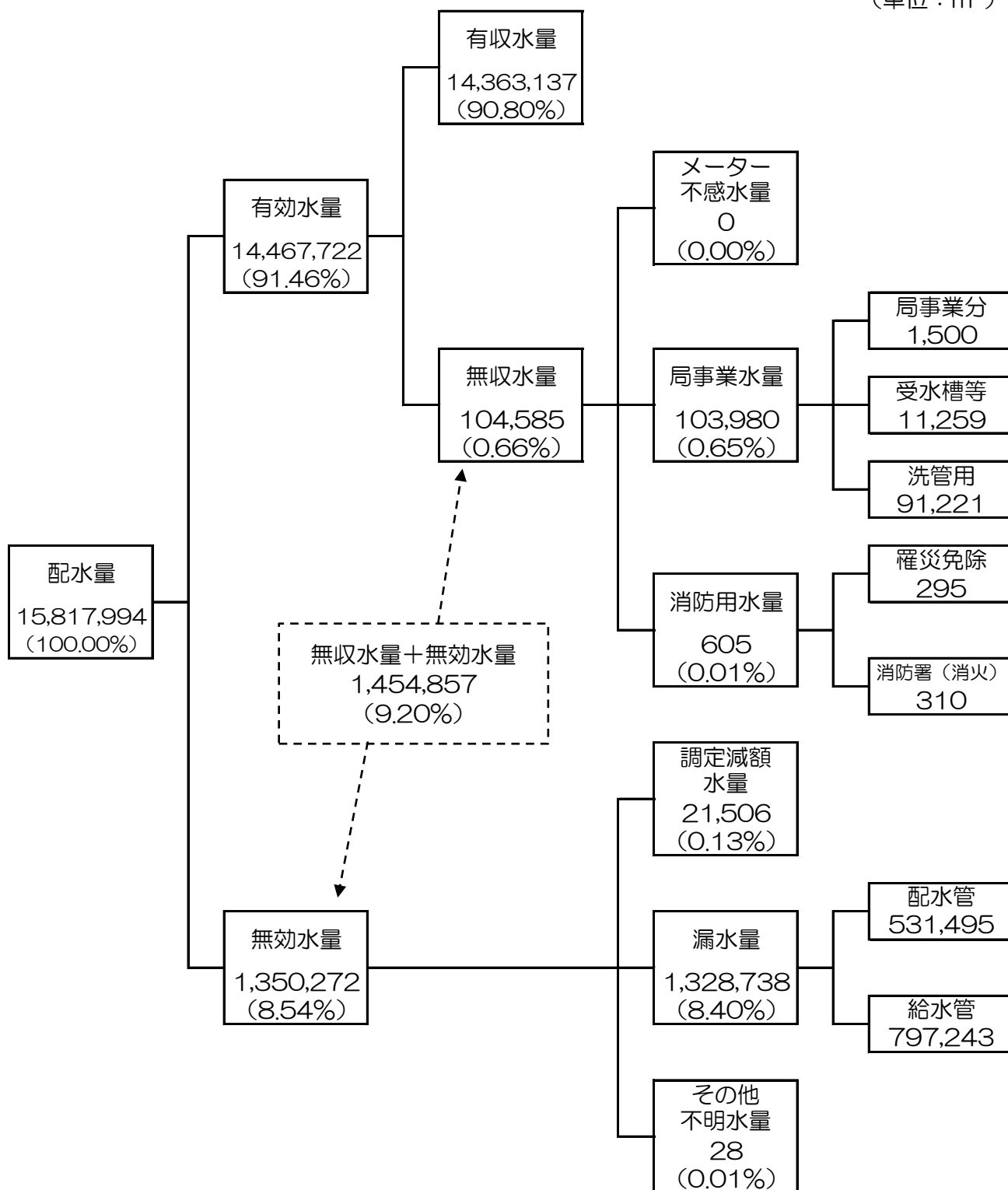
(2) 年度別配水量

	H27 年 度	H28 年 度	H29 年 度	H30 年 度	H29 年 度 比 較	
					増 減	比 率
4月	1,250,653	1,266,678	1,287,184	1,281,711	△ 5,473	99.6%
5月	1,317,907	1,332,736	1,351,414	1,330,309	△ 21,105	98.4%
6月	1,292,282	1,307,043	1,324,912	1,301,268	△ 23,644	98.2%
7月	1,360,638	1,406,138	1,408,282	1,424,774	16,492	101.2%
8月	1,382,713	1,468,060	1,404,974	1,424,535	19,561	101.4%
9月	1,291,302	1,304,727	1,299,966	1,280,805	△ 19,161	98.5%
10月	1,334,060	1,341,430	1,334,739	1,339,378	4,639	100.3%
11月	1,257,814	1,284,787	1,276,626	1,283,273	6,647	100.5%
12月	1,325,168	1,340,184	1,346,115	1,330,113	△ 16,002	98.8%
1月	1,319,199	1,329,676	1,352,323	1,313,519	△ 38,804	97.1%
2月	1,222,199	1,201,985	1,251,095	1,189,344	△ 61,751	95.1%
3月	1,306,606	1,322,507	1,314,059	1,318,965	4,906	100.4%
計	15,660,541	15,905,951	15,951,689	15,817,994	△ 133,695	99.2%
平 均	1,305,045	1,325,496	1,329,307	1,318,166	△ 11,141	99.2%



(3) 配水量分析

(単位：m³)



4 給水状況

(1) 年度別・用途別給水量

(単位：m³)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H29年度比較
一般用	14,297,998 (99.8%)	14,578,224 (99.8%)	14,439,825 (99.8%)	14,347,156 (99.8%)	△ 92,669 -
公衆 浴場用	5,133 (0.1%)	4,873 (0.1%)	4,363 (0.1%)	4,175 (0.1%)	△ 188 -
臨時用	11,009 (0.1%)	12,499 (0.1%)	10,712 (0.1%)	11,806 (0.1%)	1,094 -
計	14,314,140 (100.0%)	14,595,596 (100.0%)	14,454,900 (100.0%)	14,363,137 (100.0%)	△ 91,763 -
有収 水量率	91.4%	91.8%	90.6%	90.8%	0.2%
有効 水量率	92.0%	92.6%	91.2%	91.5%	0.3%

5 メーター設置状況

(1) 年度別・口径別メーター設置数

(単位：個)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H29年度比較
13mm	27,167 (46.84%)	27,888 (47.06%)	27,501 (46.40%)	27,117 (45.70%)	△ 384 -
20mm	28,272 (48.75%)	28,788 (48.58%)	29,193 (49.26%)	29,651 (49.97%)	458 -
25mm	1,557 (2.68%)	1,562 (2.64%)	1,546 (2.61%)	1,553 (2.62%)	7 -
30mm	288 (0.50%)	297 (0.50%)	299 (0.50%)	293 (0.49%)	△ 6 -
40mm	404 (0.70%)	417 (0.70%)	417 (0.70%)	417 (0.70%)	0 -
50mm	212 (0.37%)	217 (0.37%)	219 (0.37%)	218 (0.37%)	△ 1 -
75mm	72 (0.12%)	70 (0.12%)	69 (0.12%)	69 (0.12%)	0 -
100mm	13 (0.02%)	13 (0.02%)	14 (0.02%)	14 (0.02%)	0 -
150mm	5 (0.01%)	6 (0.01%)	6 (0.01%)	6 (0.01%)	0 -
200mm	2 (0.00%)	2 (0.00%)	2 (0.00%)	2 (0.00%)	0 -
250mm	1 (0.00%)	1 (0.00%)	1 (0.00%)	1 (0.00%)	0 -
300mm	1 (0.00%)	1 (0.00%)	1 (0.00%)	1 (0.00%)	0 -
計	57,994 (100.00%)	59,262 (100.00%)	59,268 (100.00%)	59,342 (100.00%)	74 -

6 給水収益

(1) 月別収納状況

月	随 時	口 座 制	納 付 制	和 木 町	合 計
3・4	714件 674,995円	18,326件 94,982,344円	5,606件 62,421,220円	1,996件 10,128,154円	26,642件 168,206,713円
4・5	653件 560,537円	22,585件 93,243,276円	5,955件 60,030,413円		29,193件 153,834,226円
5・6	453件 405,834円	18,357件 95,965,071円	5,593件 67,154,934円	2,001件 10,236,545円	26,404件 173,762,384円
6・7	485件 447,367円	22,600件 94,101,898円	5,930件 65,128,508円		29,015件 159,677,773円
7・8	521件 2,035,205円	18,404件 96,990,844円	5,608件 73,458,703円	2,008件 10,640,060円	26,541件 183,124,812円
8・9	387件 676,113円	22,614件 99,166,797円	5,976件 61,839,553円		28,977件 161,682,463円
9・10	624件 613,356円	18,386件 95,470,523円	5,628件 62,184,803円	2,010件 9,654,779円	26,648件 167,923,461円
10・11	468件 505,965円	22,611件 92,572,192円	6,002件 59,586,075円		29,081件 152,664,232円
11・12	443件 697,749円	18,384件 97,078,564円	5,601件 60,179,262円	2,007件 9,961,110円	26,435件 167,916,685円
12・1	478件 371,458円	22,551件 93,591,167円	5,994件 56,127,706円		29,023件 150,090,331円
1・2	472件 439,031円	18,364件 98,104,050円	5,629件 63,006,361円	2,010件 10,277,894円	26,475件 171,827,336円
2・3	734件 797,086円	22,518件 87,198,070円	6,002件 54,433,294円		29,254件 142,428,450円
計	6,432件 8,224,696円	245,700件 1,138,464,796円	69,524件 745,550,832円	12,032件 60,898,542円	333,688件 1,953,138,866円

年度内収納	不 納 欠 損	年度末残高	収 納 率
26,614件 168,139,331円		28件 67,382円	99.89% 99.96%
29,167件 153,806,388円		26件 27,838円	99.91% 99.98%
26,370件 173,710,676円		34件 51,708円	99.87% 99.97%
28,994件 159,650,985円		21件 26,788円	99.93% 99.98%
26,492件 183,036,690円		49件 88,122円	99.82% 99.95%
28,935件 161,590,327円		42件 92,136円	99.86% 99.94%
26,604件 167,798,150円		44件 125,311円	99.83% 99.93%
29,028件 152,549,695円		53件 114,537円	99.82% 99.92%
26,178件 167,154,163円		257件 762,522円	99.03% 99.55%
28,109件 146,629,930円		914件 3,460,401円	96.85% 97.69%
21,435件 150,172,810円		5,040件 21,654,526円	80.96% 87.40%
449件 514,617円		28,805件 141,913,833円	1.53% 0.36%
298,375件 1,784,753,762円	0件 0円	35,313件 168,385,104円	89.42% 91.38%

7 水道料金早見表（2ヶ月分）

（1）メーター口径13mm ※金額は税込み

（単位：円）

水量	0m ³	1m ³	2m ³	3m ³	4m ³	5m ³	6m ³	7m ³	8m ³	9m ³
0m ³	864	896	928	961	993	1,026	1,058	1,090	1,123	1,155
10m ³	1,188	1,220	1,252	1,285	1,317	1,350	1,382	1,414	1,447	1,479
20m ³	1,512	1,603	1,695	1,787	1,879	1,971	2,062	2,154	2,246	2,338
30m ³	2,430	2,521	2,613	2,705	2,797	2,889	2,980	3,072	3,164	3,256
40m ³	3,348	3,461	3,574	3,688	3,801	3,915	4,028	4,141	4,255	4,368
50m ³	4,482	4,595	4,708	4,822	4,935	5,049	5,162	5,275	5,389	5,502
60m ³	5,616	5,767	5,918	6,069	6,220	6,372	6,523	6,674	6,825	6,976
70m ³	7,128	7,279	7,430	7,581	7,732	7,884	8,035	8,186	8,337	8,488
80m ³	8,640	8,791	8,942	9,093	9,244	9,396	9,547	9,698	9,849	10,000
90m ³	10,152	10,303	10,454	10,605	10,756	10,908	11,059	11,210	11,361	11,512
100m ³	11,664	11,847	12,031	12,214	12,398	12,582	12,765	12,949	13,132	13,316

（2）メーター口径20mm ※金額は税込み

（単位：円）

水量	0m ³	1m ³	2m ³	3m ³	4m ³	5m ³	6m ³	7m ³	8m ³	9m ³
0m ³	1,080	1,112	1,144	1,177	1,209	1,242	1,274	1,306	1,339	1,371
10m ³	1,404	1,436	1,468	1,501	1,533	1,566	1,598	1,630	1,663	1,695
20m ³	1,728	1,819	1,911	2,003	2,095	2,187	2,278	2,370	2,462	2,554
30m ³	2,646	2,737	2,829	2,921	3,013	3,105	3,196	3,288	3,380	3,472
40m ³	3,564	3,677	3,790	3,904	4,017	4,131	4,244	4,357	4,471	4,584
50m ³	4,698	4,811	4,924	5,038	5,151	5,265	5,378	5,491	5,605	5,718
60m ³	5,832	5,983	6,134	6,285	6,436	6,588	6,739	6,890	7,041	7,192
70m ³	7,344	7,495	7,646	7,797	7,948	8,100	8,251	8,402	8,553	8,704
80m ³	8,856	9,007	9,158	9,309	9,460	9,612	9,763	9,914	10,065	10,216
90m ³	10,368	10,519	10,670	10,821	10,972	11,124	11,275	11,426	11,577	11,728
100m ³	11,880	12,063	12,247	12,430	12,614	12,798	12,981	13,165	13,348	13,532

8 加入金

給水装置を新設し、又はメーターの口径を増径する者は、メーターの口径の区分に従い、次の表に掲げる額を加入金として納入しなければならない。この場合においてメーターの口径を増径する者が納付する加入金額は、新口径に係る加入金額と旧口径に係る加入金額との差額とする。

メーター口径	加 入 金 額
13mm	54,000円
20mm	97,200円
25mm	183,600円
30mm	302,400円
40mm	507,600円
50mm	907,200円
75mm	1,944,000円
100mm以上	管理者が別に定める額

※金額は税込み

9 職員構成

(1) 職員定数および実数

(単位：人)

	定 数	H29年度末	H30年度末	増 減
主 事	92	44	43	-1
技 師		35	36	1
小 計	92	79	79	0
臨 時 職 員	-	0	0	0
合 計	92	79	79	0

(2) 年齢別職員構成表

(単位：人)

年 齢	主 事	技 師	合 計
25 歳 未 満	2 (2.53%)	1 (1.27%)	3 (3.80%)
25 歳 以 上 35 歳 未 満	12 (15.19%)	7 (8.86%)	19 (24.05%)
35 歳 以 上 45 歳 未 満	12 (15.19%)	7 (8.86%)	19 (24.05%)
45 歳 以 上 55 歳 未 満	14 (17.72%)	14 (17.72%)	28 (35.44%)
55 歳 以 上	3 (3.80%)	7 (8.86%)	10 (12.66%)
計	43 (54.43%)	36 (45.57%)	79 (100.00%)
平 均 年 齢	40歳 4月	45歳 1月	42歳 5月

(3) 勤続年数別職員構成表

(単位：人)

年 数	主 事	技 師	合 計
5 年 未 満	3 (3.80%)	4 (5.06%)	7 (8.86%)
5 年 以 上 10 年 未 満	6 (7.59%)	1 (1.27%)	7 (8.86%)
10 年 以 上 15 年 未 満	7 (8.86%)	3 (3.80%)	10 (12.66%)
15 年 以 上 20 年 未 満	3 (3.80%)	2 (2.53%)	5 (6.33%)
20 年 以 上	24 (30.38%)	26 (32.91%)	50 (63.29%)
計	43 (54.43%)	36 (45.57%)	79 (100.00%)
平 均 勤 続 年 数	19年 7月	23年 6月	21年 5月

10 建設改良工事等

(1) 高所地区配水管等改良事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工／完成
由宇地区給水事業 供用開始に伴う水道施設 切替工事	铸铁管φ350 6m // φ250 3m	2,579,634	H30.11.29 H31.3.29
由宇地区給水事業 洗管作業に伴う中和装置 設置・撤去工事	中和装置設置・撤去一式	1,713,960	H31.2.12 H31.3.29

(2) 配水施設整備事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工／完成
山手町四丁目 配水支管PPφ50移設工事	PP管φ50 35m	453,600	H30.7.10 H30.10.31
由宇町中央二丁目 配水支管HPPEφ50布設工事	HPPE管φ50 36m	1,209,600	H30.7.11 H30.7.31
青木町二丁目 配水管DIPφ100布設工事	铸铁管φ100 139m	8,439,120	H30.7.13 H30.10.3
南岩国町二丁目 配水管DIPφ150他移設工事	铸铁管φ150 188m // φ75 7m	13,467,600	H30.9.21 H31.3.22
旭町一丁目 配水管DIPφ200他移設工事	铸铁管φ200 5m // φ75 37m	3,630,960	H30.10.4 H30.12.25
(予算繰越) 新港町四丁目 配水管DIPφ75移設工事	铸铁管φ75 231m	14,583,498	H30.12.13 R1.5.20 完成予定
美和町田ノ口 配水支管HPPEφ50他移設工事	HPPE管φ50 18m	302,400	H30.12.18 H31.1.23
楠町一丁目 配水管DIPφ75他移設工事	铸铁管φ75 165m	8,964,000	H31.1.16 H31.3.29

(3) 由宇地区給水事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工／完成
由宇地区給水事業 供用開始に伴う水道施設 切替工事	铸铁管φ350 6m // φ250 3m	8,636,166	H30.11.29 H31.3.29
由宇地区給水事業 洗管作業に伴う中和装置 設置・撤去工事	中和装置設置・撤去一式	5,738,040	H31.2.12 H31.3.29

(4) 浄水施設整備事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工／完成
(予算繰越) 牛野谷ポンプ所1号流入弁 取替工事	電動弁1基	4,147,200 (4,147,200)	H30.4.1 H30.5.21

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工／完成
神東配水池加圧ポンプ取替工事	加圧ポンプ1基	1,296,000	H30.5.9 H30.5.21
錦見空調設備更新工事 (1期工事)	空調設備1基	2,970,000	H30.5.16 H30.7.25
錦見送水2号ポンプ電動弁 取替工事	電動弁1基	8,586,000	H30.6.7 H31.3.28
美和西部ろ過池改良工事	ろ材取替一式	7,128,000	H30.10.9 H30.12.19
装束団地加圧ポンプ更新工事	加圧ポンプ1基	455,760	H30.10.12 H31.2.13
上北浄水場1号取水ポンプ更新工事	取水ポンプ1基	2,376,000	H30.10.17 H31.1.22
宇佐郷浄水場急速ろ過機盤取替工事	液晶パネル1基	777,600	H30.11.12 H31.2.13
本郷大迫加圧ポンプ取替工事	加圧ポンプ1基	712,800	H30.11.14 H31.3.12
水質試験室内装改修工事	内装改修一式 空調設備一式	2,592,000	H30.11.20 H31.3.6
柿木原配水流量計他更新工事	流量計1基	1,554,120	H30.11.27 H31.3.11
野口ポンプ所送水流量計更新工事	流量計1基	1,404,000	H31.1.7 H31.3.22
(予算繰越) 牛野谷ポンプ所1号流入弁更新 工事	電動弁1基	0 (4,492,800)	H31.2.12 R1.6.28 完成予定

(5) 水道施設耐震化事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工／完成
秋掛浄水場更新工事 (電気設備工事2期)	残留塩素計1基	3,207,600	H30.10.2 H31.2.21
秋掛浄水場更新工事 (取水設備工事)	有孔管布設一式	2,160,000	H30.10.2 H31.1.29
既設牛野谷送水ポンプ所 配管切替工事	铸铁管φ400 59m	24,310,800	H30.10.19 H31.1.30

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工／完成
瀬戸海・萩原団地統合配水池造成及び送水管布設工事	雨水排水設備工事一式 法面整備工事一式 鋳鉄管φ75 245m	39,387,600	H30.10.26 H31.3.28
錦見浄水場法面補強工事 (2期工事)	法面整備工事一式	34,592,400	H30.11.29 H31.3.28
新黒磯団地配水池用地造成工事	敷地造成工事一式 鋳鉄管φ150 6m 鋳鉄管φ75 45m	23,598,000	H30.12.5 H31.3.28
(継続費) 牛野谷送水ポンプ所築造工事 (水道施設工事)	敷地造成工事一式 雨水排水設備工事一式 場内整備工事一式	18,500,000 (46,332,000)	H31.2.14 R2.1.31 完成予定
(継続費) 牛野谷送水ポンプ所築造工事 (機械設備工事)	両吸込渦巻ポンプ3基 電動吐出弁3基	45,300,000 (113,346,000)	H31.2.21 R2.1.31 完成予定
(継続費) 牛野谷送水ポンプ所築造工事 (建築工事)	鉄筋コンクリート造 188.81㎡	24,300,000 (60,998,400)	H31.2.21 R1.12.27 完成予定
(継続費) 牛野谷送水ポンプ所築造工事 (電気設備工事)	高圧電源引込工事一式 受変電設備工事一式 運転操作設備工事一式	73,400,000 (183,600,000)	H31.2.25 R2.1.31 完成予定

(6) 耐震管整備事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工／完成
装束町一丁目 配水管DIPφ150耐震化工事	鋳鉄管φ150 130m	9,761,796	H30.7.23 H30.10.23
山手庁舎建設に伴う第1期周辺 整備工事	鋳鉄管φ450 20m // φ350 7m // φ250 74m	25,004,700	H30.10.10 H31.3.29
元町二丁目 配水管DIPφ75耐震化工事	鋳鉄管φ100 6m // φ75 138m	11,719,080	H30.11.22 H31.2.15
昭和町一丁目 配水管DIPφ150耐震化工事	鋳鉄管φ150 130m	13,554,000	H30.11.22 H31.3.29
錦見系統管路耐震化事業 配水管DIPφ450耐震化工事 (平成30年度)	鋳鉄管φ450 50m	26,956,800	H30.11.30 H31.2.28
山手町四丁目 配水管DIPφ250耐震化工事	鋳鉄管φ250 70m	4,860,000	H30.12.11 H31.3.25
岩国一丁目 配水管DIPφ150他耐震化工事	鋳鉄管φ150 66m // φ100 10m // φ75 180m	19,926,000	H30.12.21 H31.3.29
黒磯町二丁目 配水管DIPφ150耐震化工事	鋳鉄管φ150 199m	12,290,400	H31.2.25 H31.3.29

工 事 名	工 事 内 容	工事費（円）	着工／完成
南岩国町三丁目 配水管φ450耐震化工事に伴う 試掘工事	試掘2箇所	907,200	H31.2.21 H31.3.29
黒磯町二丁目 配水支管HPPEφ50耐震化工事	HPPE管φ50 113m	6,188,400	H31.2.25 H31.3.29

(7) 庁舎建設事業

工 事 名	工 事 内 容	工事費（円）	着工／完成
(継続費) 山手庁舎建設工事 (機械設備工事)	機械設備工事一式	47,988,800 (78,688,800)	H30.4.1 H31.3.29
(継続費) 山手庁舎建設工事 (電気設備工事)	電気設備工事一式	62,948,400 (102,848,400)	H30.4.1 H31.3.29
(継続費) 山手庁舎建設工事 (建築工事)	建築工事一式 昇降機設備工事一式 旧ろ過池解体工事一式	407,767,600 (666,867,600)	H30.4.1 H31.3.29
山手庁舎建設に伴う第1期 周辺整備工事	擁壁工事一式 排水工事一式 舗装工事一式	46,437,300	H30.10.10 H31.3.29
岩国市イントラネット引込工事	イントラネット引込一式	1,136,000	H31.3.7 H31.3.27

(8) 保存工事の概況

区 分	工 事 内 容	工事請負費（円）
原水及び浄水関係	美和東部コンプレッサ整備工事 ほか4件	5,195,880
配水関係	美和町生見配水支管HPPEφ50 他移設工事	73,440
路面復旧関係	アスファルト舗装補修工事ほか19件	4,423,124
総係関係	錦見浄水場浄化槽放流ポンプ取 替工事ほか7件	459,864

(Ⅳ) 財 政

1	平成30年度財政概況	・ ・ ・	83
2	決算報告書	・ ・ ・	84
3	年度別収益費用明細書比較	・ ・ ・	98
4	年度別貸借対照表比較	・ ・ ・	100
5	経営分析	・ ・ ・	104

1 平成30年度財政概況

収益的収支では、収入額21億7,816万8,976円に対し、支出額19億6,228万6,074円で、差引き2億1,588万2,902円の純利益となりました。

資本的収支では、収入額8億2,754万6,522円に対し、支出額15億9,992万1,425円で、差引き7億7,237万4,903円の不足となりましたが、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額8,766万7,138円、減債積立金5,000万円、建設改良積立金2億円、過年度分損益勘定留保資金4億3,157万1,643円及び当年度分損益勘定留保資金313万6,122円で補填しました。

また、当年度末処分利益剰余金は6億3,325万3,220円となりましたが、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき、減債積立金に5,000万円、建設改良積立金に2億円を積み立て、資本金に2億5,000万円を組み入れる予定のため、翌年度繰越利益剰余金は1億3,325万3,220円となります。

2 決算報告書

(1) 収入及び支出

収益的収入

区 分	予 算 額		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財 源 充 当 額
第1款 水道事業収益	2,346,864,000	20,043,000	-
第1項 営業収益	2,003,798,000	119,000	-
第2項 営業外収益	342,965,000	19,924,000	-
第3項 特別利益	101,000	-	-

収益的支出

区 分	予 算 額					小 計
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	
第1款 水道事業費用	2,097,972,000	137,000	-	0	-	2,098,109,000
第1項 営業費用	1,998,181,000	1,754,000	-	△ 74,667	-	1,999,860,333
第2項 営業外費用	79,591,000	△ 1,617,000	-	74,667	-	78,048,667
第3項 特別損失	200,000	-	-	-	-	200,000
第4項 予備費	20,000,000	-	-	-	-	20,000,000

資本的収入

区 分	予 算 額					合 計
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財 源 充 当 額	継続費繰次繰越額に係る財 源 充 当 額	
第1款 資本的収入	917,548,000	△ 17,720,000	899,828,000	-	-	899,828,000
第1項 固定資産売却代金	10,000	-	10,000	-	-	10,000
第2項 企業債	733,100,000	-	733,100,000	-	-	733,100,000
第3項 国庫補助金	44,239,000	△ 3,695,000	40,544,000	-	-	40,544,000
第4項 工事負担金	51,569,000	△ 14,025,000	37,544,000	-	-	37,544,000
第5項 出資金	88,630,000	-	88,630,000	-	-	88,630,000

資本的支出

区 分	算						額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流用 増減額	小 計	地方公営企業 法第26条の 規定による繰 越額	継続費 通次繰 越額	合 計
第1款 資本的支出	1,888,901,000	△ 41,744,000	-	1,847,157,000	43,101,640	63,544,000	1,953,802,640
第1項 建設改良費	1,589,355,000	△ 39,535,000	-	1,549,820,000	43,101,640	63,544,000	1,656,465,640
第2項 企業債償還金	298,546,000	△ 2,209,000	-	296,337,000	-	-	296,337,000
第3項 予備費	1,000,000	-	-	1,000,000	-	-	1,000,000

(単位：円)

合 計	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
2,366,907,000	2,312,571,597	△ 54,335,403	
2,003,917,000	1,969,652,586	△ 34,264,414	うち、仮受消費税118,969,831円
362,889,000	342,303,543	△ 20,585,457	うち、仮受消費税4,728,494円
101,000	615,468	514,468	うち、仮受消費税344円

地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越 額	合 計	決 算 額	地方公営企 業法26条第 2項の規定に よる繰越額	不 用 額	備 考
-	2,098,109,000	2,007,372,966	-	90,736,034	
-	1,999,860,333	1,931,914,695	-	67,945,638	うち、仮払消費税45,261,413円
-	78,048,667	75,217,425	-	2,831,242	うち、仮払消費税6,271円
-	200,000	240,846	-	△ 40,846	うち、仮払消費税8,323円
-	20,000,000	0	-	20,000,000	

決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
827,546,522	△ 72,281,478	
0	△ 10,000	
692,400,000	△ 40,700,000	
40,544,000	0	
19,872,240	△ 17,671,760	
74,730,282	△ 13,899,718	

決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
	地方公営企業 法第26条の 規定による繰 越額	継続費 遞次繰 越額	合計		
1,599,921,425	156,567,600	24,323,000	180,890,600	172,990,615	
1,303,585,253	156,567,600	24,323,000	180,890,600	171,989,787	うち、仮払消費税87,834,578円
296,336,172	-	-	-	828	
0	-	-	-	1,000,000	

資本金の収入額が資本金の支出額に不足する額772,374,903円は、当年度分消費税及び地方消費税資本金の収支調整額87,667,138円、減債積立金50,000,000円、建設改良積立金200,000,000円、過年度分損益勘定留保資金431,571,643円及び当年度分損益勘定留保資金3,136,122円で補填した。

(2) 損益計算書（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

1	営業収益			(単位：円)
	(1)給水収益	1,835,189,755		
	(2)その他営業収益	<u>15,493,000</u>	1,850,682,755	
2	営業費用			
	(1)原水及び浄水費	493,742,974		
	(2)配水費	134,966,679		
	(3)給水費	253,307,671		
	(4)業務費	137,986,565		
	(5)総係費	294,766,770		
	(6)減価償却費	568,506,796		
	(7)資産減耗費	<u>3,375,827</u>	<u>1,886,653,282</u>	
	営業損失			35,970,527
3	営業外収益			
	(1)受取利息及び配当金	427,344		
	(2)他会計補助金	17,128,492		
	(3)長期前受金戻入	138,648,798		
	(4)雑収益	<u>170,666,463</u>	326,871,097	
4	営業外費用			
	(1)支払利息及び企業債取扱諸費	74,962,169		
	(2)雑支出	<u>438,100</u>	<u>75,400,269</u>	<u>251,470,828</u>
	経常利益			215,500,301
5	特別利益			
	(1)過年度損益修正益	<u>615,124</u>	615,124	
6	特別損失			
	(1)過年度損益修正損	<u>232,523</u>	<u>232,523</u>	<u>382,601</u>
	当年度純利益			215,882,902
	前年度繰越利益剰余金			167,370,318
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>250,000,000</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>633,253,220</u></u>

(3) 剰余金処分計算書

(単位：円)

	資 本 金	資 本 剰 余 金	未処分利益剰余金
当 年 度 末 残 高	8,590,482,181	274,447,881	633,253,220
議会の議決による処分額	250,000,000	0	△ 500,000,000
減 債 積 立 金 の 積 立	0	0	△ 50,000,000
建設改良積立金の積立	0	0	△ 200,000,000
資 本 金 へ の 組 入 れ	250,000,000	0	△ 250,000,000
処 分 後 残 高	8,840,482,181	274,447,881	(繰越利益剰余金) 133,253,220

(4) 剰余金計算書（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

	資本金	剰余金		
		資本金		
		工事負担金	受贈財産額	国庫補助金
前年度末残高	8,265,367,672	6,189,175	149,026,480	104,711,395
前年度処分額	250,384,227	0	0	0
議会の議決による処分額	250,384,227	0	0	0
減債積立金の積立	0	0	0	0
建設改良積立金の積立	0	0	0	0
資本金への組入れ	250,384,227	0	0	0
処分後残高	8,515,751,899	6,189,175	149,026,480	104,711,395
当年度変動額	74,730,282	0	0	0
一般会計出資の受入れ	74,730,282	0	0	0
減債積立金の使用	0	0	0	0
建設改良積立金の使用	0	0	0	0
資本剰余金の受入れ	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0
当年度末残高	8,590,482,181	6,189,175	149,026,480	104,711,395

(単位：円)

余 金						資 合	本 計
余 金	金	利 益	剰 余	金	金		
その他資本剰余金	資本剰余金計	減積立債金	建設改良金	未処分利益剰余金	利益剰余金計		
14,520,831	274,447,881	0	684,217,195	667,754,545	1,351,971,740		9,891,787,293
0	0	50,000,000	200,000,000	△ 500,384,227	△ 250,384,227		0
0	0	50,000,000	200,000,000	△ 500,384,227	△ 250,384,227		0
0	0	50,000,000	0	△ 50,000,000	0		0
0	0	0	200,000,000	△ 200,000,000	0		0
0	0	0	0	△ 250,384,227	△ 250,384,227		0
14,520,831	274,447,881	50,000,000	884,217,195	(繰越利益剰余金) 167,370,318	1,101,587,513		9,891,787,293
0	0	△ 50,000,000	△ 200,000,000	465,882,902	215,882,902		290,613,184
0	0	0	0	0	0		74,730,282
0	0	△ 50,000,000	0	50,000,000	0		0
0	0	0	△ 200,000,000	200,000,000	0		0
0	0	0	0	0	0		0
0	0	0	0	215,882,902	215,882,902		215,882,902
14,520,831	274,447,881	0	684,217,195	(当年度未処分利益剰余金) 633,253,220	1,317,470,415		10,182,400,477

(5) 貸借対照表 (平成31年3月31日)

資産の部

(単位：円)

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 土地		1,034,098,932	
イ 建物	599,251,068		
減価償却累計額	<u>△ 368,888,735</u>	230,362,333	
ウ 建物附属設備	115,736,882		
減価償却累計額	<u>△ 101,125,513</u>	14,611,369	
エ 構築物	20,521,279,516		
減価償却累計額	<u>△ 8,886,925,862</u>	11,634,353,654	
オ 機械及び装置	4,971,013,920		
減価償却累計額	<u>△ 3,540,256,518</u>	1,430,757,402	
カ 車両運搬具	45,937,485		
減価償却累計額	<u>△ 41,949,194</u>	3,988,291	
キ 工具、器具及び備品	161,292,553		
減価償却累計額	<u>△ 124,734,891</u>	36,557,662	
ク その他有形固定資産		8,019,278	
ケ 建設仮勘定		<u>4,369,866,987</u>	
有形固定資産合計			18,762,615,908

(2) 無形固定資産

ア 電話加入権		4,276,244	
イ 商標権		<u>58,860</u>	
無形固定資産合計			<u>4,335,104</u>
固定資産合計			18,766,951,012

2 流動資産

(1) 現金・預金

2,452,714,063

(2) 未収金

398,023,341

貸倒引当金

△ 335,832

397,687,509

(3) 貯蔵品

5,073,490

(4) 前払金

316,000

(5) 前払費用

855,027

(6) その他流動資産

200,000

流動資産合計

2,856,846,089

資産合計

21,623,797,101

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

5,574,178,732

(2) 引当金

ア 修繕引当金

87,621,200

イ 退職給付引当金

355,064,512

442,685,712

固定負債合計

6,016,864,444

4 流動負債

(1) 企業債

294,581,429

(2) 未払金

777,043,179

(3) 未払費用

21,113,062

(4) 引当金

ア 賞与等引当金

51,172,000

51,172,000

(5) その他流動負債

7,133,085

流動負債合計

1,151,042,755

5 繰延収益

(1) 長期前受金

4,137,845,356

長期前受金収益化累計額

△ 628,623,461

3,509,221,895

(2) 建設仮勘定長期前受金

764,267,530

繰延収益合計

4,273,489,425

負債合計

11,441,396,624

資本の部

6 資本金

(1) 資本金

8,590,482,181

7 剰余金

(1) 資本剰余金

ア 工事負担金

6,189,175

イ 受贈財産評価額

149,026,480

ウ 国庫補助金

104,711,395

エ その他資本剰余金

14,520,831

資本剰余金合計

274,447,881

(2) 利益剰余金

ア 建設改良積立金

684,217,195

イ 当年度末処分利益剰余金

633,253,220

利益剰余金合計

1,317,470,415

剰余金合計

1,591,918,296

資本合計

10,182,400,477

負債資本合計

21,623,797,101

(6) 固定資産明細書

有形固定資産明細書

資 産 の 種 類	年度当初の 現 在 高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土 地	1,003,903,881	30,195,051	0	1,034,098,932
建 物	599,251,068	0	0	599,251,068
建 物 附 属 設 備	110,278,829	5,458,053	0	115,736,882
構 築 物	20,326,812,830	204,898,034	10,431,348	20,521,279,516
機 械 及 び 装 置	4,964,155,795	26,300,635	19,442,510	4,971,013,920
車 両 運 搬 具	45,937,485	0	0	45,937,485
工 具、器 具 及 び 備 品	146,338,620	23,756,609	8,802,676	161,292,553
その他有形固定資産	8,019,278	0	0	8,019,278
建 設 仮 勘 定	3,432,254,694	1,215,750,675	278,138,382	4,369,866,987
計	30,636,952,480	1,506,359,057	316,814,916	31,826,496,621

無形固定資産明細書

資 産 の 種 類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
電 話 加 入 権	4,276,244	0	0
商 標 権	68,670	0	0
計	4,344,914	0	0

(単位：円)

減 価 償 却 累 計 額	年度末償却 未 済 高	備 考
当年度増加額	当年度減少額	累 計
-	-	-
12,195,412	0	368,888,735
2,209,566	0	101,125,513
390,814,742	9,453,097	8,886,925,862
158,870,155	17,666,371	3,540,256,518
1,719,739	0	41,949,194
2,687,372	8,260,394	124,734,891
-	-	-
-	-	-
568,496,986	35,379,862	13,063,880,713

(単位：円)

当 年 度 減 価 償 却 高	年 度 末 現 在 高	備 考
-	4,276,244	
9,810	58,860	
9,810	4,335,104	

(7) 企業債明細書

種 類	発 行 年 月 日	発 行 総 額	償 還 高		未償還高 残 高	発 行 価 額	利 率	償 還 終 期	備 考
			当年度	累 計					
	平	円	円	円	円	円	年 %	平	
旧玖珂町 水源池改良事業	4.3.25	90,000,000	5,440,395	71,790,203	18,209,797	-	5.50	34.3.25	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	5.3.25	5,400,000	291,398	4,098,889	1,301,111	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	5.3.30	2,100,000	130,518	1,820,875	279,125	-	4.50	33.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	5.3.30	300,000	18,581	260,292	39,708	-	4.45	33.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	6.3.23	7,200,000	358,658	5,198,548	2,001,452	-	3.65	36.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	6.3.23	2,900,000	164,165	2,369,799	530,201	-	3.70	34.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	6.3.23	2,000,000	113,573	1,632,830	367,170	-	3.75	34.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	7.3.27	8,100,000	404,319	5,241,850	2,858,150	-	4.65	37.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	7.3.27	3,200,000	184,197	2,370,322	829,678	-	4.75	35.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	7.3.27	3,200,000	183,749	2,373,372	826,628	-	4.70	35.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	8.3.22	2,700,000	139,238	1,932,318	767,682	-	3.25	36.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	8.3.22	2,700,000	139,238	1,932,318	767,682	-	3.25	36.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	8.3.22	200,000	10,290	143,349	56,651	-	3.20	36.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 老朽管更新事業	8.3.25	4,200,000	193,090	2,649,713	1,550,287	-	3.40	38.3.1	財務省理財局
旧由宇町 配水管整備事業	8.3.25	4,000,000	183,896	2,523,538	1,476,462	-	3.40	38.3.1	財務省理財局
旧由宇町 老朽管更新事業	9.3.25	7,100,000	311,119	4,273,562	2,826,438	-	2.80	39.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	9.3.26	2,000,000	98,430	1,347,168	652,832	-	2.85	37.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	9.3.26	2,700,000	133,126	1,815,485	884,515	-	2.90	37.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 老朽管更新事業	10.3.25	5,700,000	240,014	3,298,551	2,401,449	-	2.10	40.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	10.3.25	2,800,000	131,485	1,794,465	1,005,535	-	2.20	38.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	10.3.25	600,000	28,133	385,286	214,714	-	2.15	38.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	11.3.24	2,600,000	119,207	1,551,144	1,048,856	-	2.10	39.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	11.3.24	700,000	32,094	417,616	282,384	-	2.10	39.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 安全対策事業	11.4.30	5,100,000	210,113	2,752,006	2,347,994	-	2.00	41.3.25	財務省理財局
旧由宇町 安全対策事業	12.3.22	2,600,000	116,615	1,439,133	1,160,867	-	2.00	40.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 安全対策事業	12.3.22	1,800,000	80,733	996,321	803,679	-	2.00	40.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 安全対策事業	12.3.24	6,700,000	270,592	3,339,348	3,360,652	-	2.00	42.3.1	財務省理財局
旧由宇町 上水道事業	13.3.22	3,900,000	171,377	2,016,775	1,883,225	-	1.70	41.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 老朽管更新事業	13.3.26	4,900,000	194,712	2,304,523	2,595,477	-	1.60	43.3.1	財務省理財局
旧玖珂町 施設整備事業	14.3.22	100,400,000	4,319,580	46,089,088	54,310,912	-	2.20	42.3.20	地方公共団体金融機構
旧由宇町 上水道事業	14.3.22	11,000,000	473,261	5,049,601	5,950,399	-	2.20	42.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	14.3.25	78,300,000	2,649,316	38,023,867	40,276,133	-	2.20	44.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	14.3.25	33,100,000	1,279,362	13,650,548	19,449,452	-	2.20	44.3.1	財務省理財局
旧玖珂町 施設整備事業	14.3.25	123,600,000	4,777,316	50,973,043	72,626,957	-	2.20	44.3.1	財務省理財局
旧由宇町 老朽管更新事業	14.3.25	13,600,000	525,659	5,608,685	7,991,315	-	2.20	44.3.1	財務省理財局
浄水施設整備事業	14.3.28	63,700,000	2,363,182	34,169,363	29,530,637	-	2.10	42.3.20	地方公共団体金融機構
通津地区給水区域拡大事業	14.3.28	26,900,000	1,157,338	12,348,571	14,551,429	-	2.20	42.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	15.3.25	166,300,000	5,546,805	81,255,627	85,044,373	-	1.20	45.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	15.3.25	31,900,000	1,241,205	12,869,669	19,030,331	-	1.20	45.3.1	財務省理財局
浄水施設整備事業	15.3.25	156,700,000	5,675,130	82,539,846	74,160,154	-	1.30	43.3.20	地方公共団体金融機構
通津地区給水区域拡大事業	15.3.25	30,100,000	1,286,078	13,238,430	16,861,570	-	1.35	43.3.20	地方公共団体金融機構
旧玖珂町 施設整備事業	15.3.25	191,000,000	8,160,824	84,004,653	106,995,347	-	1.35	43.3.20	地方公共団体金融機構
旧玖珂町 施設整備事業	15.5.26	236,900,000	9,287,849	97,720,012	139,179,988	-	0.90	45.3.25	財務省理財局
旧玖珂町 施設整備事業	15.5.29	32,100,000	1,380,725	14,526,985	17,573,015	-	0.90	43.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	16.3.23	108,000,000	3,848,727	50,742,087	57,257,913	-	1.90	44.3.20	地方公共団体金融機構
通津地区給水区域拡大事業	16.3.23	123,500,000	5,129,825	47,183,055	76,316,945	-	1.90	44.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	16.3.25	108,000,000	3,518,797	46,392,263	61,607,737	-	1.90	46.3.1	財務省理財局

種 類	発 行 年 月 日	発 行 総 額	償 還 高		未償還高	発 行 額	利 率	償 還 期	備 考
			当 年 度	累 計					
	平	円	円	円	円	円	年 %	平	
通津地区給水区域拡大事業	16.3.25	122,000,000	4,550,183	41,672,134	80,327,866	-	2.00	46.3.1	財務省理財局
浄水処理施設整備事業	17.3.23	109,100,000	7,404,337	93,943,899	15,156,101	-	1.55	33.3.20	地方公共団体金融機構
通津地区給水区域拡大事業	17.3.23	28,500,000	1,152,756	9,556,988	18,943,012	-	2.10	45.3.20	地方公共団体金融機構
浄水処理施設整備事業	17.3.25	106,900,000	7,236,413	92,098,675	14,801,325	-	1.50	33.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	17.3.25	28,000,000	1,018,616	8,444,896	19,555,104	-	2.10	47.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	18.3.17	10,900,000	340,623	3,940,623	6,959,377	-	2.00	48.3.1	財務省理財局
通津地区給水区域拡大事業	18.3.30	9,100,000	311,403	3,602,572	5,497,428	-	2.00	46.3.20	地方公共団体金融機構
高所地区配水管等改良事業	19.3.26	12,700,000	387,126	4,152,047	8,547,953	-	2.10	49.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	19.3.29	22,800,000	761,955	8,172,214	14,627,786	-	2.10	47.3.20	地方公共団体金融機構
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	19.8.20	32,700,000	991,763	10,581,928	22,118,072	-	2.20	49.3.25	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	19.8.31	13,800,000	459,413	4,901,849	8,898,151	-	2.20	47.3.20	地方公共団体金融機構
第三次浄水施設整備事業	20.3.25	48,000,000	3,100,065	31,834,013	16,165,987	-	1.40	36.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	20.3.25	10,700,000	321,327	3,206,160	7,493,840	-	2.00	50.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	20.3.28	8,700,000	285,418	2,841,109	5,858,891	-	2.05	48.3.20	地方公共団体金融機構
第三次浄水施設整備事業	20.3.28	38,800,000	2,522,144	25,528,512	13,271,488	-	1.70	36.3.20	地方公共団体金融機構
水質監視機器整備事業	21.3.25	8,300,000	867,750	8,300,000	0	-	1.00	31.3.1	財務省理財局
水質監視機器整備事業	21.3.25	6,700,000	700,473	6,700,000	0	-	1.00	31.3.20	地方公共団体金融機構
第三次浄水施設整備事業	21.3.25	83,100,000	8,687,950	83,100,000	0	-	1.00	31.3.1	財務省理財局
第三次浄水施設整備事業	21.3.25	66,900,000	6,994,270	66,900,000	0	-	1.00	31.3.20	地方公共団体金融機構
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	21.3.25	14,400,000	426,844	3,926,027	10,473,973	-	1.90	51.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	21.3.25	11,600,000	378,216	3,493,769	8,106,231	-	1.80	49.3.20	地方公共団体金融機構
浄水施設整備事業	22.3.25	19,100,000	1,503,304	12,903,655	6,196,345	-	1.20	35.3.1	財務省理財局
浄水施設整備事業	22.3.25	12,900,000	1,015,321	8,715,034	4,184,966	-	1.20	35.3.20	地方公共団体金融機構
配水施設整備事業	22.3.25	28,000,000	808,044	6,724,809	21,275,191	-	2.00	52.3.1	財務省理財局
配水施設整備事業	22.3.25	19,000,000	548,316	4,563,265	14,436,735	-	2.00	52.3.20	地方公共団体金融機構
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	22.3.25	7,200,000	207,783	1,729,236	5,470,764	-	2.00	52.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	22.3.25	4,800,000	138,522	1,152,824	3,647,176	-	2.00	52.3.20	地方公共団体金融機構
藤河・御庄地区給水事業	22.3.25	16,700,000	481,941	4,010,868	12,689,132	-	2.00	52.3.1	財務省理財局
藤河・御庄地区給水事業	22.3.25	11,300,000	326,104	2,713,940	8,586,060	-	2.00	52.3.20	地方公共団体金融機構
配水施設整備事業	23.3.25	65,000,000	1,855,220	13,904,286	51,095,714	-	1.90	53.3.1	財務省理財局
高所地区配水管等改良・ 由宇地区給水事業	23.3.25	52,000,000	1,484,176	11,123,429	40,876,571	-	1.90	53.3.1	財務省理財局
藤河・御庄地区給水事業	23.3.25	115,000,000	3,282,312	24,599,891	90,400,109	-	1.90	53.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（小瀬分）	23.4.1	12,852,428	551,946	4,193,012	8,659,416	-	1.50	45.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（小瀬分）	23.4.1	1,200,000	39,719	154,239	1,045,761	-	2.00	52.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（小瀬分）	23.4.1	10,560,132	398,523	2,976,766	7,583,366	-	2.00	47.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（小瀬分）	23.4.1	10,061,332	884,986	6,109,806	3,951,526	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（高森南分）	24.4.1	62,705,992	5,898,108	36,370,512	26,335,480	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（高森南分）	24.4.1	81,272,412	6,844,264	42,321,937	38,950,475	-	4.30	36.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（高森南分）	24.4.1	16,668,305	876,394	5,783,802	10,884,503	-	2.00	42.3.25	財務省理財局
上水道事業	25.3.25	411,000,000	11,787,931	68,156,141	342,843,859	-	1.50	55.3.1	財務省理財局
上水道事業	25.3.25	361,000,000	10,353,876	59,864,639	301,135,361	-	1.50	55.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	16,800,000	1,866,000	11,196,000	5,604,000	-	0.652	34.3.31	（株）山口銀行
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	18,678,281	1,894,086	10,221,050	8,457,231	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	25,856,085	2,329,415	12,599,462	13,256,623	-	4.30	36.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	50,430,329	4,087,647	22,343,009	28,087,320	-	3.85	37.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	22,804,807	1,682,640	9,295,169	13,509,638	-	3.40	38.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	11,162,798	762,895	4,295,277	6,867,521	-	2.60	39.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	33,143,678	1,979,610	11,390,241	21,753,437	-	1.70	41.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	49,429,129	2,726,113	15,571,806	33,857,323	-	2.00	42.3.25	財務省理財局

種 類	発 行 年 月 日	発 行 総 額	償 還 高		未償還高 残 高	発 行 価 額	利 率	償 還 終 期	備 考
			当 年 度	累 計					
	平	円	円	円	円	円	年 %	平	
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	68,907,970	2,564,195	14,506,417	54,401,553	-	2.40	48.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	36,433,539	1,277,536	7,279,793	29,153,746	-	2.10	49.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	37,000,000	1,251,124	6,568,717	30,431,283	-	2.10	50.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（美和分）	25.4.1	36,840,000	6,140,000	36,840,000	0	-	1.47	31.3.25	㈱山口銀行
簡易水道事業（由西分）	25.4.1	4,082,236	260,566	1,488,375	2,593,861	-	2.00	40.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（由西分）	25.4.1	101,768,968	6,078,472	34,974,185	66,794,783	-	1.70	41.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（由西分）	25.4.1	51,772,436	2,855,351	16,310,027	35,462,409	-	2.00	42.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（由西分）	25.4.1	16,191,721	654,454	3,738,301	12,453,420	-	2.00	47.3.25	財務省理財局
上水道事業	26.3.25	351,000,000	10,147,719	49,448,854	301,551,146	-	1.30	56.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	22,033,518	1,107,737	5,314,359	16,719,159	-	2.10	44.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	2,730,213	137,220	673,943	2,056,270	-	0.90	45.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	10,202,094	886,303	4,112,071	6,090,023	-	3.85	37.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	17,410,359	1,370,019	6,410,710	10,999,649	-	3.40	38.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	23,023,197	1,674,009	7,953,892	15,069,305	-	2.60	39.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	10,298,289	697,643	3,353,436	6,944,853	-	2.00	40.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	2,670,044	96,679	463,815	2,206,229	-	2.10	49.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	8,700,000	292,871	292,871	8,407,129	-	1.40	55.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.4.1	886,221	30,433	146,003	740,218	-	2.10	50.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（本郷分）	26.7.18	22,700,000	0	0	22,700,000	-	1.40	56.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（南桑分）	27.4.1	19,199,002	2,336,579	8,766,008	10,432,994	-	4.40	35.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（南桑分）	27.4.1	2,000,000	67,327	67,327	1,932,673	-	1.40	55.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（南桑分）	27.4.1	10,900,000	0	0	10,900,000	-	1.40	56.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（河山分）	27.4.1	15,789,498	1,671,214	6,278,676	9,510,822	-	4.30	36.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（河山分）	27.4.1	21,461,916	2,014,765	7,617,927	13,843,989	-	3.85	37.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（河山分）	27.4.1	2,152,491	113,697	448,726	1,703,765	-	0.90	45.3.25	財務省理財局
上水道事業	28.3.25	291,400,000	9,117,026	27,215,058	264,184,942	-	0.50	58.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	7,798,572	653,909	1,912,126	5,886,446	-	2.60	39.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	1,896,917	147,094	432,643	1,464,274	-	2.00	40.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	18,319,093	1,314,264	3,876,980	14,442,113	-	1.70	41.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	86,418,777	5,625,889	16,547,294	69,871,483	-	2.00	42.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	102,387,526	5,926,901	17,432,655	84,954,871	-	2.00	43.9.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	13,668,619	747,058	2,214,627	11,453,992	-	1.20	45.3.1	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	11,107,607	565,159	1,665,545	9,442,062	-	1.80	45.9.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	9,612,857	448,486	1,317,835	8,295,022	-	2.10	46.9.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	15,422,586	701,984	2,064,730	13,357,856	-	2.00	47.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	9,375,825	388,302	1,137,662	8,238,163	-	2.40	48.3.25	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	8,982,903	348,733	1,024,719	7,958,184	-	2.10	49.9.1	財務省理財局
簡易水道事業（錦分）	28.4.1	10,693,192	392,244	1,152,573	9,540,619	-	2.10	50.9.1	財務省理財局
上水道事業	28.7.26	381,300,000	9,366,549	28,071,579	353,228,421	-	0.10	68.3.25	財務省理財局
上水道事業	29.9.25	553,600,000	12,079,913	18,088,289	535,511,711	-	0.70	69.9.1	財務省理財局
上水道事業	30.3.26	761,500,000	16,558,473	16,558,473	744,941,527	-	0.70	70.3.1	財務省理財局
上水道事業	31.3.25	692,400,000	0	0	692,400,000	-	0.60	71.3.1	財務省理財局
合 計		8,034,863,894	296,336,172	2,166,103,733	5,868,760,161				

3 年度別収益費用明細書比較

科目	平 成 27 年 度		平 成 28 年 度	
	金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
水道事業収益	2,130,017,924	100.00	2,252,368,275	100.00
営業収益	1,808,555,595	84.91	1,853,963,660	82.31
給水収益	1,792,500,195	84.15	1,838,346,260	81.62
受託工事収益	0	0.00	0	0.00
その他営業収益	16,055,400	0.75	15,617,400	0.69
営業外収益	321,461,933	15.09	397,952,243	17.67
受取利息及び配当金	1,040,416	0.05	781,121	0.03
他会計補助金	21,053,832	0.99	22,250,330	0.99
長期前受金戻入	124,518,661	5.85	126,418,917	5.61
雑収益	174,849,024	8.21	248,501,875	11.03
特別利益	396	0.00	452,372	0.02
固定資産売却益	0	0.00	1,397	0.00
過年度損益修正益	396	0.00	450,975	0.02
水道事業費用	1,873,901,538	100.00	1,874,570,267	100.00
営業費用	1,792,960,317	95.68	1,792,841,919	95.64
原水及び浄水費	442,824,569	23.63	426,963,825	22.78
配水費	134,952,091	7.20	107,075,759	5.71
給水費	224,919,874	12.00	242,688,074	12.95
受託工事費	0	0.00	0	0.00
業務費	144,407,209	7.71	144,961,495	7.73
総係費	299,272,363	15.97	313,410,612	16.72
減価償却費	539,436,255	28.79	549,398,540	29.31
資産減耗費	7,147,956	0.38	8,343,614	0.45
営業外費用	80,791,013	4.31	81,480,763	4.35
支払利息及び企業債取扱諸費	77,090,840	4.11	77,157,626	4.12
雑支出	3,700,173	0.20	4,323,137	0.23
特別損失	150,208	0.01	247,585	0.01
固定資産売却損	91,630	0.00	0	0.00
過年度損益修正損	58,578	0.00	247,585	0.01
当年度純利益	256,116,386	-	377,798,008	-

平成 29 年 度		平成 30 年 度		すう勢比率 (27年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	28年度	29年度	30年度	
2,167,640,576	100.00	2,178,168,976	100.00	105.7	101.8	102.3	
1,841,786,815	84.97	1,850,682,755	84.97	102.5	101.8	102.3	
1,826,085,515	84.24	1,835,189,755	84.25	102.6	101.9	102.4	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
15,701,300	0.72	15,493,000	0.71	97.3	97.8	96.5	
325,850,499	15.03	326,871,097	15.01	123.8	101.4	101.7	
493,518	0.02	427,344	0.02	75.1	47.4	41.1	
18,783,045	0.87	17,128,492	0.79	105.7	89.2	81.4	
133,381,813	6.15	138,648,798	6.37	101.5	107.1	111.3	
173,192,123	7.99	170,666,463	7.84	142.1	99.1	97.6	
3,262	0.00	615,124	0.03	114,235.4	823.7	155,334.3	
3,262	0.00	0	0.00	-	-	-	
0	0.00	615,124	0.03	113,882.6	0.0	155,334.3	
1,911,726,648	100.00	1,962,286,074	100.00	100.0	102.0	104.7	
1,833,492,901	95.91	1,886,653,282	96.15	100.0	102.3	105.2	
453,503,165	23.72	493,742,974	25.16	96.4	102.4	111.5	
108,750,084	5.69	134,966,679	6.88	79.3	80.6	100.0	
242,511,996	12.69	253,307,671	12.91	107.9	107.8	112.6	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
135,269,043	7.08	137,986,565	7.03	100.4	93.7	95.6	
328,819,989	17.20	294,766,770	15.02	104.7	109.9	98.5	
551,134,347	28.83	568,506,796	28.97	101.8	102.2	105.4	
13,504,277	0.71	3,375,827	0.17	116.7	188.9	47.2	
78,084,563	4.08	75,400,269	3.84	100.9	96.7	93.3	
75,128,037	3.93	74,962,169	3.82	100.1	97.5	97.2	
2,956,526	0.15	438,100	0.02	116.8	79.9	11.8	
149,184	0.01	232,523	0.01	164.8	99.3	154.8	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
149,184	0.01	232,523	0.01	422.7	254.7	396.9	
255,913,928	-	215,882,902	-	147.5	99.9	84.3	

4 年度別貸借対照表比較

(1) 資産の部

科目	年度	平成 27 年 度		平成 28 年 度	
		金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
固定資産		14,975,269,481	87.24	16,692,719,377	87.48
有形固定資産		14,970,904,947	87.22	16,688,364,653	87.45
土地		964,365,020	5.62	979,925,046	5.14
立木		-	-	-	-
建物		267,559,304	1.56	254,976,331	1.34
建物附属設備		18,802,577	0.11	14,517,480	0.08
構築物		10,175,298,467	59.28	10,976,026,853	57.52
機械及び装置		1,659,344,730	9.67	1,569,154,305	8.22
車両運搬具		5,304,845	0.03	6,302,461	0.03
工具、器具及び備品		15,866,660	0.09	15,029,262	0.08
その他有形固定資産		8,019,278	0.05	8,019,278	0.04
建設仮勘定		1,856,344,066	10.81	2,864,413,637	15.01
無形固定資産		4,364,534	0.03	4,354,724	0.02
電話加入権		4,276,244	0.02	4,276,244	0.02
商標権		88,290	0.00	78,480	0.00
流動資産		2,190,216,543	12.76	2,389,596,359	12.52
現金・預金		1,669,269,396	9.72	1,467,272,412	7.69
未収金		515,225,930	3.00	914,838,434	4.79
貯蔵品		4,355,816	0.03	6,113,325	0.03
前払金		316,000	0.00	316,000	0.00
前払費用		849,401	0.00	856,188	0.00
その他流動資産		200,000	0.00	200,000	0.00
資産合計		17,165,486,024	100.00	19,082,315,736	100.00

平成 29 年 度		平成 30 年 度		すう勢比率 (27年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	28年度	29年度	30年度	
18,110,533,805	88.09	18,766,951,012	86.79	111.5	120.9	125.3	
18,106,188,891	88.07	18,762,615,908	86.77	111.5	120.9	125.3	
1,003,903,881	4.88	1,034,098,932	4.78	101.6	104.1	107.2	
-	-	-	-	-	-	-	
242,557,745	1.18	230,362,333	1.07	95.3	90.7	86.1	
11,362,882	0.06	14,611,369	0.07	77.2	60.4	77.7	
11,821,248,613	57.50	11,634,353,654	53.80	107.9	116.2	114.3	
1,565,103,061	7.61	1,430,757,402	6.62	94.6	94.3	86.2	
5,708,030	0.03	3,988,291	0.02	118.8	107.6	75.2	
16,030,707	0.08	36,557,662	0.17	94.7	101.0	230.4	
8,019,278	0.04	8,019,278	0.04	100.0	100.0	100.0	
3,432,254,694	16.69	4,369,866,987	20.21	154.3	184.9	235.4	
4,344,914	0.02	4,335,104	0.02	99.8	99.6	99.3	
4,276,244	0.02	4,276,244	0.02	100.0	100.0	100.0	
68,670	0.00	58,860	0.00	88.9	77.8	66.7	
2,448,910,355	11.91	2,856,846,089	13.21	109.1	111.8	130.4	
1,321,806,845	6.43	2,452,714,063	11.34	87.9	79.2	146.9	
1,119,709,672	5.45	397,687,509	1.84	177.6	217.3	77.2	
6,003,925	0.03	5,073,490	0.02	140.3	137.8	116.5	
316,000	0.00	316,000	0.00	100.0	100.0	100.0	
873,913	0.00	855,027	0.00	100.8	102.9	100.7	
200,000	0.00	200,000	0.00	100.0	100.0	100.0	
20,559,444,160	100.00	21,623,797,101	100.00	111.2	119.8	126.0	

(2) 負債・資本の部

科目	年度	平成 27 年 度		平成 28 年 度	
		金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
固定負債		4,426,676,543	25.79	5,020,739,613	26.31
企業債		4,111,246,997	23.95	4,685,504,709	24.55
引当金		315,429,546	1.84	335,234,904	1.76
流動負債		745,086,355	4.34	731,959,758	3.84
企業債		239,941,922	1.40	265,383,810	1.39
未払金		430,213,783	2.51	361,882,544	1.90
未払費用		21,565,883	0.13	20,098,833	0.11
前受金		59,002	0.00	40,668	0.00
引当金		45,518,000	0.27	46,495,000	0.24
その他流動負債		7,787,765	0.05	38,058,903	0.20
繰延収益		3,658,646,819	21.31	4,062,650,791	21.29
長期前受金		3,104,373,699	18.08	3,333,636,502	17.47
建設仮勘定長期前受金		554,273,120	3.23	729,014,289	3.82
資本金		7,050,834,471	41.08	7,727,570,305	40.50
資本金		7,050,834,471	41.08	7,727,570,305	40.50
剰余金		1,284,241,836	7.48	1,539,395,269	8.07
資本剰余金		274,434,600	1.60	274,434,600	1.44
工事負担金		6,189,175	0.04	6,189,175	0.03
受贈財産評価額		149,013,199	0.87	149,013,199	0.78
国庫補助金		104,711,395	0.61	104,711,395	0.55
その他資本剰余金		14,520,831	0.08	14,520,831	0.08
利益剰余金		1,009,807,236	5.88	1,264,960,669	6.63
建設改良積立金		503,504,279	2.93	534,601,422	2.80
当年度未処分利益剰余金		506,302,957	2.95	730,359,247	3.83
負債・資本合計		17,165,486,024	100.00	19,082,315,736	100.00

平成 29 年 度		平成 30 年 度		すう勢比率 (27年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	28年度	29年度	30年度	
5,564,644,693	27.07	6,016,864,444	27.83	113.4	125.7	135.9	
5,176,360,161	25.18	5,574,178,732	25.78	114.0	125.9	135.6	
388,284,532	1.89	442,685,712	2.05	106.3	123.1	140.3	
763,760,191	3.71	1,151,042,755	5.32	98.2	102.5	154.5	
296,336,172	1.44	294,581,429	1.36	110.6	123.5	122.8	
391,881,887	1.91	777,043,179	3.59	84.1	91.1	180.6	
21,927,653	0.11	21,113,062	0.10	93.2	101.7	97.9	
160,668	0.00	0	0.00	68.9	272.3	0.0	
48,753,000	0.24	51,172,000	0.24	102.1	107.1	112.4	
4,700,811	0.02	7,133,085	0.03	488.7	60.4	91.6	
4,339,251,983	21.11	4,273,489,425	19.76	111.0	118.6	116.8	
3,615,528,453	17.59	4,137,845,356	19.14	107.4	116.5	133.3	
723,723,530	3.52	135,644,069	0.63	131.5	130.6	24.5	
8,265,367,672	40.20	8,590,482,181	39.73	109.6	117.2	121.8	
8,265,367,672	40.20	8,590,482,181	39.73	109.6	117.2	121.8	
1,626,419,621	7.91	1,591,918,296	7.36	119.9	126.6	124.0	
274,447,881	1.33	274,447,881	1.27	100.0	100.0	100.0	
6,189,175	0.03	6,189,175	0.03	100.0	100.0	100.0	
149,026,480	0.72	149,026,480	0.69	100.0	100.0	100.0	
104,711,395	0.51	104,711,395	0.48	100.0	100.0	100.0	
14,520,831	0.07	14,520,831	0.07	100.0	100.0	100.0	
1,351,971,740	6.58	1,317,470,415	6.09	125.3	133.9	130.5	
684,217,195	3.33	684,217,195	3.16	106.2	135.9	135.9	
667,754,545	3.25	633,253,220	2.93	144.3	131.9	125.1	
20,559,444,160	100.00	21,623,797,101	100.00	111.2	119.8	126.0	

5 経営分析

(1) 施設効率

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
有 収 率	%	91.4	91.8	90.6	90.8
施 設 利 用 率	%	48.2	48.4	48.6	48.3
最 大 稼 働 率	%	55.6	57.7	54.8	55.4
負 荷 率	%	86.6	83.8	88.7	87.1
配 水 管 使 用 効 率	m ³ /m	18.3	17.6	17.6	17.4
固 定 資 産 使 用 効 率	m ³ /万円	10.5	9.5	8.8	8.4

(2) 生産性

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
職 員 1 人 当 たり 給 水 人 口	人	1,977	2,320	1,915	1,873
職 員 1 人 当 たり 給 水 量	m ³	246,796	291,912	240,915	235,461
職 員 1 人 当 たり 営 業 収 益	千円	31,182	37,079	30,696	30,339
有 収 水 量 1m ³ 当 たり 供 給 単 価	円・銭	125.23	125.95	126.33	127.77
有 収 水 量 1m ³ 当 たり 給 水 原 価	円・銭	122.20	119.76	123.02	126.95
給 水 量 10,000m ³ 当 たり 職 員 数	人	15	13	15	16
料 金 徴 収 委 託 率	%	100	100	100	100

算 式	説 明
$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$	総配水量に対する料金収入となった水量の割合を示す。高いほど良好で、低下すれば配水施設の更新等が必要となる。
$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	水道施設の経済性を総合的に判断する指標。大きいほど効率的とされる。
$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	水道施設の利用率と投資の適正化を判断する指標。大きいほど良好だが、100%に近づきすぎると配水能力のアップが必要となる。
$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	施設効率を判断する指標。大きいほど効率的とされる。水道事業は季節的な需要変動があり、需要のピーク時に合わせた施設であるため、需要変動が大きいほど施設の効率が悪くなり、負荷率が小となる。
$\frac{\text{年間配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	配水管が効率的に使用されているかを示す指標。大きいほど良好とされるが、給水区域の人口密度によって影響を受けるため、一般的に人口密度が高いほど数値が高くなる。
$\frac{\text{年間配水量}}{\text{有形固定資産}}$	有形固定資産に着目して施設の効率性を判断する指標。大きいほど良好とされる。

算 式	説 明
$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	職員数が適正であるかを判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性（職員1人当たりの生産性）を判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性（職員1人当たりの売上高）を判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりどれだけの収益を得ているかを示す。
$\frac{\text{年間経費－受託工事費}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりどれだけの費用がかかっているかを示す。
$\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{年間有収水量(1万m}^3\text{)} \div 365}$	事業規模に対する職員数が適正か判断する指標。小さいほど良好とされる。
$\frac{\text{徴収委託数}}{\text{全徴収件数}} \times 100$	料金徴収における委託の割合を示す。 平成25年度から料金徴収業務を民間委託している。

(3) 構成比率

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
固 定 資 産 構 成 比 率	%	87.2	87.5	88.1	86.8
流 動 資 産 構 成 比 率	%	12.8	12.3	11.9	13.2
固 定 負 債 構 成 比 率	%	25.8	26.3	27.1	27.8
自 己 資 本 構 成 比 率	%	69.9	69.9	69.2	66.9

(4) 財務比率

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
固定資産対長期資本比率	%	91.2	91.0	91.5	91.7
固 定 比 率	%	124.9	125.2	127.3	129.8
流 動 比 率	%	294.0	326.5	320.6	248.2
酸 性 試 験 比 率	%	293.2	325.4	319.7	247.6
現 金 比 率	%	224.0	200.5	173.1	213.1

(5) 回転率

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
自 己 資 本 回 転 率	回	0.2	0.1	0.1	0.1
固 定 資 産 回 転 率	回	0.1	0.1	0.1	0.1
流 動 資 産 回 転 率	回	0.8	0.8	0.8	0.7
未 収 金 回 転 率	回	3.6	2.6	1.8	2.4

(6) 収益率等

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総 収 支 比 率	%	113.7	120.2	113.4	111.0
営 業 収 支 比 率	%	100.9	103.4	100.5	98.1
利 子 負 担 率	%	1.8	1.6	1.4	1.3

※説明中の矢印は、大小どちらの方が良いかを示す

算 式	説 明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	↓ 総資産に対する固定資産の占める割合を示し、大であれば、資本が固定化の傾向にある。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	↑ 総資産に対する流動資産の占める割合を示し、大であれば、流動性は良好である。
$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	↓ 総資本に対する固定負債の占める割合を示し、小であるほど経営の安全性は大きい。
$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	↑ 総資本に対する自己資本の占める割合を示し、大であるほど経営の安全性は大きい。

算 式	説 明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100$	↓ 自己資本と固定負債の範囲内で固定資産の調達をすべきとの立場から、100%以下が好ましい。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	↓ 固定資産は自己資本によってまかなわれるべきとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 短期債務に対して応ずべき流動資産が十分あるかどうかを示し、理想比は200%以上といわれている。
$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比とされている。
$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 現金預金のみによる流動資産の支払能力を測定するもので、20%以上が理想比とされている。

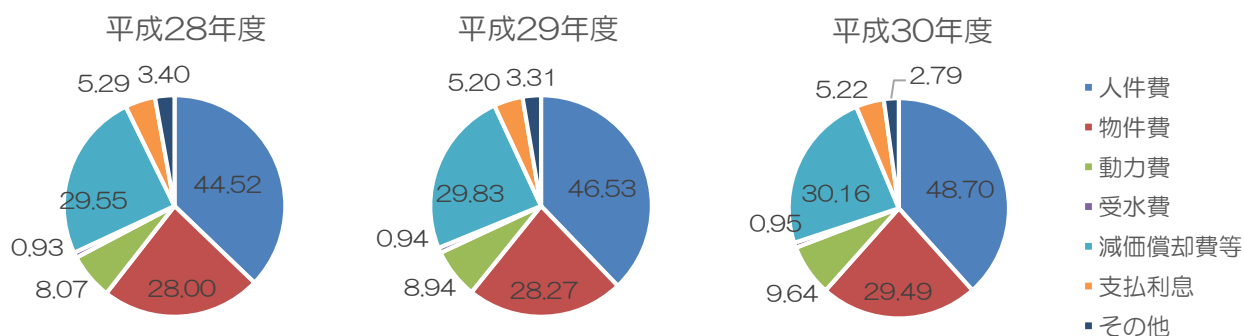
算 式	説 明
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$	↑ 自己資本の活動能力を示し、比率が高いほど資本の回収が早い。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$	↑ この回転率が低いことは、固定資産への投資が過大であり、固定資産の利用度が少ないことを示す。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産})/2}$	↑ 短期資産の活動能力を示し、比率が高いほど収益の回収が早く、健全性は大きい。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$	↑ 未収金の回収速度を示し、高いほど回転が速く、未回収のまま残留する期間が短いことを示す。

算 式	説 明
$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	↑ 企業活動の能率を示し、比率が高いほど経営状態は良好であり、100%以下は赤字である。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	↑ 営業収益とそれに要した営業費用を対比することにより、営業活動の能率を示し、大きいほど良好である。
$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{長期借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$	↓ 負債に対する支払利息の割合を示す。

(7) 給水原価の性質別構成内容

(単位：円/銭)

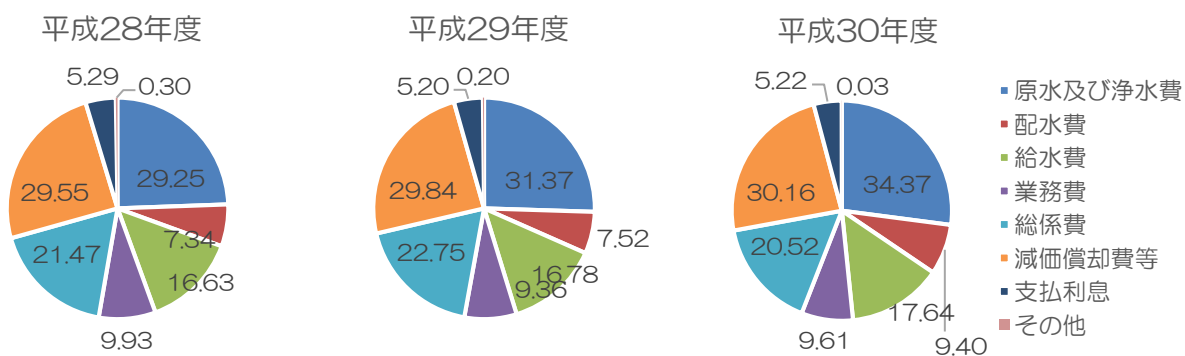
区 分	平 成 28 年 度	平 成 29 年 度	平 成 30 年 度
人 件 費	44.52	46.53	48.70
物 件 費	28.00	28.27	29.49
動 力 費	8.07	8.94	9.64
受 水 費	0.93	0.94	0.95
減価償却費等	29.55	29.83	30.16
支 払 利 息	5.29	5.20	5.22
そ の 他	3.40	3.31	2.79
計	119.76	123.02	126.95



(8) 給水原価の部門別構成内容

(単位：円/銭)

区 分	平 成 28 年 度	平 成 29 年 度	平 成 30 年 度
原水及び浄水費	29.25	31.37	34.37
配 水 費	7.34	7.52	9.40
給 水 費	16.63	16.78	17.64
業 務 費	9.93	9.36	9.61
総 係 費	21.47	22.75	20.52
減価償却費等	29.55	29.84	30.16
支 払 利 息	5.29	5.20	5.22
そ の 他	0.30	0.20	0.03
計	119.76	123.02	126.95



工業用水道事業

(Ⅰ) 概 要

(Ⅱ) 施 設

(Ⅲ) 業 務

(Ⅳ) 財 政

the 1990s, the incidence of *S. flexneri* has increased in the United Kingdom [10]. In the United States, *S. flexneri* has been reported as the most common serotype in children with acute bacterial dysentery [11].

There is a paucity of data on the epidemiology of *S. flexneri* in the United Kingdom. In the 1970s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [12]. In the 1980s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [13].

In the 1990s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [14]. In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [15].

In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [16]. In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [17].

In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [18]. In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [19].

In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [20]. In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [21].

In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [22]. In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [23].

In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [24]. In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [25].

In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [26]. In the 2000s, *S. flexneri* was the most commonly isolated serotype from patients with acute bacterial dysentery in the United Kingdom [27].

（Ⅰ）概 要

- | | | |
|---|------------|---------|
| 1 | 工業用水道事業の沿革 | ・・・ 109 |
| 2 | 工業用水道事業の歩み | ・・・ 110 |
| 3 | 平成30年度事業概況 | ・・・ 112 |
| 4 | 写真で見る概要 | ・・・ 112 |
| 5 | 施設概要 | ・・・ 112 |

1 工業用水道事業の沿革

昭和40年代に入り岩国市の産業誘致政策の一環として、本市南部通津地区の海面を埋め立て、工場敷地を造成することになり、旭化成(株)をはじめ数社の進出が決定していた。

これらの工場に工場用水を給水するため、工業用水道布設事業として昭和45年10月に着工、昭和49年3月に完成し、同年10月より旭化成(株)・旧モラルコ(株)の二つの企業に給水を開始した。

その後、岩国市三角町三丁目地内の岩国市第二工場より工業用水道の給水申し込みがあり、第一次拡張事業として配水池から門前町三丁目の国道手前までの配水管布設工事を水道局発注で昭和52年3月に完成した。また、門前町三丁目の国道から三角町三丁目の同工場までの配水管を岩国市の発注で昭和54年3月に完成し、同年4月より給水を開始した。以降、中国電力(株)をはじめとして数社に給水し12企業・工場となった。

平成10年6月、上水道事業の水利権変更に伴い工業用水道事業の水利権も30,070m³から28,570m³に変更した。また、平成12年8月から老朽化した工業用水道ポンプ室の取水施設整備事業に着手し、平成14年2月に完成した。

平成12年11月4日の県道拡幅工事、平成13年3月24日の芸予地震による配水管漏水事故がそれぞれに発生したが、工業用水を利用している各企業の理解を得て、半日程度の断水で修理工事を完了し、送水を再開した。

平成16年7月、(株)岩国ウッドパワーの進出に伴い、旭化成建材(株)の保有分を12,500m³/日から11,708m³/日に変更し、(株)岩国ウッドパワーに792m³/日の給水を許可し、本稼働となる平成17年10月からは1,100m³/日の給水を許可した。

平成18年7月、日本製紙クレシア(株)の基本使用水量の変更を行い、8,000m³/日から6,000m³/日とした。

平成20年4月、山口県住宅供給公社の給水を中止した。

平成21年1月、昭和48年に布設されたφ600mm配水管にて漏水事故が発生し、断水となったが、各企業の協力のもと約2週間の復旧工事を経て、送水を再開した。

平成21年4月、岩国市第二工場の岩国市みすみクリーンセンターへの名称変更と同時に1,000m³/日に変更した。

平成25年1月、日本製紙クレシア(株)が生産設備を停止したため、基本使用水量を6,000m³/日から100m³/日へと大幅に減量した。

平成25年3月、愛宕山まちづくり安全協議会の事業終了に伴い、給水を廃止した。

平成26年1月、(株)竹中に100m³/日の給水を許可し、同年3月末で給水を廃止した。

平成28年4月、中国電力(株)の基本使用水量が2,000m³/日から1,800m³/日に減量となり、同年5月、新たに大和ハウス工業(株)に100m³/日の給水を開始した。

平成29年度から漏水事故が多発したが、各企業の協力のもと断水を伴う修理工事を行った。

平成31年1月から3月にかけて保津町と通津で補強更生工事を行った。

今後、老朽化している施設更新の必要があるため、あらゆる可能性を模索しつつ現有資産を最大限有効活用しながら、健全な事業運営を目指したい。

2 工業用水道事業の歩み

年	月	事 項
S44年	9月	工業用水道事業認可申請
S45年	9月	工業用水道事業認可
	10月	工業用水道事業起工
S49年	3月	工業用水道事業完成
	8月	工業用水道通水開始（旭化成(株)・旧モラルコ(株)）
S51年	4月	岩国市第一工場給水開始
	12月	工業用水道第1次拡張事業認可申請
	12月	工業用水道第1次拡張事業起工（設計を含む）
S52年	3月	工業用水道第1次拡張事業認可
S53年	1月	工業用水道料金改定
S54年	4月	岩国市第二工場給水開始
	9月	中国電力(株)給水開始
S60年	4月	工業用水道料金改定
H元年	7月	前川原水源地高圧水中ポンプ改修工事着工
H2年	3月	前川原水源地高圧水中ポンプ改修工事完成
H4年	4月	東洋自動機(株)給水開始
	6月	朝日鉄工(株)給水開始
	7月	大邦工業(株)給水開始
H5年	1月	旭興産(株)給水開始
	11月	(株)クレシア給水開始
H9年	10月	平田五丁目工業用水道配水管移設工事着工
	10月	藤生町三丁目工業用水道配水管移設工事着工
H10年	6月	水利権変更許可申請（28,570m ³ ）山口県より許可
	9月	平田五丁目工業用水道配水管移設工事完成
	10月	藤生町三丁目工業用水道配水管移設工事完成
H12年	2月	平田五丁目工業用水道配水管移設工事完成
	2月	山口県住宅供給公社給水開始
	8月	取水施設整備事業着工
	11月	県道拡幅工事に起因する配水管漏水事故
H13年	3月	芸予地震発生国道188号線陥没による配水管漏水事故
H14年	2月	取水施設整備事業完成
H16年	7月	(株)岩国ウッドパワー給水開始
H19年	6月	牛野谷町三丁目送水管、配水管移設工事完成
H20年	3月	牛野谷町三丁目送水管移設工事完成
	3月	取水ポンプ取替工事完成
	4月	山口県住宅供給公社給水中止
	11月	門前町三丁目配水管移設工事完成
H21年	1月	φ600配水管漏水事故
	4月	岩国市みすみクリーンセンター（旧第二工場）基本使用水量変更
H23年	2月	山口県住宅供給公社給水廃止
	6月	愛宕山まちづくり安全協議会給水開始
	7月	日本製紙クレシア(株)基本使用水量変更
H24年	7月	(株)ミツウロコ岩国発電所（旧(株)岩国ウッドパワー）社名変更
H25年	1月	日本製紙クレシア(株)基本使用水量変更（生産設備停止）
	3月	南岩国町四丁目工業用水道配水管布設替工事完成
	3月	愛宕山まちづくり安全協議会給水廃止
H26年	1月	(株)竹中給水開始
	3月	南岩国町四丁目工業用水道配水管連結工事完成
	3月	(株)竹中給水廃止
H28年	5月	大和ハウス工業(株)給水開始

3 平成30年度事業概況

平成30年度の基本使用水量は、中国電力株式会社が平成30年4月に日量1,800m³から日量1,500m³に減量したため、日量1万6,458m³となりました。

また、漏水の早期発見に努め、安定供給を図るため、全管路を対象に漏水調査を行っています。

建設改良事業は、通津及び保津町の配水管漏水を解消するための配水管更生工事等を7,770万6,000円で施工しました。

4 写真で見る概要



水源（錦川伏流水 集水埋管で取水）



給水先 通津沖工業団地

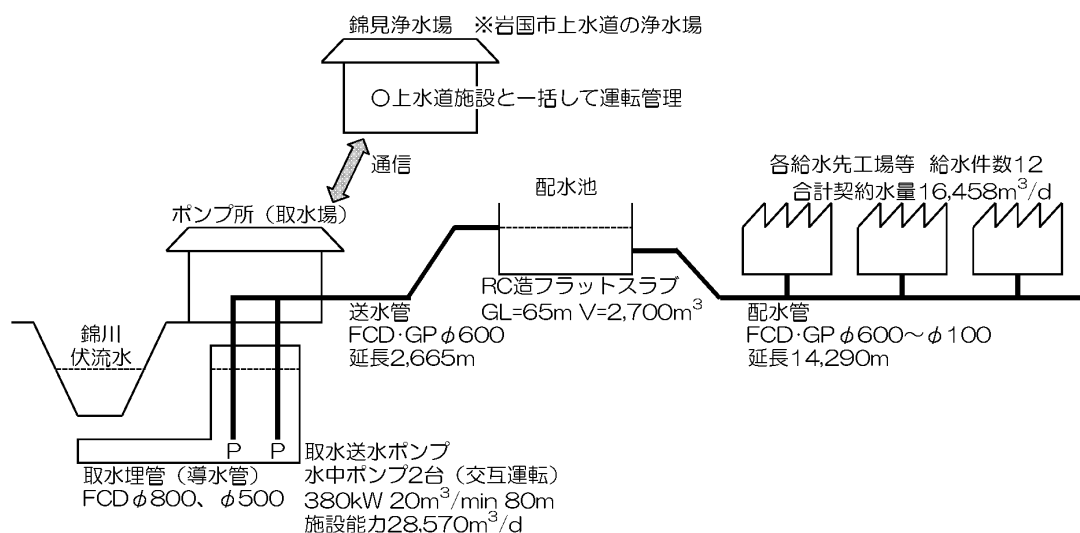


給水先 中国電力(株)岩国発電所



給水先 岩国市第一工場

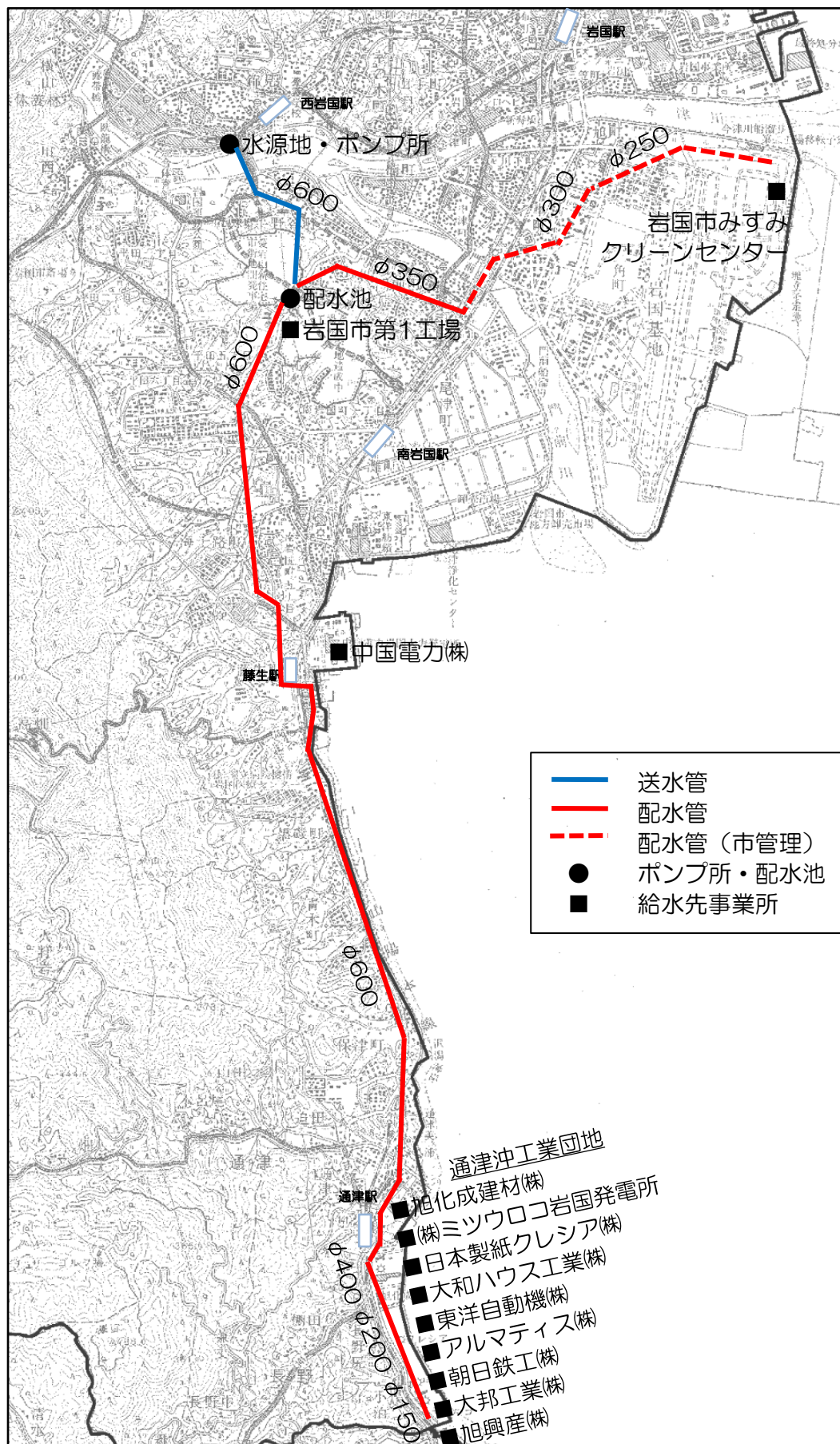
5 施設概要



（Ⅱ）施 設

- | | | | |
|---|----------------|-----|-----|
| 1 | 各施設及び給水先事業所位置図 | ・・・ | 113 |
| 2 | 工業用水道施設 | ・・・ | 114 |
| 3 | 工業用水道管路施設 | ・・・ | 114 |
| 4 | 施設写真 | ・・・ | 114 |

1 各施設及び給水先事業所位置図



2 工業用水道施設

ポンプ所	岩国市錦見7-31-7	337.42m ²	
配水池	岩国市平田5-92	644.00m ²	施設能力 28,570m ³ /日
導水管	FCD φ800 φ500	総延長 200m	
送水ポンプ	水中モーターポンプ	380kw Q=20.0m ³ /分 H=80.0m	2台
送水管	FCD・GP φ600	総延長2,665m	
配水池	RC造フラットスラブ	GL=65.00m	
	幅27.85m 長23.10m 高4.20m	有効容量2,700m ³	
配水管	FCD・GP φ600~φ100	総延長14,290m	

3 工業用水道管路施設

(単位：m)

	管 種	口径 (mm)	H27 年度末	H28 年度末	H29 年度末	H30	
						年度末	増 減
送水管	鋳鉄管	600	2,298	2,298	2,298	2,298	0
	鋼管	600	367	367	367	367	0
	合 計		2,665	2,665	2,665	2,665	0
配水管	鋳鉄管	600	9,990	9,990	9,990	9,990	0
		400	1,155	1,155	1,155	1,155	0
		350	2,277	2,277	2,277	2,277	0
		200	578	578	578	578	0
		150	240	240	240	240	0
		100	4	4	4	4	0
	鋼管	600	46	46	46	46	0
	合 計		14,290	14,290	14,290	14,290	0

4 施設写真



ポンプ所外観



送水ポンプ室



配水池



愛宕橋添架送水管

（Ⅲ）業 務

1	給水普及状況	・ ・ ・ 115
2	配水量	・ ・ ・ 116
3	基本使用（契約）水量	・ ・ ・ 117
4	工業用水道料金	・ ・ ・ 117
5	職員構成	・ ・ ・ 118
6	建設改良工事等	・ ・ ・ 118

1 給水普及状況

(1) 給水先事業所数及び配水量

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H29 年度 比較	
					増 減	比 率
給水先事業所数(箇所)	11	12	12	12	0	100.0%
1日基本使用水量(m ³)	16,858	16,758	16,758	16,458	△ 300	98.2%
年間総配水量(m ³)	1,848,480	1,775,196	1,821,475	1,822,082	607	100.0%
1日最大配水量(m ³)	9,016	7,358	8,584	7,811	△ 773	91.0%
1日最小配水量(m ³)	1,873	2,581	2,454	562	△ 1,892	22.9%
1日平均配水量(m ³)	5,050	4,864	4,990	4,992	2	100.0%

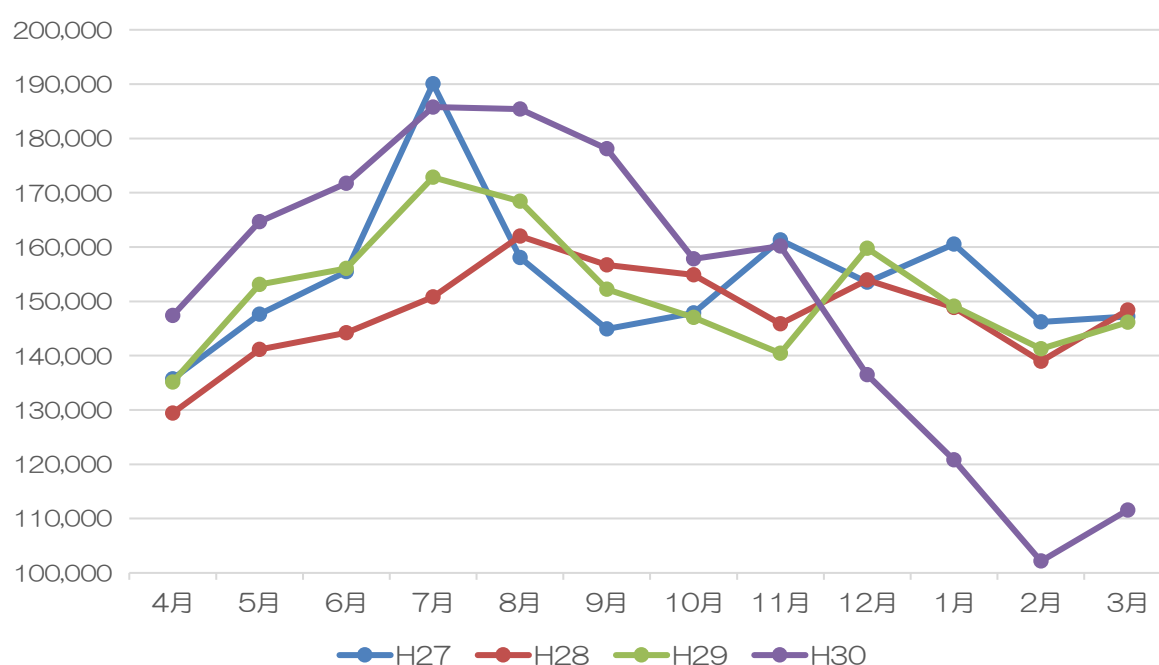
(2) 給水状況

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	(単位：m ³) H29 年度 比較	
					増 減	比 率
旭化成建材株式会社	1,044,319	988,121	966,693	909,556	△ 57,137	94.1%
アルマティス株式会社	14,217	15,779	15,544	14,791	△ 753	95.2%
岩 国 市 第 一 工 場	80,929	79,044	78,237	60,035	△ 18,202	76.7%
岩国市みすみリ-ソ-タ-	125,386	162,697	166,418	157,153	△ 9,265	94.4%
中国電力株式会社	343,123	283,974	281,096	175,659	△ 105,437	62.5%
朝日鉄工株式会社	1,148	1,454	2,226	1,314	△ 912	59.0%
旭興産株式会社	5,473	3,715	3,435	3,085	△ 350	89.8%
大邦工業株式会社	213	259	381	358	△ 23	94.0%
東洋自動機株式会社	6,296	6,054	6,561	7,350	789	112.0%
日本製紙クレ-ア株式会社	10,540	5,625	21,386	18,772	△ 2,614	87.8%
株式会社ミヅウ岩国発電所	216,254	225,552	216,039	217,758	1,719	100.8%
大和ハウス工業株式会社	-	1,373	110	51	△ 59	46.4%
計	1,847,898	1,773,647	1,758,126	1,565,882	△ 192,244	89.1%

2 配水量

年度別配水量

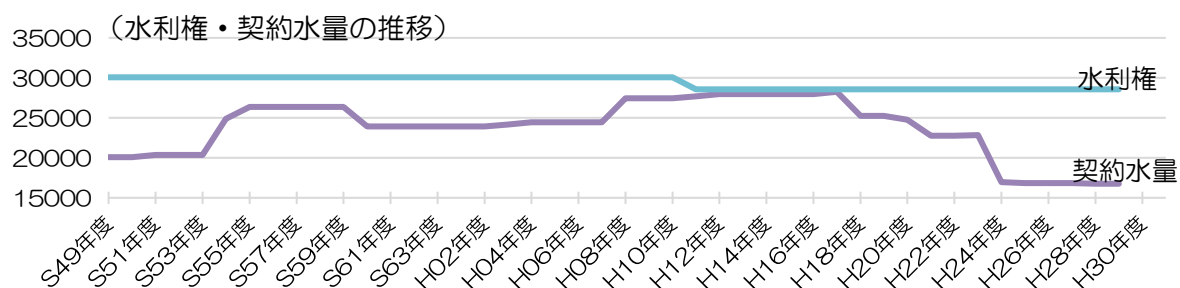
	H27 年 度	H28 年 度	H29 年 度	H30 年 度	H29 年 度 比 較	
					増 減	比 率
4月	135,723	129,427	135,155	147,415	12,260	109.1%
5月	147,649	141,170	153,086	164,659	11,573	107.6%
6月	155,439	144,233	156,065	171,746	15,681	110.0%
7月	190,053	150,832	172,833	185,776	12,943	107.5%
8月	158,025	162,000	168,427	185,421	16,994	110.1%
9月	144,941	156,681	152,197	178,081	25,884	117.0%
10月	147,867	154,882	147,039	157,825	10,786	107.3%
11月	161,292	145,882	140,440	160,187	19,747	114.1%
12月	153,488	153,912	159,754	136,474	△ 23,280	85.4%
1月	160,558	148,836	149,076	120,801	△ 28,275	81.0%
2月	146,212	138,957	141,257	102,159	△ 39,098	72.3%
3月	147,233	148,384	146,145	111,538	△ 34,607	76.3%
計	1,848,480	1,775,196	1,821,474	1,822,082	608	100.0%
平 均	154,040	147,933	151,790	151,840	51	100.0%



3 基本使用（契約）水量

給水契約事業所名	契約水量(m ³ /日)	備 考 (数値の単位はm ³ /日)
旭化成建材(株)	11,708	20,000(S49.8)→17,576(S60.4)→15,876(H4.4)→12,500(H5.11)→11,708(H16.7)
アルマテイス(株)	100	100(S49.9) 旧名称 モラルコ(株)→アルコアケミカルズ(株)
岩国市第一工場	500	266(S51.4)→500(H3.4)
岩国市みすみクリーンセンター	1,000	4,000(S54.4)→3,000(H18.4)→1,000(H21.4) 旧名称 第二工場
中国電力(株)	1,500	500(S54.9)→2,000(S55.8)→1,800(H28.4)→1,500(H30.4)
朝日鉄工(株)	100	100(H4.6)
旭興産(株)	100	100(H5.1)
大邦工業(株)	50	50(H4.7)
東洋自動機(株)	100	1,700(H4.4)→100(H8.7)
日本製紙クレシア(株)	100	3,376(H5.11)→8,000(H8.7)→6,000(H18.7)→100(H25.1) 旧名称 (株)クレシア
愛宕山まちづくり安全協議会	廃止	100(H23.6)→廃止(H25.3)
山口県住宅供給公社	廃止	250(H12.2)→1,100(H12.4)→500(H13.1)→中止(H20.4)→廃止(H23.2)
(株)ミツウロコ 岩国発電所	1,100	792(H16.7)→1,100(H17.10) 旧名称 (株)岩国ウッドパワー
大和ハウス工業(株)	100	100(H28.5)
(株)竹中	廃止	100(H26.1)→廃止(H26.3)

水利権	28,570	30,070(S49.8)→28,570(H10.6)
-----	--------	-----------------------------



4 工業用水道料金

工業用水道料金改定表

※消費税及び地方消費税は別途加算

種 別	S49.8.1～	S53.1.1～	S60.4.1～
基本料金 (1m ³ につき)	9円00銭	16円50銭	20円20銭
特定料金 (1m ³ につき)	9円00銭	16円50銭	20円20銭
超過料金 (1m ³ につき)	18円00銭	33円00銭	40円40銭

特定料金・・・基本使用水量を超える給水を受けることを事前に管理者に申し込んで給水を受けた場合の料金

超過料金・・・基本使用水量を超える給水を受けることを事前に管理者に申し込まずに給水を受けた場合の料金

5 職員構成

(1) 職員定数および実数

(単位：人)

	定 数	H29年度末	H30年度末	増 減
主 事	10	1	1	0
技 師		6	5	-1
小 計	10	7	6	-1
臨 時 職 員	-	0	0	0
合 計	10	7	6	-1

(2) 年齢別職員構成表

(単位：人)

年 齢	主 事	技 師	合 計
25 歳 未 満	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
25 歳 以 上 35 歳 未 満	0 (0.00%)	3 (50.00%)	3 (50.00%)
35 歳 以 上 45 歳 未 満	0 (0.00%)	2 (33.33%)	2 (33.33%)
45 歳 以 上 55 歳 未 満	1 (16.67%)	0 (0.00%)	1 (16.67%)
55 歳 以 上	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
計	1 (16.67%)	5 (83.33%)	6 (100.00%)
平 均 年 齢	50歳 9月	35歳 9月	38歳 4月

(3) 勤続年数別職員構成表

(単位：人)

年 数	主 事	技 師	合 計
5 年 未 満	0 (0.00%)	1 (16.67%)	1 (16.67%)
5 年 以 上 10 年 未 満	0 (0.00%)	2 (33.33%)	2 (33.33%)
10 年 以 上 15 年 未 満	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
15 年 以 上 20 年 未 満	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)
20 年 以 上	1 (16.67%)	2 (33.33%)	3 (50.00%)
計	1 (16.67%)	5 (83.33%)	6 (100.00%)
平 均 勤 続 年 数	32年 0月	12年 0月	15年 3月

6 建設改良工事等

改良工事

工 事 名	工 事 内 容	工事費 (円)	着工／完成
保津町二丁目工業用水道配水管 CIPφ600漏水修理に伴う仮設 工事	仮設管 ステンレス管 φ400 40m	29,700,000	H30.10.2 H30.12.28

工 事 名	工 事 内 容	工事費（円）	着工／完成
保津町二丁目工業用水道配水管 CIPφ600更生工事	鋳鉄管φ600 7m 内面ライニング 更生工事一式	38,934,000	H30.12.25 H31.3.29
通津工業用水道配水管 SP600A修理工事（中町橋）	鋼管補強工事一式	9,072,000	H30.12.27 H31.3.25

(Ⅳ) 財 政

1	平成30年度財政概況	・ ・ ・ 121
2	決算報告書	・ ・ ・ 122
3	年度別収益費用明細書比較	・ ・ ・ 132
4	年度別貸借対照表比較	・ ・ ・ 134
5	経営分析	・ ・ ・ 138

1 平成30年度財政概況

収益的収支では、収入額1億2,825万1,875円に対し、支出額1億773万1,655円で、差引き2,052万220円の純利益となりました。

資本的収支では、収入はなく、支出額7,770万6,000円で、差引き7,700万6,000円の不足となりましたが、これは当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額575万6,000円及び過年度分損益勘定留保資金7,195万円で補填しました。

また、当年度末処分利益剰余金は4,818万2,164円となりましたが、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき、建設改良積立金に2,000万円を積み立てる予定のため、翌年度繰越利益剰余金は2,818万2,164円となります。

2 決算報告書

(1) 収入及び支出

収益的収入

区 分	予 算 額		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
第1款 工業用水道事業収益	138,824,000	252,000	-
第1項 営業収益	131,552,000	-	-
第2項 営業外収益	7,222,000	252,000	-
第3項 特別利益	50,000	-	-

収益的支出

区 分	予 算 額					小 計
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	
第1款 工業用水道事業費用	130,195,000	△ 4,031,000	0	0	-	126,164,000
第1項 営業費用	122,089,000	2,788,000	-	△ 634,100	-	124,242,900
第2項 営業外費用	7,056,000	△ 6,819,000	1,000,000	634,100	-	1,871,100
第3項 特別損失	50,000	-	-	-	-	50,000
第4項 予備費	1,000,000	-	△ 1,000,000	-	-	0

資本的収入

区 分	予 算 額			地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	
第1款 資本的収入	-	-	-	-
第1項 工事負担金	-	-	-	-

資本的支出

区 分	予 算 額						合 計
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	流 用 増 減 額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費 通次繰 越額	
第1款 資本的支出	0	90,600,000	-	90,600,000	-	-	90,600,000
第1項 建設改良費	0	90,600,000	-	90,600,000	-	-	90,600,000

(単位：円)

合 計	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
139,076,000	138,330,074	△ 745,926	
131,552,000	131,052,364	△ 499,636	うち、仮受消費税9,707,535円
7,474,000	7,273,096	△ 200,904	うち、仮受消費税370,840円
50,000	4,614	△ 45,386	

地方公営企業法 第26条第2項の 規定による繰越 額	合 計	決 算 額	地方公営企 業法26条第 2項の規定に よる繰越額	不 用 額	備 考
-	126,164,000	112,053,854	-	14,110,146	
-	124,242,900	110,182,754	-	14,060,146	うち、仮払消費税2,451,099円
-	1,871,100	1,871,100	-	0	
-	50,000	0	-	50,000	
-	0	0	-	0	

継続費通 次繰越額	合 計	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
-	-	-	-	
-	-	-	-	

決 算 額	翌 年 度 繰 越 額			不 用 額	備 考
	地方公営企業 法第26条の 規定による繰 越額	継続費 通次繰 越額	合 計		
77,706,000	-	-	-	12,894,000	
77,706,000	-	-	-	12,894,000	うち、仮払消費税5,756,000円

資本的収入額が資本的支出額に不足する額77,706,000円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,756,000円及び過年度分損益勘定留保資金71,950,000円で補填した。

(2) 損益計算書（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

1	営業収益			(単位：円)
	(1)給水収益	<u>121,344,829</u>	121,344,829	
2	営業費用			
	(1)原水及び配水費	64,256,681		
	(2)総係費	12,268,922		
	(3)減価償却費	<u>31,206,052</u>	<u>107,731,655</u>	
	営業利益			13,613,174
3	営業外収益			
	(1)受取利息及び配当金	63,726		
	(2)他会計補助金	922,000		
	(3)長期前受金戻入	1,281,030		
	(4)雑収益	<u>4,635,676</u>	<u>6,902,432</u>	<u>6,902,432</u>
	経営利益			20,515,606
4	特別利益			
	(1)過年度損益修正益	<u>4,614</u>	<u>4,614</u>	<u>4,614</u>
	当年度純利益			20,520,220
	前年度繰越利益剰余金			<u>27,661,944</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>48,182,164</u></u>

(3) 剰余金処分計算書

(単位：円)

	資 本 金	未 処 分 利 益 剰 余 金
当 年 度 末 残 高	839,892,529	48,182,164
議 会 の 議 決 に よ る 処 分 額	0	△ 20,000,000
建 設 改 良 積 立 金 の 積 立	0	△ 20,000,000
処 分 後 残 高	839,892,529	(繰越利益剰余金) 28,182,164

(4) 剰余金計算書（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

	資本金	剰 利
		益
		利益積立金
前 年 度 末 残 高	828,653,295	13,409,650
前 年 度 処 分 額	11,239,234	0
議会の議決による処分額	11,239,234	0
建設改良積立金の積立	0	0
資本金への組入れ	11,239,234	0
処 分 後 残 高	839,892,529	13,409,650
当 年 度 変 動 額	0	0
当 年 度 純 利 益	0	0
当 年 度 末 残 高	839,892,529	13,409,650

(単位：円)

余 金			資 本 合 計
建設改良 積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余金合計	
189,616,689	48,901,178	251,927,517	1,080,580,812
10,000,000	△ 21,239,234	△ 11,239,234	0
10,000,000	△ 21,239,234	△ 11,239,234	0
10,000,000	△ 10,000,000	0	0
0	△ 11,239,234	△ 11,239,234	0
199,616,689	(繰越利益剰余金) 27,661,944	240,688,283	1,080,580,812
0	20,520,220	20,520,220	20,520,220
0	20,520,220	20,520,220	20,520,220
199,616,689	(当年度未処分利益剰余金) 48,182,164	261,208,503	1,101,101,032

(5) 貸借対照表（平成31年3月31日）

資産の部

（単位：円）

1 固定資産

(1)有形固定資産

ア 土地		17,457,297
イ 建物	34,259,394	
減価償却累計額	<u>△ 14,152,551</u>	20,106,843
ウ 建物附属設備	4,122,885	
減価償却累計額	<u>△ 3,916,742</u>	206,143
エ 構築物	1,057,134,147	
減価償却累計額	<u>△ 752,030,098</u>	305,104,049
オ 機械及び装置	625,257,030	
減価償却累計額	<u>△ 509,572,861</u>	115,684,169
カ 車両運搬具	810,000	
減価償却累計額	<u>△ 769,500</u>	40,500
キ 工具、器具及び備品	5,877,100	
減価償却累計額	<u>△ 5,583,245</u>	293,855
ク 建設仮勘定		<u>17,300,000</u>

有形固定資産合計

476,192,856

固定資産合計

476,192,856

2 流動資産

(1)現金・預金

742,970,445

(2)未収金

14,820,553

(3)貯蔵品

56,646

(4)前払費用

15,340

流動資産合計

757,862,984

資産合計

1,234,055,840

負債の部

3 固定負債

(1)引当金

ア 修繕引当金

10,000,000

イ 退職給付引当金

21,472,907

31,472,907

固定負債合計

31,472,907

4 流動負債

(1)未払金

50,759,167

(2)未払費用

209,436

(3)引当金

ア 賞与等引当金

3,638,000

3,638,000

(4)その他流動負債

155,256

流動負債合計

54,761,859

5 繰延収益

(1)長期前受金

61,083,508

長期前受金収益化累計額

△ 14,363,466

46,720,042

繰延収益合計

46,720,042

負債合計

132,954,808

資本の部

6 資本金

(1)資本金

839,892,529

7 剰余金

(1)利益剰余金

ア 利益積立金

13,409,650

イ 建設改良積立金

199,616,689

ウ 当年度末処分利益剰余金

48,182,164

利益剰余金合計

261,208,503

剰余金合計

261,208,503

資本合計

1,101,101,032

負債資本合計

1,234,055,840

(6) 固定資産明細書

有形固定資産明細書

資 産 の 種 類	年度当初の 現 在 高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土 地	17,457,297	0	0	17,457,297
建 物	34,259,394	0	0	34,259,394
建 物 附 属 設 備	4,122,885	0	0	4,122,885
構 築 物	985,184,147	71,950,000	0	1,057,134,147
機 械 及 び 装 置	625,257,030	0	0	625,257,030
車 両 運 搬 具	810,000	0	0	810,000
工 具、器 具 及 び 備 品	5,877,100	0	0	5,877,100
建 設 仮 勘 定	17,300,000	71,950,000	71,950,000	17,300,000
計	1,690,267,853	143,900,000	71,950,000	1,762,217,853

(単位：円)

減価償却累計額	年度末償却未済高	備考
当年度増加額	当年度減少額	累 計
-	-	-
832,503	0	14,152,551
0	0	3,916,742
7,512,283	0	752,030,098
22,861,266	0	509,572,861
0	0	769,500
0	0	5,583,245
-	-	-
31,206,052	0	1,286,024,997

3 年度別収益費用明細書比較

科目	平 成 27 年 度		平 成 28 年 度	
	金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
工業用水道事業収益	136,427,219	100.00	135,002,474	100.00
営業収益	125,321,361	91.86	123,467,849	91.46
給水収益	125,321,361	91.86	123,467,849	91.46
受託工事収益	0	0.00	0	0.00
営業外収益	11,095,744	8.13	11,311,764	8.38
受取利息及び配当金	200,208	0.15	164,651	0.12
他会計補助金	728,000	0.53	1,008,000	0.75
長期前受金戻入	3,270,609	2.40	3,270,609	2.42
雑収益	6,896,927	5.06	6,868,504	5.09
特別利益	10,114	0.01	222,861	0.17
過年度損益修正益	10,114	0.01	222,861	0.17
その他特別利益	0	0.00	0	0.00
工業用水道事業費用	119,820,515	100.00	113,707,462	100.00
営業費用	119,067,269	99.37	113,275,673	99.62
原水及び配水費	61,629,429	51.43	56,555,338	49.74
受託工事費	0	0.00	0	0.00
総係費	14,544,463	12.14	14,486,798	12.74
減価償却費	42,545,935	35.51	42,233,537	37.14
資産減耗費	347,442	0.29	0	0.00
営業外費用	753,246	0.63	427,402	0.38
支払利息及び企業債取扱諸費	752,579	0.63	427,188	0.38
雑支出	667	0.00	214	0.00
特別損失	0	0.00	4,387	0.00
過年度損益修正損	0	0.00	4,387	0.00
固定資産売却損	0	0.00	0	0.00
当年度純利益	16,606,704	-	21,295,012	-

平成 29 年 度		平成 30 年 度		すう勢比率 (27年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	27年度	28年度	29年度	
132,254,271	100.00	128,251,875	100.00	99.0	96.9	94.0	
			0.00				
123,564,809	93.43	121,344,829	94.61	98.5	98.6	96.8	
123,564,809	93.43	121,344,829	94.61	98.5	98.6	96.8	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
8,688,229	6.57	6,902,432	5.38	101.9	78.3	62.2	
114,994	0.09	63,726	0.05	82.2	57.4	31.8	
656,000	0.50	922,000	0.72	138.5	90.1	126.6	
3,270,609	2.47	1,281,030	1.00	100.0	100.0	39.2	
4,646,626	3.51	4,635,676	3.61	99.6	67.4	67.2	
1,233	0.00	4,614	0.00	2,203.5	12.2	45.6	
1,233	0.00	4,614	0.00	2,203.5	12.2	45.6	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
124,961,604	100.00	107,731,655	84.00	94.9	104.3	89.9	
124,826,554	99.89	107,731,655	84.00	95.1	104.8	90.5	
71,359,884	57.11	64,256,681	50.10	91.8	115.8	104.3	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
11,864,541	9.49	12,268,922	9.57	99.6	81.6	84.4	
41,602,129	33.29	31,206,052	24.33	99.3	97.8	73.3	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
135,050	0.11	0	0.00	56.7	17.9	0.0	
135,050	0.11	0	0.00	56.8	17.9	0.0	
0	0.00	0	0.00	32.1	0.0	0.0	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
0	0.00	0	0.00	-	-	-	
7,292,667	-	20,520,220	-	128.2	43.9	123.6	

4 年度別貸借対照表比較

(1) 資産の部

科目	年度	平成 27 年 度		平成 28 年 度	
		金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
固定資産		471,584,574	39.82	446,651,037	37.61
有形固定資産		471,584,574	39.82	446,651,037	37.61
土地		17,457,297	1.47	17,457,297	1.47
建物		22,604,352	1.91	21,771,849	1.83
建物附属設備		694,299	0.06	449,400	0.04
構築物		279,993,365	23.64	260,026,559	21.90
機械及び装置		150,475,327	12.71	129,310,381	10.89
車両運搬具		66,079	0.01	41,696	0.00
工具、器具及び備品		293,855	0.02	293,855	0.02
建設仮勘定		0	0.00	17,300,000	1.46
流動資産		712,624,112	60.18	740,816,258	62.39
現金・預金		699,516,902	59.07	727,504,861	61.27
未収金		13,034,414	1.10	13,238,601	1.11
貯蔵品		56,646	0.00	56,646	0.00
前払費用		16,150	0.00	16,150	0.00
資産合計		1,184,208,686	100.00	1,187,467,295	100.00

平 成 29 年 度		平 成 30 年 度		すう勢比率（27年度=100）			備考
金額（円）	比率（％）	金額（円）	比率（％）	28年度	29年度	30年度	
435,448,908	36.19	476,192,856	38.59	94.7	92.3	101.0	
435,448,908	36.19	476,192,856	38.59	94.7	92.3	101.0	
17,457,297	1.45	17,457,297	1.41	100.0	100.0	100.0	
20,939,346	1.74	20,106,843	1.63	96.3	92.6	89.0	
206,143	0.02	206,143	0.02	64.7	29.7	29.7	
240,666,332	20.00	305,104,049	24.72	92.9	86.0	109.0	
138,545,435	11.51	115,684,169	9.37	85.9	92.1	76.9	
40,500	0.00	40,500	0.00	63.1	61.3	61.3	
293,855	0.02	293,855	0.02	100.0	100.0	100.0	
17,300,000	1.44	17,300,000	1.40	-	-	-	
767,828,884	63.81	757,862,984	61.41	104.0	107.7	106.3	
755,160,847	62.76	742,970,445	60.21	104.0	108.0	106.2	
12,595,241	1.05	14,820,553	1.20	101.6	96.6	113.7	
56,646	0.00	56,646	0.00	100.0	100.0	100.0	
16,150	0.00	15,340	0.00	100.0	100.0	95.0	
1,203,277,792	100.00	1,234,055,840	100.00	100.3	101.6	104.2	

(2) 負債・資本の部

科目	年度	平成 27 年 度		平成 28 年 度	
		金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)
固定負債		46,312,141	3.91	27,872,907	2.35
企業債		11,239,234	0.95	-	-
引当金		35,072,907	2.96	27,872,907	2.35
流動負債		31,361,122	2.65	35,034,562	2.95
企業債		20,233,270	1.71	11,239,234	0.95
未払金		7,047,687	0.60	19,721,064	1.66
未払費用		270,728	0.02	125,696	0.01
引当金		3,582,000	0.30	3,767,000	0.32
その他流動負債		227,437	0.02	181,568	0.02
繰延収益		54,542,290	4.61	51,271,681	4.32
長期前受金		54,542,290	4.61	51,271,681	4.32
資本金		788,512,146	66.59	808,420,025	68.08
資本金		788,512,146	66.59	808,420,025	68.08
剰余金		263,480,987	22.25	264,868,120	22.31
利益剰余金		263,480,987	22.25	264,868,120	22.31
減債積立金		31,472,504	2.66	11,239,234	0.95
利益積立金		13,409,650	1.13	13,409,650	1.13
建設改良積立金		119,616,689	10.10	139,616,689	11.76
当年度未処分利益剰余金		98,982,144	8.36	100,602,547	8.47
負債・資本合計		1,184,208,686	100.00	1,187,467,295	100.00

平成 29 年 度		平成 30 年 度		すう勢比率 (27年度=100)			備考
金額 (円)	比率 (%)	金額 (円)	比率 (%)	28年度	29年度	30年度	
32,672,907	2.72	31,472,907	2.55	60.2	70.5	68.0	
-	-	-	-	-	-	-	
32,672,907	2.72	31,472,907	2.55	79.5	93.2	89.7	
42,023,001	3.49	54,761,859	4.44	111.7	134.0	174.6	
-	-	-	-	55.5	-	-	
35,042,540	2.91	50,759,167	4.11	279.8	497.2	720.2	
260,905	0.02	209,436	0.02	46.4	96.4	77.4	
6,536,500	0.54	3,638,000	0.29	105.2	182.5	101.6	
183,056	0.02	155,256	0.01	79.8	80.5	68.3	
48,001,072	3.99	46,720,042	3.79	94.0	88.0	85.7	
48,001,072	3.99	46,720,042	3.79	94.0	88.0	85.7	
828,653,295	68.87	839,892,529	68.06	102.5	105.1	106.5	
828,653,295	68.87	839,892,529	68.06	102.5	105.1	106.5	
251,927,517	20.94	261,208,503	21.17	100.5	95.6	99.1	
251,927,517	20.94	261,208,503	21.17	100.5	95.6	99.1	
-	-	-	-	35.7	-	-	
13,409,650	1.11	13,409,650	1.09	100.0	100.0	100.0	
189,616,689	15.76	199,616,689	16.18	116.7	158.5	166.9	
48,901,178	4.06	48,182,164	3.90	101.6	49.4	48.7	
1,203,277,792	100.00	1,234,055,840	100.00	100.3	101.6	104.2	

5 経営分析

(1) 施設効率

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
有 収 率	%	99.97	99.91	96.52	85.94
施 設 利 用 率	%	17.7	17.0	17.5	17.5

(2) 生産性

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
職 員 1 人 当 た り 配 水 量	m ³	231,060	253,599	260,211	303,680
職 員 1 人 当 た り 営 業 収 益	千円	15,665	17,638	17,652	20,224
有 収 水 量 1m ³ 当 た り 供 給 単 価	円・銭	67.82	69.61	70.28	77.49
有 収 水 量 1m ³ 当 た り 給 水 原 価	円・銭	63.07	62.26	69.22	67.98

算 式	説 明
$\frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100$	総配水量に対する料金収入となった水量の割合を示す。高いほど良好で、低下すれば配水施設の更新等が必要となる。
$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	水道施設の経済性を総合的に判断する指標。大きいほど効率的とされる。

算 式	説 明
$\frac{\text{年間配水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性（職員1人当たりの生産性）を判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	労働生産性（職員1人当たりの売上高）を判断する指標。大きいほど良好とされる。
$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりどれだけの収益を得ているかを示す。
$\frac{\text{年間経費－受託工事費}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりどれだけの費用がかかっているかを示す。

(3) 構成比率

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
固 定 資 産 構 成 比 率	%	39.8	37.6	36.2	38.6
流 動 資 産 構 成 比 率	%	60.2	62.4	63.8	61.4
固 定 負 債 構 成 比 率	%	3.9	2.3	2.7	2.6
自 己 資 本 構 成 比 率	%	93.4	94.7	93.8	93.0

(4) 財務比率

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
固定資産対長期資本比率	%	40.9	38.8	37.5	40.4
固 定 比 率	%	42.6	39.7	38.6	41.5
流 動 比 率	%	2272.3	2114.5	1827.2	1383.9
酸 性 試 験 比 率	%	2272.1	2114.3	1827.0	1383.8
現 金 比 率	%	2230.5	2076.5	1797.0	1356.7

(5) 回転率

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
自 己 資 本 回 転 率	回	0.1	0.1	0.1	0.1
固 定 資 産 回 転 率	回	0.3	0.3	0.3	0.3
流 動 資 産 回 転 率	回	0.2	0.2	0.2	0.2
未 収 金 回 転 率	回	9.8	9.4	9.6	8.9

(6) 収益率等

項 目	単 位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
総 収 支 比 率	%	112.5	113.9	105.8	119.0
営 業 収 支 比 率	%	107.5	105.3	99.0	112.6
利 子 負 担 率	%	2.1	2.4	0.0	0.0

※説明中の矢印は、大小どちらの方が良いかを示す

算 式	説 明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}} \times 100$	↓ 総資産に対する固定資産の占める割合を示し、大であれば、資本が固定化の傾向にある。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}} \times 100$	↑ 総資産に対する流動資産の占める割合を示し、大であれば、流動性は良好である。
$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	↓ 総資本に対する固定負債の占める割合を示し、小であるほど経営の安全性は大きい。
$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$	↑ 総資本に対する自己資本の占める割合を示し、大であるほど経営の安全性は大きい。

算 式	説 明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本} + \text{固定負債}} \times 100$	↓ 自己資本と固定負債の範囲内で固定資産の調達をすべきとの立場から、100%以下が好ましい。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本}} \times 100$	↓ 固定資産は自己資本によってまかなわれるべきとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 短期債務に対して応ずべき流動資産が十分あるかどうかを示し、理想比は200%以上といわれている。
$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 当座資産と流動負債とを対比させたもので、100%以上が理想比とされている。
$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	↑ 現金預金のみによる流動資産の支払能力を測定するもので、20%以上が理想比とされている。

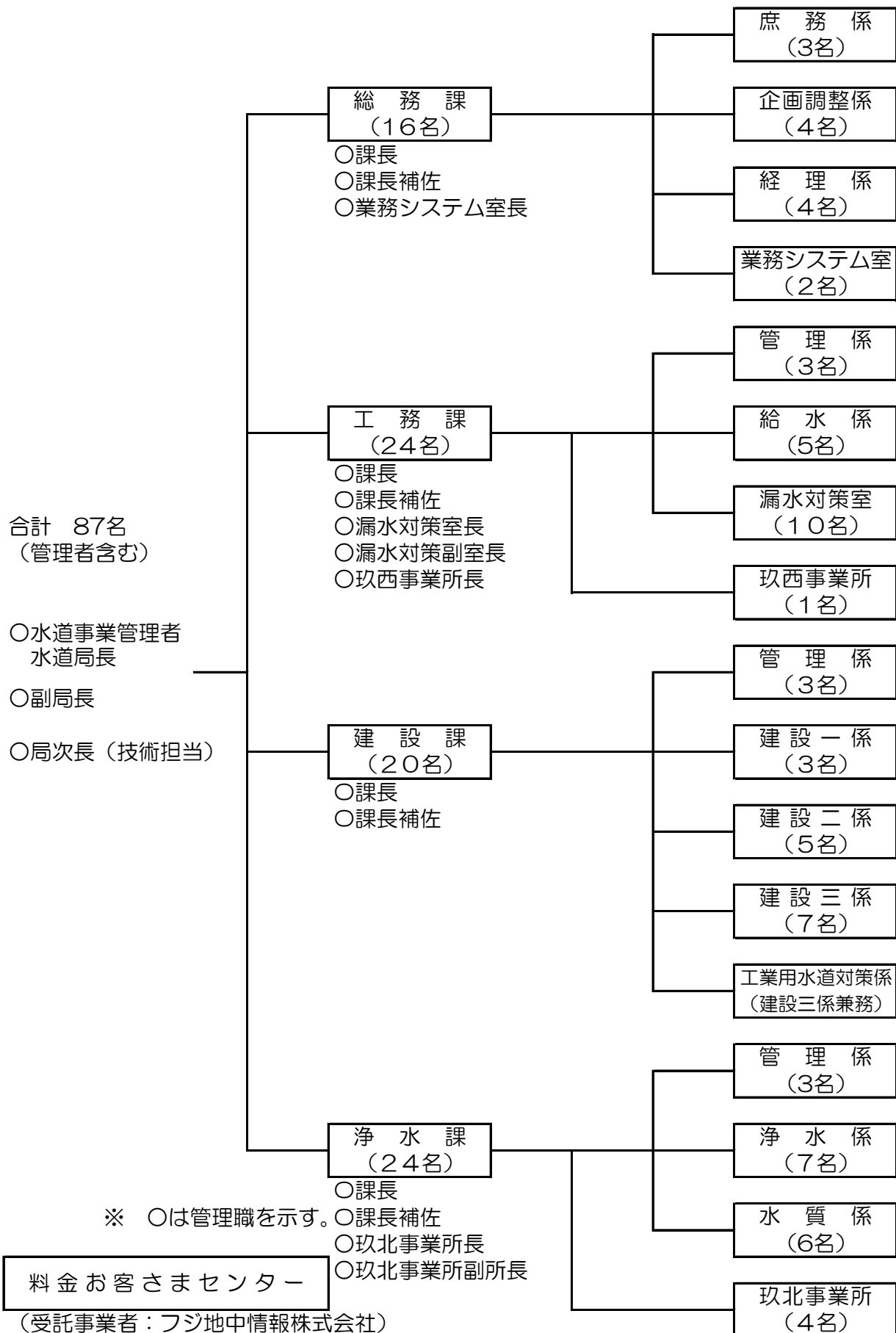
算 式	説 明
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$	↑ 自己資本の活動能力を示し、比率が高いほど資本の回収が早い。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$	↑ この回転率が低いことは、固定資産への投資が過大であり、固定資産の利用度が少ないことを示す。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産})/2}$	↑ 短期資産の活動能力を示し、比率が高いほど収益の回収が早く、健全性は大きい。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$	↑ 未収金の回収速度を示し、高いほど回転が速く、未回収のまま残留する期間が短いことを示す。

算 式	説 明
$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	↑ 企業活動の能率を示し、比率が高いほど経営状態は良好であり、100%以下は赤字である。
$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	↑ 営業収益とそれに要した営業費用を対比することにより、営業活動の能率を示し、大きいほど良好である。
$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{企業債} + \text{長期借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$	↓ 負債に対する支払利息の割合を示す。

そ の 他

1 水道局の機構	・ ・ ・ 143
2 職員構成	・ ・ ・ 144
3 事務分掌	・ ・ ・ 146
4 防災関係	・ ・ ・ 152

1 水道局の機構（平成31年4月1日現在）



2 職員構成

(1) 年齢別職員構成表

(単位：人)

年度	年 齢	主 事	技 師	合 計
平成27年度	25 歳 未 満	4 (4.71%)	1 (1.18%)	5 (5.88%)
	25 歳 以 上 35 歳 未 満	10 (11.76%)	8 (9.41%)	18 (21.18%)
	35 歳 以 上 45 歳 未 満	15 (17.65%)	16 (18.82%)	31 (36.47%)
	45 歳 以 上 55 歳 未 満	11 (12.94%)	7 (8.24%)	18 (21.18%)
	55 歳 以 上	2 (2.35%)	11 (12.94%)	13 (15.29%)
	合 計	42 (49.41%)	43 (50.59%)	85 (100.00%)
平成28年度	25 歳 未 満	4 (4.71%)	0 (0.00%)	4 (4.71%)
	25 歳 以 上 35 歳 未 満	12 (14.12%)	10 (11.76%)	22 (25.88%)
	35 歳 以 上 45 歳 未 満	12 (14.12%)	15 (17.65%)	27 (31.76%)
	45 歳 以 上 55 歳 未 満	13 (15.29%)	8 (9.41%)	21 (24.71%)
	55 歳 以 上	3 (3.53%)	8 (9.41%)	11 (12.94%)
	合 計	44 (51.76%)	41 (47.67%)	85 (100.00%)
平成29年度	25 歳 未 満	4 (4.65%)	1 (1.16%)	5 (5.81%)
	25 歳 以 上 35 歳 未 満	12 (13.95%)	9 (10.47%)	21 (24.42%)
	35 歳 以 上 45 歳 未 満	11 (12.79%)	12 (13.95%)	23 (26.74%)
	45 歳 以 上 55 歳 未 満	14 (16.28%)	11 (12.79%)	25 (29.07%)
	55 歳 以 上	4 (4.65%)	8 (9.30%)	12 (13.95%)
	合 計	45 (52.33%)	41 (47.67%)	86 (100.00%)
平成30年度	25 歳 未 満	2 (2.35%)	1 (1.18%)	3 (3.53%)
	25 歳 以 上 35 歳 未 満	12 (14.12%)	10 (11.76%)	22 (25.88%)
	35 歳 以 上 45 歳 未 満	12 (14.12%)	9 (10.59%)	21 (24.71%)
	45 歳 以 上 55 歳 未 満	15 (17.65%)	14 (16.47%)	29 (34.12%)
	55 歳 以 上	3 (3.53%)	7 (8.24%)	10 (11.76%)
	合 計	44 (51.76%)	41 (48.24%)	85 (100.00%)

(2) 勤続年数別職員構成表

(単位：人)

年度	年数	主 事	技 師	合 計
平成 27 年度	5 年 未 満	3 (3.53%)	4 (4.71%)	7 (8.24%)
	5 年 以 上 10 年 未 満	9 (10.59%)	2 (2.35%)	11 (12.94%)
	10 年 以 上 15 年 未 満	4 (4.71%)	5 (5.88%)	9 (10.59%)
	15 年 以 上 20 年 未 満	7 (8.24%)	5 (5.88%)	12 (14.12%)
	20 年 以 上	21 (24.71%)	25 (29.41%)	46 (54.12%)
	合 計	44 (51.76%)	41 (48.24%)	85 (100.00%)
平成 28 年度	5 年 未 満	4 (4.65%)	5 (5.81%)	9 (10.47%)
	5 年 以 上 10 年 未 満	7 (8.14%)	2 (2.33%)	9 (10.47%)
	10 年 以 上 15 年 未 満	6 (6.98%)	5 (5.81%)	11 (12.79%)
	15 年 以 上 20 年 未 満	4 (4.65%)	0 (0.00%)	4 (4.65%)
	20 年 以 上	24 (27.91%)	29 (33.72%)	53 (61.63%)
	合 計	45 (52.33%)	41 (47.67%)	86 (100.00%)
平成 29 年度	5 年 未 満	4 (4.65%)	5 (5.81%)	9 (10.47%)
	5 年 以 上 10 年 未 満	7 (8.14%)	2 (2.33%)	9 (10.47%)
	10 年 以 上 15 年 未 満	6 (6.98%)	5 (5.81%)	11 (12.79%)
	15 年 以 上 20 年 未 満	4 (4.65%)	0 (0.00%)	4 (4.65%)
	20 年 以 上	24 (27.91%)	29 (33.72%)	53 (61.63%)
	合 計	45 (52.33%)	41 (47.67%)	86 (100.00%)
平成 30 年度	5 年 未 満	3 (3.53%)	5 (5.88%)	8 (9.41%)
	5 年 以 上 10 年 未 満	6 (7.06%)	3 (3.53%)	9 (10.59%)
	10 年 以 上 15 年 未 満	7 (8.24%)	3 (3.53%)	10 (11.76%)
	15 年 以 上 20 年 未 満	3 (3.53%)	2 (2.35%)	5 (5.88%)
	20 年 以 上	25 (29.41%)	28 (32.94%)	53 (62.35%)
	合 計	44 (51.76%)	41 (48.24%)	85 (100.00%)

3 事務分掌（平成31年4月1日現在）

（1）総務課

ア 庶務係

- （ア）文書の受発に関すること。
- （イ）公印に関すること。
- （ウ）条例、規則及び規程に関すること。
- （エ）職員の採用及び任免に関すること。
- （オ）職員の分限、懲戒及び褒賞等身分取扱いに関すること。
- （カ）組織及び機構に関すること。
- （キ）職員の定数及び配置に関すること。
- （ク）職員の初任給、昇格、昇給及び給与に関すること。
- （ケ）源泉徴収及び特別徴収に関すること。
- （コ）児童手当に関すること。
- （サ）公務旅行及び旅費に関すること。
- （シ）労働組合に関すること。
- （ス）労務管理に関すること。
- （セ）公務災害補償に関すること。
- （ソ）市町村職員共済組合に関すること。
- （タ）職員の安全衛生管理に関すること。
- （チ）職員の福利厚生に関すること。
- （ツ）局日誌に関すること。
- （テ）局所管の土地の管理に関すること。
- （ト）庁舎及び構内の管理に関すること。
- （ナ）局内の取締り、管理及び宿日直に関すること。
- （ニ）公舎の維持管理及び入居に関すること。
- （ヌ）局車両の総括管理に関すること。
- （ネ）課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関すること。
- （ノ）課所管の器具備品及び車両の管理に関すること。
- （ハ）課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関すること。
- （ヒ）課主管の入札及び契約に関すること。
- （フ）主管事務に関する文書の整理及び保存に関すること。
- （ヘ）他課及び課内他係に属さないこと。

イ 企画調整係

- （ア）企画に関すること。
- （イ）中長期基本計画の策定に関すること。
- （ウ）行財政改革の策定及び評価に関すること。
- （エ）防災計画及び危機管理に関すること。
- （オ）情報処理システムの構築及び管理運用に関すること。
- （カ）事業年報に関すること。
- （キ）日本水道協会の事務に関すること。
- （ク）局主管の調査及び研究に関すること。
- （ケ）職員の研修に関すること。
- （コ）局内の行事に関すること。
- （サ）局主管の広報及び統計に関すること。
- （シ）建物火災及び自動車損害賠償責任保険の契約に関すること。
- （ス）庁舎建設等に関すること。
- （セ）山手庁舎施設の管理に関すること。
- （ソ）その他総務に関すること。

ウ 経理係

- （ア）予算の編成及び執行並びに決算に関すること。

その他

- (イ) 資金計画及び借入金に関すること。
- (ウ) 企業債及び一時借入金に関すること。
- (エ) 剰余金の処分及び積立金に関すること。
- (オ) 収納取扱金融機関に関すること。
- (カ) 原価計算に関すること。
- (キ) 収入支出主計簿及び関係証拠書類の整理保管に関すること。
- (ク) 財産の取得及び維持管理並びに処分等総合調整に関すること。
- (ケ) 資産の評価及び償却に関すること。
- (コ) 金銭及び諸証券の出納保管に関すること。
- (サ) 財務諸表の作成に関すること。
- (シ) 業務状況の公表及び経理状況の報告に関すること。
- (ス) 不用品の処分に関すること。
- (セ) 資材及び物品の統計に関すること。
- (ソ) 建設業者及び物品納入業者等の指名願に関すること。
- (タ) 建設工事及び物品購入等の指名入札に関すること。
- (チ) 工業用水道事業の前各号経理に関すること。
- (ツ) 工業用水道料金の調定、収納及び還付に関すること。
- (テ) その他工業用水道に関すること。
- (ト) その他総務に関すること。

エ 業務システム室

- (ア) 使用水量の認定に関すること。
- (イ) 水道料金等の調定に関すること。
- (ウ) 水道料金納入通知書等の打ち出しに関すること。
- (エ) 水道料金の収納確認に関すること。
- (オ) 米海兵隊岩国航空基地の使用水量の計量及び水道料金等の請求に関すること。
- (カ) 水道料金の口座振替に関すること。
- (キ) 水道料金の口座振替手数料の支払に関すること。
- (ク) 和木町の水道料金徴収手数料に関すること。
- (ケ) 下水道料金算定資料提供に係る手数料に関すること。
- (コ) 集合住宅及びこれに類するものの諸届の受付処理に関すること。
- (サ) 工業用水道の使用水量の計量に関すること。
- (シ) コンビニエンスストア収納業務委託に関すること。
- (ス) 水道料金の未収及び未還付の年度末処理等に関すること。
- (セ) 水道料金業務システムによる統計に関すること。
- (ソ) 水道料金業務システムの管理運用及び更新等に関すること。
- (タ) 収納取扱金融機関に関すること。
- (チ) 水道料金等徴収業務受託者の指導及び監督に関すること。
- (ツ) 水道料金に係る捜査関係事項照会等に関すること。
- (テ) 室に属する予備部品等の保管に関すること。
- (ト) 主管事務に関する文書の整理及び保存に関すること。
- (二) その他総務に関すること。

(2) 工務課

ア 管理係

- (ア) 課主管の文書の受発に関すること。
- (イ) 課主管の庶務並びに予算の執行及び決算に関すること。
- (ウ) 課専用の公印に関すること。
- (エ) 課主管の入札及び契約に関すること。
- (オ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関すること。
- (カ) 課主管工事の受託費及び負担金に関すること。

- (キ) 課所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (ク) 手数料、加入金等の収納及び還付に関する事。
- (ケ) 災害時における修繕工事費の調定、徴収及び還付に関する事。
- (コ) 指定給水装置工事事業者に関する事。
- (サ) 課主管の広報及び統計に関する事。
- (シ) 簡易水道統合に伴う負担金等に関する事。
- (ス) 水道メーターの管理に関する事。
- (セ) 水道メーターの流量検査に関する事。
- (ソ) 水道メーターの購入、修理及び検収に関する事。
- (タ) 水道メーターの検定有効期間満了に伴う取替えに関する事。
- (チ) 課の主管事務に関する文書の整理及び保存に関する事。
- (ツ) その他工務に関する事。

イ 給水係

- (ア) 給水管の調査、設計、施工及び監督に関する事。
- (イ) 工事に係る受託費及び負担金に関する事。
- (ウ) 給水に係る諸届の受付処理に関する事。
- (エ) 手数料、加入金、負担金等の調定に関する事。
- (オ) 給水装置の審査、指導及び検査に関する事。
- (カ) 工業用水道事業の前各号に関する事。
- (キ) 給水装置台帳に関する事。
- (ク) 水道メーターの取付けに関する事。
- (ケ) 指定給水装置工事事業者の指導及び監督に関する事。
- (コ) 給水に係る広報及び統計に関する事。
- (サ) 給水装置所有者の登録及び修正に関する事。
- (シ) 貯水槽水道の審査及び小規模貯水槽水道台帳に関する事。
- (ス) 小規模貯水槽水道設置者に対する管理の指導、助言及び勧告に関する事。
- (セ) 埋設物の立会いに関する事。
- (ソ) 水道不正使用の取締りに関する事。
- (タ) その他工務に関する事。

ウ 漏水対策室

- (ア) 送水管、配水管及び給水施設の維持管理に関する事。
- (イ) 送水管、配水管及び給水施設に係る修繕工事の設計、施工及び監督に関する事。
- (ウ) 送水管及び配水管の移設並びに受託工事に関する事。
- (エ) 埋設物の立会いに関する事。
- (オ) 漏水防止の計画及び調査に関する事。
- (カ) 指定給水装置工事事業者の指導及び監督に関する事。
- (キ) 工事に係る広報及び統計に関する事。
- (ク) 水道不正使用の取締りに関する事。
- (ケ) 工業用水道事業の前各号に関する事。
- (コ) 水道メーター設置場所の環境整備及び保全に関する事。
- (サ) 水道メーターの撤去及び取付けに関する事。
- (シ) 局で購入した材料等の管理に関する事。
- (ス) その他工務に関する事。

エ 玖西事業所

- (ア) 玖珂地区及び周東地区（以下「玖西地域」という。）の水質管理に関する事。
- (イ) 玖西地域の施設の巡回及び環境整備に関する事。
- (ウ) 玖西事業所所管の器具備品及び車両の管理に関する事。
- (エ) 玖西事業所の物品等の購入、保管、修繕及び支出負担行為伺書並びに検収に関する事。
- (オ) 玖西地域の送水管、配水管及び給水施設の維持管理に関する事。

- (カ) 玖西地域の送水管、配水管及び給水施設に係る修繕工事の設計、施工及び監督に関すること。
- (キ) 玖西地域の工事に係る広報及び統計に関すること。
- (ク) 玖西地域の管路の集計、調査及び整備に関すること。
- (ケ) 玖西地域の管路及び附属設備の管理図面の作成に関すること。
- (コ) 玖西地域の占用及び一時使用に関すること。
- (サ) 玖西地域の埋設物の立会いに関すること。
- (シ) 玖西地域の給水管の調査、設計、施工及び監督に関すること。
- (ス) 玖西地域の給水に係る諸届の受付処理に関すること。
- (セ) 玖西地域の手数料、加入金、負担金等の調定に関すること。
- (ソ) 玖西地域の給水装置の審査、指導及び検査に関すること。
- (タ) 玖西地域の給水台帳に関すること。
- (チ) 玖西地域の給水装置所有者の登録及び修正に関すること。
- (ツ) 玖西地域の水道メーターの撤去及び取付けに関すること。
- (テ) 玖西地域の水道メーターの検定有効期間満了に伴う取替えに関すること。
- (ト) 災害時における修繕工事費の調定、徴収及び還付に関すること。
- (ナ) 指定給水装置工事事業者の指導、監督及び更新手続きに関すること。
- (ニ) 水道不正使用の取締りに関すること。
- (ヌ) 水道メーター設置場所の環境整備及び保全に関すること。
- (ネ) 河川の水質保全に関すること。
- (ノ) その他玖西地域の水道に関すること。

(3) 建設課

ア 管理係

- (ア) 課主管の文書の受発に関すること。
- (イ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関すること。
- (ウ) 課専用の公印に関すること。
- (エ) 課主管の入札及び契約に関すること。
- (オ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関すること。
- (カ) 課主管工事の受託費及び負担金に関すること。
- (キ) 課主管の用地買収及び補償に関すること。
- (ク) 課所管の器具備品及び車両の管理に関すること。
- (ケ) 課主管の広報及び統計に関すること。
- (コ) 管路の集計、調査及び整備に関すること。
- (サ) 管路及び附属設備の管理図面の作成に関すること。
- (シ) 占用及び一時使用の整備に関すること。
- (ス) 国、県、市等から通知される制度改正に関すること。
- (セ) 課の主管事務に関する文書の整理及び保存に関すること。
- (ソ) その他建設に関すること。

イ 建設一係

- (ア) 錦見取水施設耐震化事業及び浄水施設の耐震化事業に関すること。
- (イ) 各施設の工事の設計、施工及び監督に関すること。
- (ウ) 工事に係る広報及び統計に関すること。
- (エ) 施設に係る研究及び技術改善に関すること。
- (オ) その他建設に関すること。

ウ 建設二係

- (ア) 浄水施設の更新及び耐震化事業に関すること。
- (イ) 各施設の工事の設計、施工及び監督に関すること。
- (ウ) 工事に係る広報及び統計に関すること。

- (工) 排水処理施設の運営管理に関すること。
- (オ) 施設に係る研究及び技術改善に関すること。
- (カ) 補助事業の事務に関すること。
- (キ) その他建設に関すること。

エ 建設三係

- (ア) 送水管及び配水管施設の耐震化事業計画、調査、工事の設計、施工及び監督に関すること。
- (イ) 工事に係る広報及び統計に関すること。
- (ウ) 埋設物の立会いに関すること。
- (エ) その他建設に関すること。

オ 工業用水道対策係

- (ア) 工業用水道の運営方針に係る事業計画、調査及び方針に関すること。
- (イ) 工業用水道施設及び配水管の更新工事の設計、施工及び監督に関すること。
- (ウ) 工業用水道整備費の補助に関すること。
- (エ) 工業用水道の工事に係る広報及び統計に関すること。
- (オ) 工業用水道の施設に係る研究及び技術改善に関すること。
- (カ) その他工業用水道に関すること。
- (キ) その他建設に関すること。

(4) 浄水課

ア 管理係

- (ア) 課主管の文書の受発に関すること。
- (イ) 課主管の庶務及び予算の執行並びに決算に関すること。
- (ウ) 課専用の公印に関すること。
- (エ) 課主管の入札及び契約に関すること。
- (オ) 課主管の物品等の購入、保管、出納、修繕及び検収に関すること。
- (カ) 課所管の器具備品及び車両の管理に関すること。
- (キ) 課に属する予備部品等の保管に関すること。
- (ク) 課主管の広報及び統計に関すること。
- (ケ) 施設の電力量及び電力料金の統計に関すること。
- (コ) 水道週間等の行事に関すること。
- (サ) 既設高台団地引取事業に関すること。
- (シ) 安全衛生に関すること。
- (ス) 浄水施設の環境整備に関すること。
- (セ) 河川の水質保全に関すること。
- (ソ) 課の主管事務に関する文書の整理及び保存に関すること。
- (タ) 合併特例債の補助事業の事務に関すること。
- (チ) その他浄水に関すること。

イ 浄水係

- (ア) 浄水施設（玖珂地区、周東地区、工業用水道施設及び各団地施設を含む。）の運転、運転記録、維持管理、保守点検委託業務、日常点検整備、修繕並びに設計監督に関すること。
- (イ) 工事に係る広報及び統計に関すること。
- (ウ) 排水処理施設の運営管理に関すること。
- (エ) 水処理及び水質管理に関すること。
- (オ) 施設に係る研究及び技術改善に関すること。
- (カ) 各浄水場の薬品の検収及び保管に関すること。
- (キ) 係に属する予備部品等の保管に関すること。

- (ク) 河川の水質保全に関すること。
- (ケ) 当直勤務に関すること。
- (コ) その他浄水に関すること。

ウ 水質係

- (ア) 水質の検査に関すること。
- (イ) 塩素滅菌及び薬品処理の研究並びに指導に関すること。
- (ウ) 薬品の検収及び保管に関すること。
- (エ) 水質に係る広報及び統計に関すること。
- (オ) 水質年報に関すること。
- (カ) 水質の研究調査及び技術改善に関すること。
- (キ) 工業用水道の水質に関すること。
- (ク) 係に属する予備部品等の保管に関すること。
- (ケ) 他の地方公共団体からの水質検査の依頼に関すること。
- (コ) 河川の水質保全に関すること。
- (サ) その他浄水に関すること。

エ 玖北事業所

- (ア) 美和地区、本郷地区、美川地区及び錦地区（以下「玖北地域」という。）の浄水施設の運転、維持管理、保守点検業務委託、修繕、設計及び監督に関すること。
- (イ) 玖北地域の補助事業に係る工事に關すること。
- (ウ) 玖北地域の水質管理に関すること。
- (エ) 玖北地域の施設の巡回及び環境整備に関すること。
- (オ) 玖北事業所所管の器具備品及び車両の管理に関すること。
- (カ) 玖北事業所の物品等の購入、保管、修繕及び支出負担行為伺書並びに検収に関すること。
- (キ) 玖北地域の送水管、配水管及び給水施設の維持管理に関すること。
- (ク) 玖北地域の送水管、配水管及び給水施設に係る修繕工事の設計、施工並びに監督に関すること。
- (ケ) 玖北地域の工事に係る広報及び統計に関すること。
- (コ) 玖北地域の管路の集計、調査及び整備に関すること。
- (サ) 玖北地域の管路及び附属設備の管理図面の作成に関すること。
- (シ) 玖北地域の占用及び一時使用に関すること。
- (ス) 玖北地域の埋設物の立会いに関すること。
- (セ) 玖北地域の給水管の調査、設計、施工及び監督に関すること。
- (ソ) 玖北地域の給水に係る諸届の受付処理に関すること。
- (タ) 玖北地域の手数料、加入金、負担金等の調定に関すること。
- (チ) 玖北地域の給水装置の審査、指導及び検査に関すること。
- (ツ) 玖北地域の給水台帳に関すること。
- (テ) 玖北地域の給水装置所有者の登録及び修正に関すること。
- (ト) 玖北地域の水道メーターの撤去及び取付けに関すること。
- (ナ) 玖北地域の水道メーターの検定有効期間満了に伴う取替えに関すること。
- (ニ) 災害時における修繕工事費の調定、徴収及び還付に関すること。
- (ヌ) 指定給水装置工事事業者の指導、監督及び更新手続きに関すること。
- (ネ) 水道不正使用の取締りに関すること。
- (ノ) 水道メーター設置場所の環境整備及び保全に関すること。
- (ハ) 河川の水質保全に関すること。
- (ヒ) その他玖北地域の水道に関すること。

4 防災関係

(1) 防災関係物資等の備蓄状況（平成31年3月31日現在）

項 目	内 容	保 有 数 量	備 考
車 両	給水車（2m ³ ）	2台	
	トラック	5台	
給 水 容 器	給水タンク（1000ℓ）	2基	
	給水タンク（300ℓ）	4基	
	ポリ容器（10・20ℓ）	85個	
	ポリ袋（6ℓ）	1247個	
機 材	応急給水栓	3基	
	発電機	11台	
	投光器	17台	
	鉄管切断機	1台	
	電動ねじ切機	5台	
	水中ポンプ	17台	
飲 料 水	ペットボトル（500mℓ）	4512本	

(2) 給水車



タンク容量 2,000ℓ
平成19年2月購入



タンク容量 2,000ℓ ※緊急走行可
平成24年9月購入

(3) 災害備蓄用飲料水「大吟浄の水」^{だいぎんじょう みず}



岩国市水道局では、平成18年から、ペットボトル水（500ml）を災害に備えての備蓄用やPR用として、製造し無料頒布してきました。岩国市の水道水が安全で安心して飲めるおいしい水であることをPRするとともに、直接蛇口の水を飲むことができる水道の歴史と文化を継承しつつ、水道水をおいしく飲んでもらうための啓発活動として、平成25年7月から一般販売をしています。

＜商品名の由来＞（平成16年 商標登録）

日本酒の大吟醸は有名で、厳選された材料で作られ、おいしい高級酒の代名詞となっていますが、「醸」を「浄」に替え、すみきった、きよらかな、高品質のおいしい水を表現しています。

＜販売場所＞

岩国市役所売店や潮風公園みなとオアシスゆうなど、市内数か所で販売しています。詳しくは、岩国市水道局ホームページ、または岩国市水道局総務課までお問い合わせください。



平成26年6月、岩国市水道局では、岩国の水道水が、安全で安心して飲めるおいしい水であることをPRするとともに、市民から親しまれる水道をめざす啓発活動の一環として、オリジナルキャラクターを制作しました。

キャラクターの図案は、市内デザイン業者4社からのサンプル図案を水道局選考委員会で選定し、制作委託業者（Mips・デザイン-岩国市麻里布町-）を決定後、最終図案を完成させました。からだは水のしずくを、頭は錦帯橋の五橋をイメージし、胸の模様は水の漢字がモチーフになっています。

キャラクターの愛称は、岩国市立中学校2年生を対象に募集し水道局選考委員会で選定し、647通の応募の中から東中学校の女子生徒の作品「いーすい」に決定しました。岩国の水道と良い水「いいすい」をイメージして命名されました。

平成30年度 岩国市水道事業年報

発行 令和元年12月
岩国市水道局 総務課

〒740-0022	山口県岩国市山手町4-4-14
電話	0827-22-3711
FAX	0827-22-0822
E-mail	soumu.water@city.iwakuni.lg.jp
ホームページ	http://www.city.iwakuni.lg.jp/site/water/

The first part of the paper discusses the importance of understanding the cultural context of the research. It highlights the need for researchers to be sensitive to the values and beliefs of the community they are studying. This is particularly important in the field of education, where cultural differences can significantly impact learning outcomes.

The second part of the paper focuses on the methodology used in the study. It describes the qualitative approach adopted, which involves in-depth interviews and focus group discussions. The researchers aimed to explore the experiences and perceptions of the participants, rather than testing a specific hypothesis.

The third part of the paper presents the findings of the study. It discusses the themes that emerged from the data, such as the role of family in education and the influence of community norms. The researchers found that there were significant differences in the way that different cultural groups viewed education and the role of the teacher.

The final part of the paper discusses the implications of the findings for practice. It suggests that educators should be aware of the cultural context of their students and tailor their teaching accordingly. This could involve using culturally relevant materials and incorporating traditional knowledge into the curriculum.

The first part of the paper discusses the importance of understanding the cultural context of the research. It highlights how cultural differences can influence the interpretation of data and the design of the study. The author emphasizes the need for researchers to be sensitive to these differences and to adapt their methods accordingly.

The second part of the paper focuses on the challenges of conducting research in a multicultural environment. It discusses the difficulties of finding a common ground between different cultural perspectives and the potential for bias in the data collection process. The author suggests that researchers should strive for transparency and honesty in their reporting of findings.

The third part of the paper explores the role of the researcher in the research process. It discusses the importance of the researcher's position and how it can influence the results of the study. The author argues that researchers should be aware of their own biases and should work to minimize their impact on the research.

The fourth part of the paper discusses the ethical considerations of research in a multicultural context. It highlights the need for researchers to obtain informed consent from participants and to ensure that the research is conducted in a way that respects the rights and dignity of all individuals.

The fifth part of the paper discusses the importance of communication in the research process. It highlights the need for researchers to communicate their findings clearly and effectively to their audience. The author suggests that researchers should use a variety of communication methods to reach their audience and should be open to feedback.

The sixth part of the paper discusses the importance of reflection in the research process. It highlights the need for researchers to reflect on their own experiences and to learn from them. The author suggests that researchers should keep a journal or a log of their thoughts and feelings throughout the research process.

The seventh part of the paper discusses the importance of collaboration in the research process. It highlights the need for researchers to work together and to share their knowledge and resources. The author suggests that researchers should seek out colleagues who have expertise in the area of research and should work together to solve problems.

The eighth part of the paper discusses the importance of evaluation in the research process. It highlights the need for researchers to evaluate their own work and to seek feedback from others. The author suggests that researchers should use a variety of evaluation methods to assess the quality of their research.

The ninth part of the paper discusses the importance of dissemination in the research process. It highlights the need for researchers to share their findings with the wider community. The author suggests that researchers should use a variety of dissemination methods to reach their audience and should be open to feedback.

The tenth part of the paper discusses the importance of sustainability in the research process. It highlights the need for researchers to ensure that their research is sustainable and that it has a positive impact on the community. The author suggests that researchers should work to build long-term relationships with the community and should be open to feedback.